

**愛莊町男女共同参画  
住民アンケート調査報告書**

**平成 31 年 3 月**

# 目 次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査設計.....	2
3. 報告書の見方.....	2
II 調査結果.....	3
1. 回答者属性.....	4
2. 男女平等に関する意識について.....	8
3. 仕事・職場環境について.....	30
4. ワーク・ライフ・バランスについて.....	46
5. 家庭生活について.....	57
6. 地域活動について.....	71
7. 人権について.....	83
8. 男女共同参画社会について.....	93

# I 調査概要

# 1. 調査の目的

本調査は、「第2次愛荘町男女共同参画推進計画」策定にあたり、住民の皆さまの男女共同参画に関するお考えをお聞かせいただくために実施しました。

# 2. 調査設計

調査地域：愛荘町全域

調査対象者：愛荘町に住んでいる18歳以上の男女から無作為に抽出

対象数：2,000人

調査期間：平成31年2月8日～平成31年2月22日

調査方法：調査票による本人記入方式（本人が記入できない場合は家族など）

郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

回収結果：配布数 2,000件

回収数 717件

回収率 35.9%

# 3. 報告書の見方

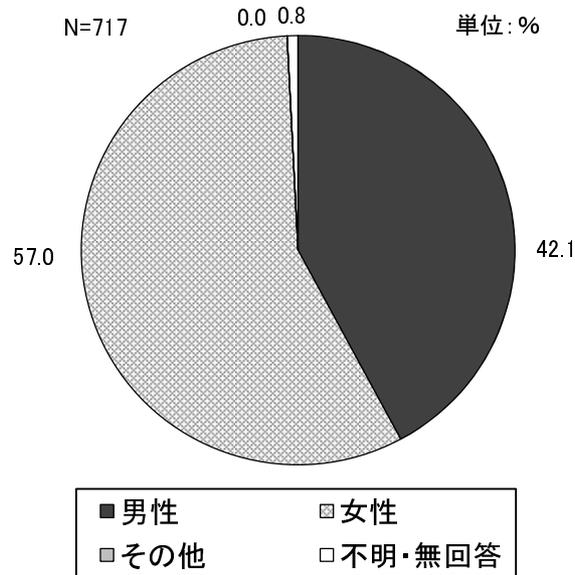
- 回答結果は、少数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフおよび表のN数は有効標本数（集計対象者総数）、（SA）は単数回答の設問、（MA）は複数回答の設問を表しています。

## II 調査結果

# 1. 回答者属性

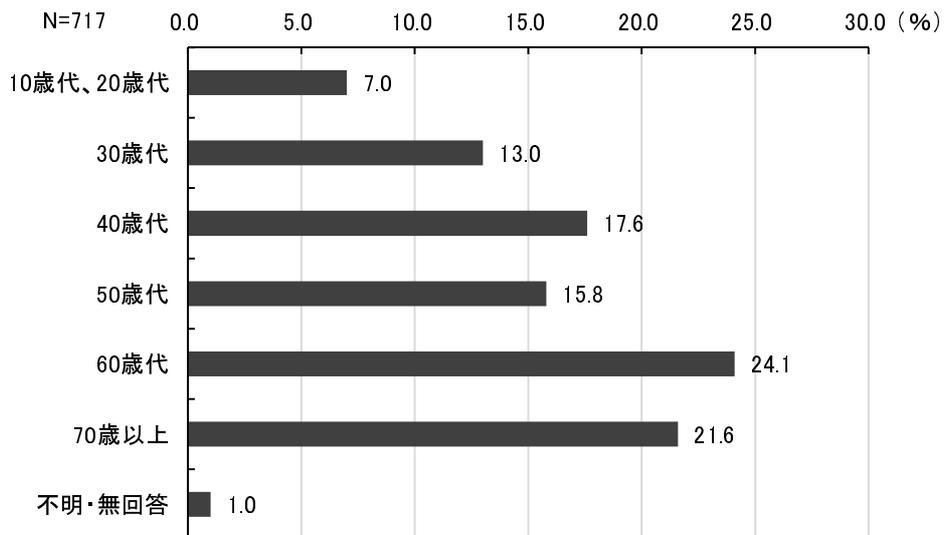
## F 1 あなたの性別はどれですか。(SA)

性別について見ると、「男性」が42.1%、「女性」が57.0%となっています。



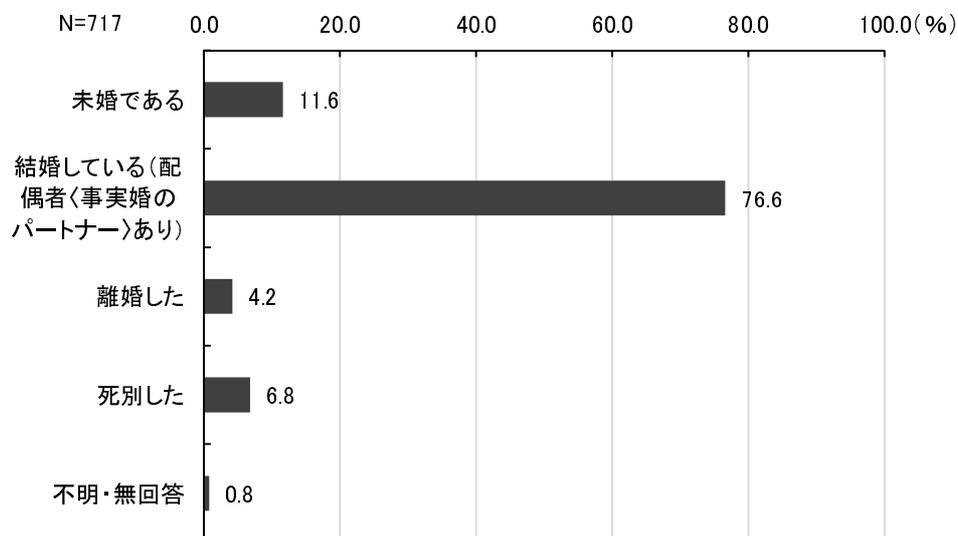
## F 2 あなたの年齢はどれですか。(SA)

年齢について見ると、「60歳代」が24.1%と最も高くなっています。



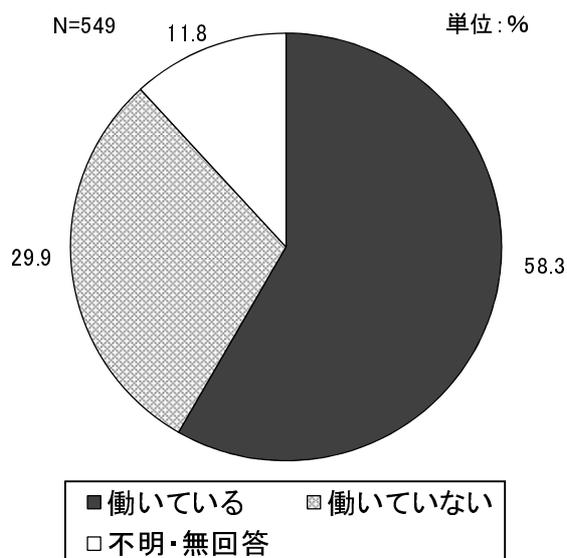
### F 3 あなたは、結婚（事実婚を含む）していますか。（SA）

結婚について見ると、「結婚している（配偶者〈事実婚のパートナー〉あり）」が76.6%と最も高くなっています。



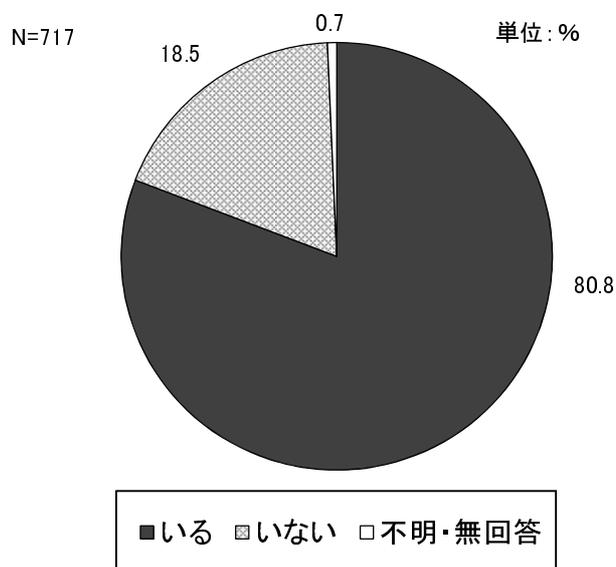
### F 3 あなたの配偶者（事実婚のパートナー）は、現在、働いていますか。（SA）

配偶者の就業について見ると、「働いている」が58.3%、「働いていない」が29.9%となっています。



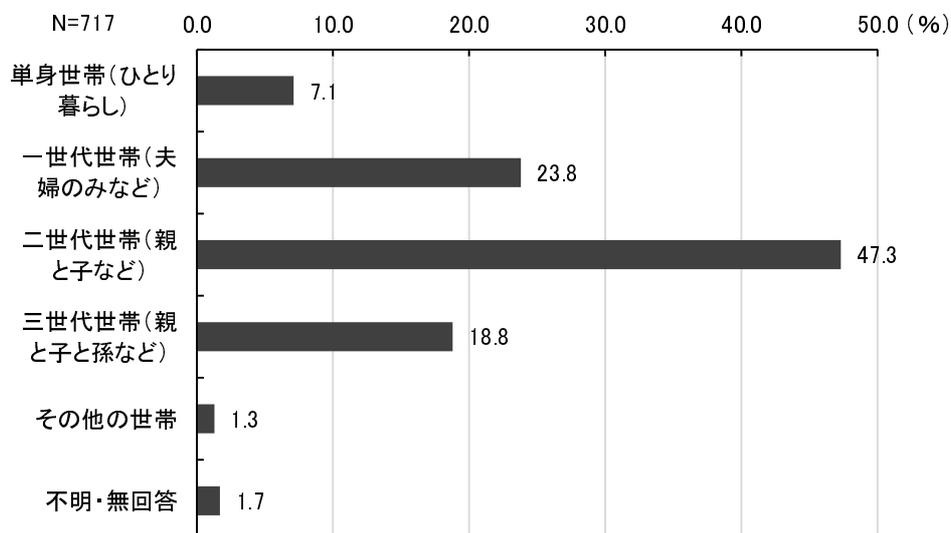
#### F 4 あなたには、現在、お子さん（別居を含む）がいますか。（SA）

子どもの有無について見ると、「いる」が80.8%、「いない」が18.5%となっています。



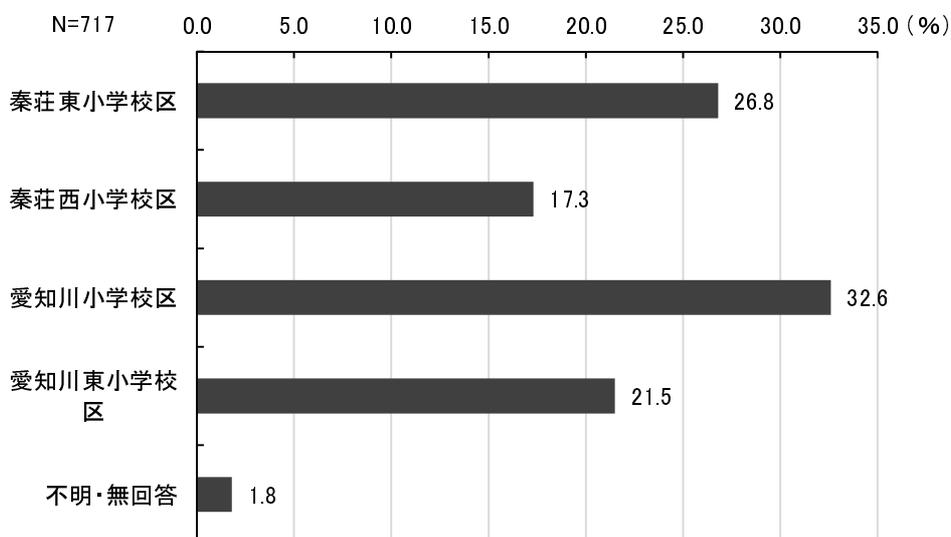
#### F 5 あなたのご家族の構成は次のどれですか。（SA）

家族構成について見ると、「二世世代世帯（親と子など）」が47.3%と最も高くなっています。



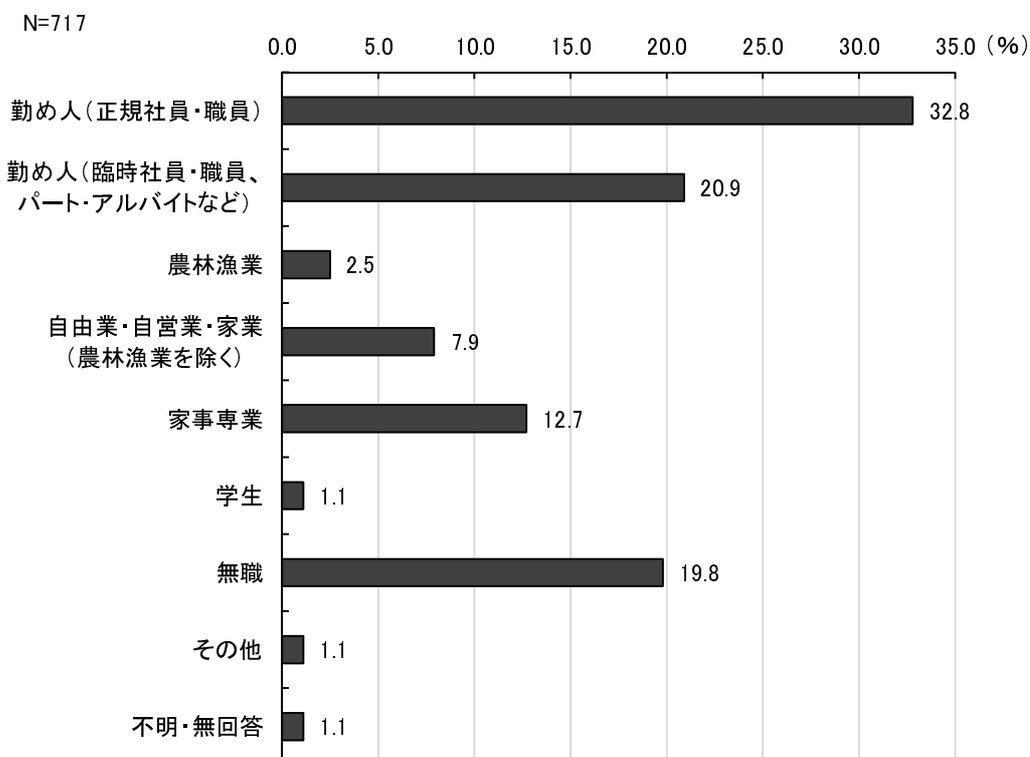
## F 6 あなたがお住まいの地域は次のどこですか。(SA)

居住地域について見ると、「愛知川小学校区」が32.6%と最も高くなっています。



## F 7 あなたのご職業は次に示す項目のうちどれにあたりますか。(SA)

職業について見ると、「勤め人(正規社員・職員)」が32.8%と最も高くなっています。



## 2. 男女平等に関する意識について

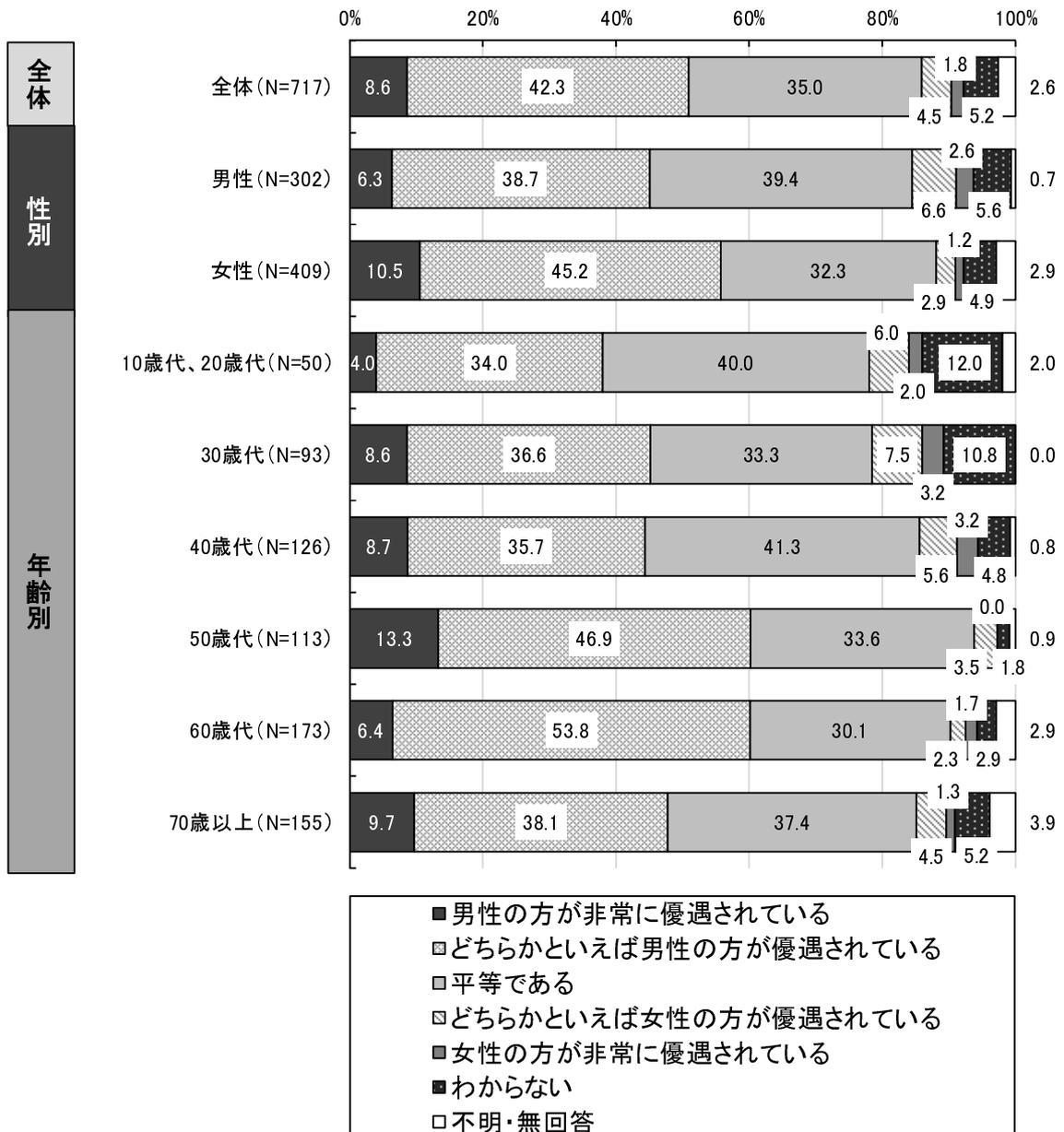
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

### ① 家庭生活

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が42.3%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「平等である」の割合が最も高くなっているのに対し、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、30歳代、50歳以上において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっているのに対し、10歳代、20歳代、40歳代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



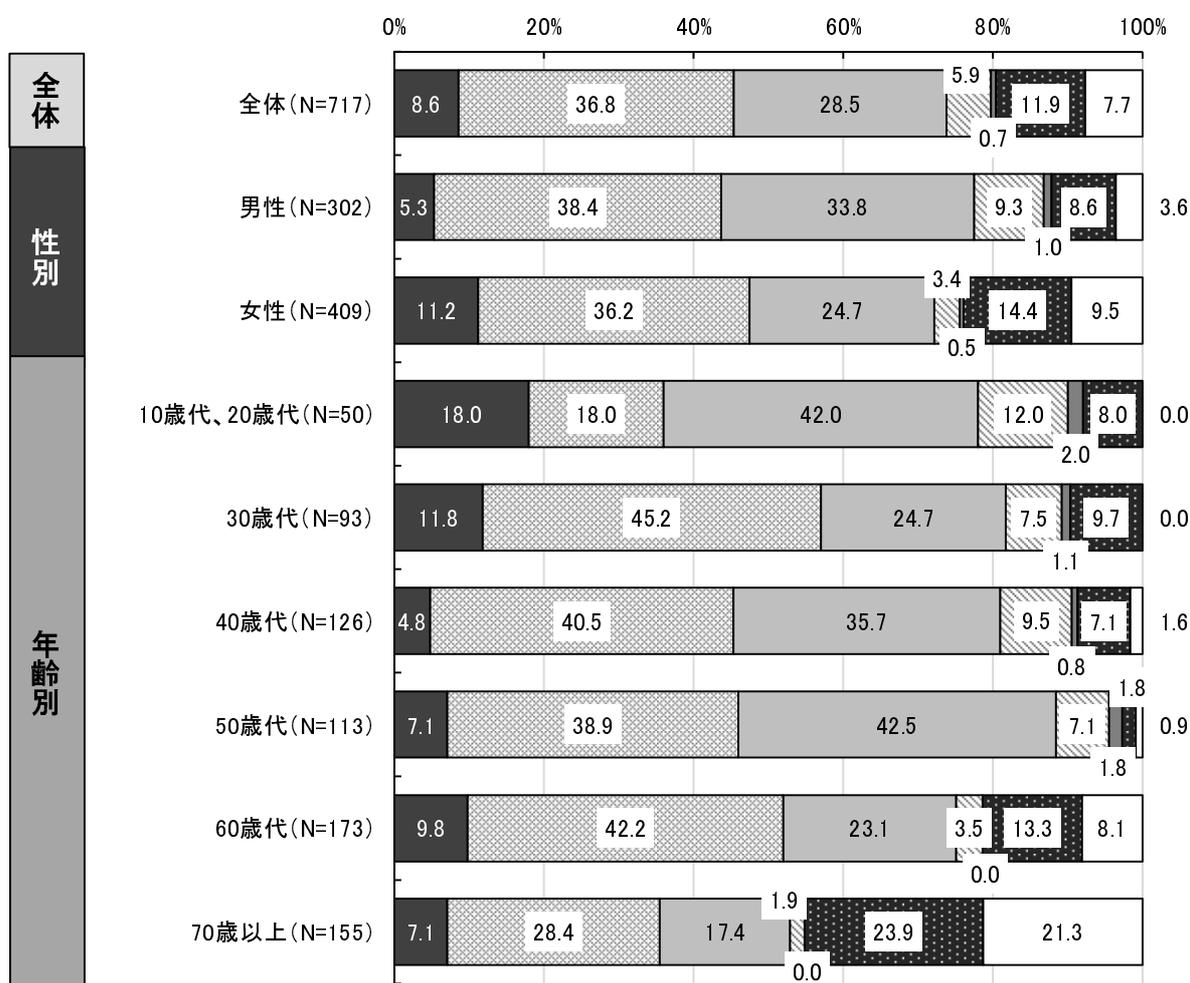
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

② 職場

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が36.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、30歳代、40歳代、60歳代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっているのに対し、10歳代、20歳代、50歳代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

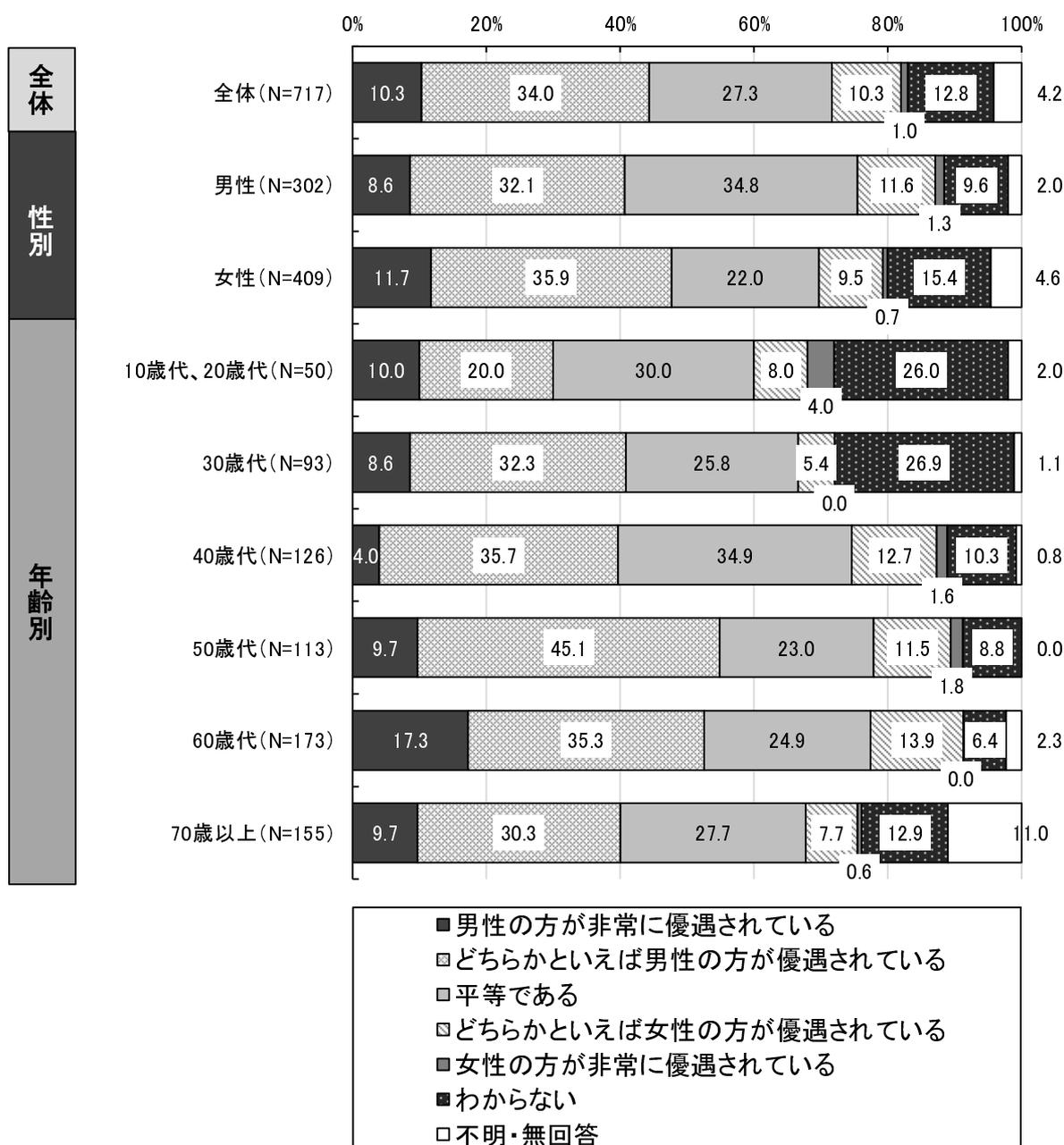
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

③ 地域活動(自治会活動)の場

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が34.0%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「平等である」の割合が最も高くなっているのに対し、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、30歳以上において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっているのに対し、10歳代、20歳代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



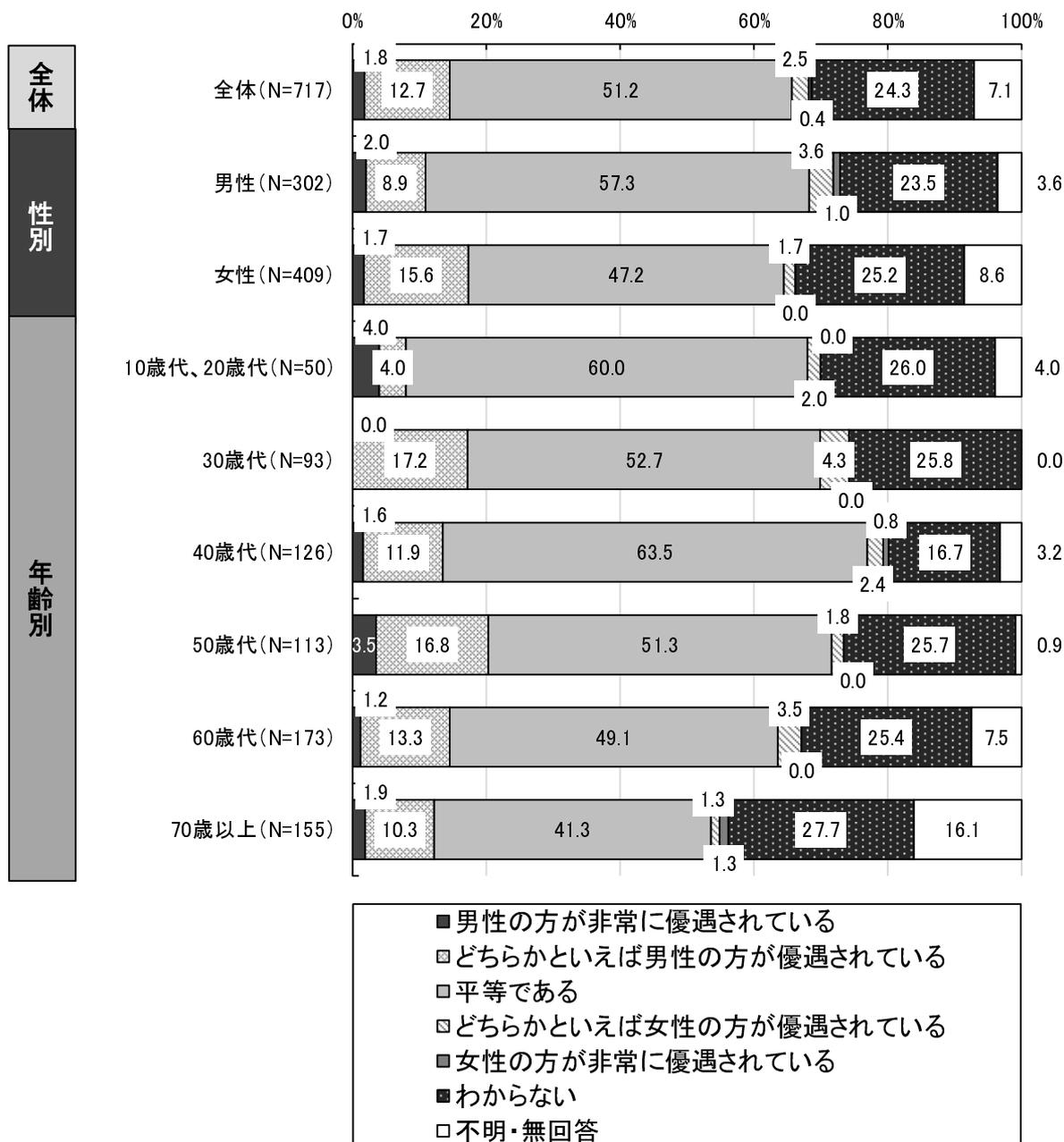
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

④ 学校教育の場

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が51.2%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



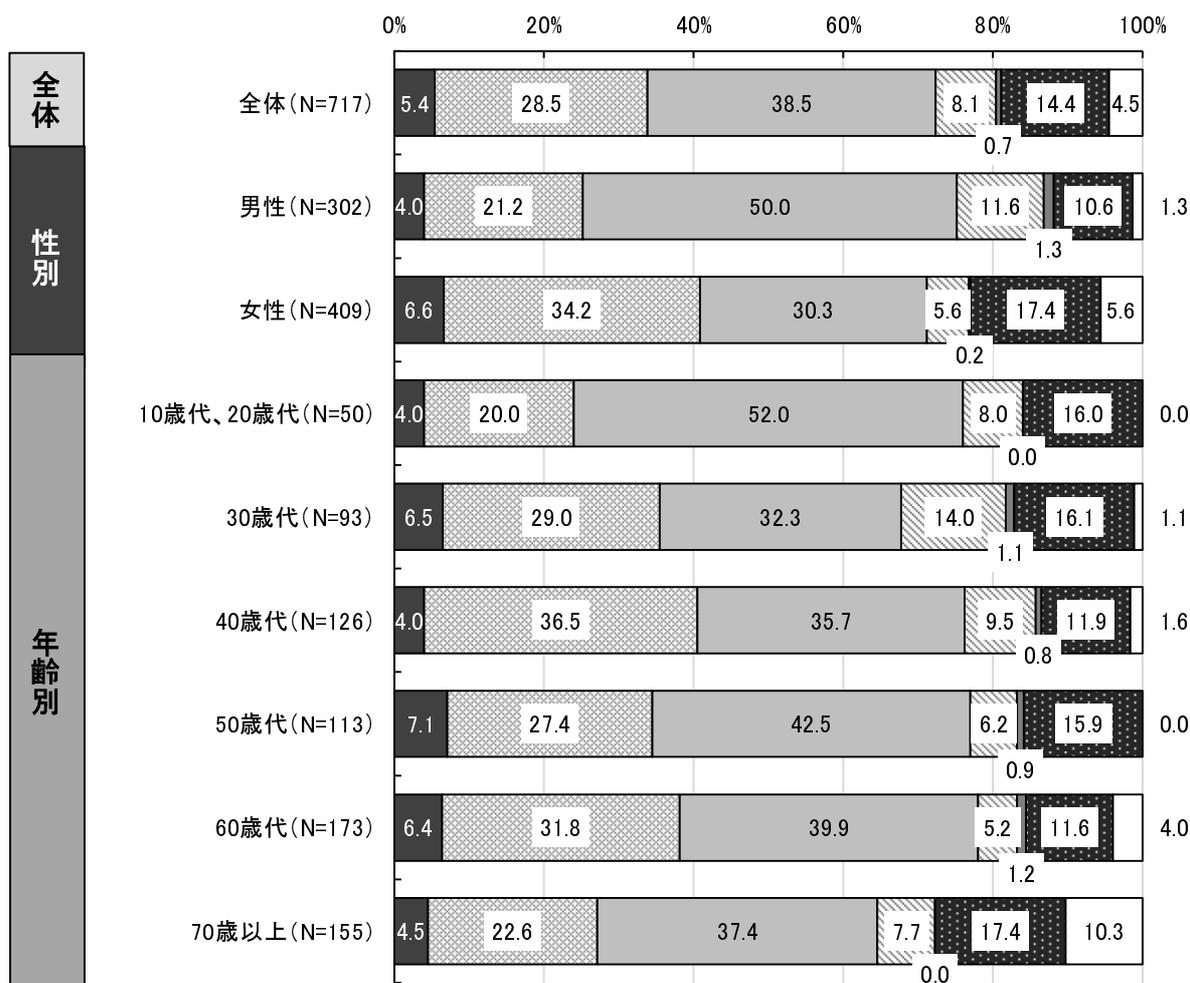
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

⑤ 法律や制度上で

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が38.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「平等である」の割合が最も高くなっているのに対し、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

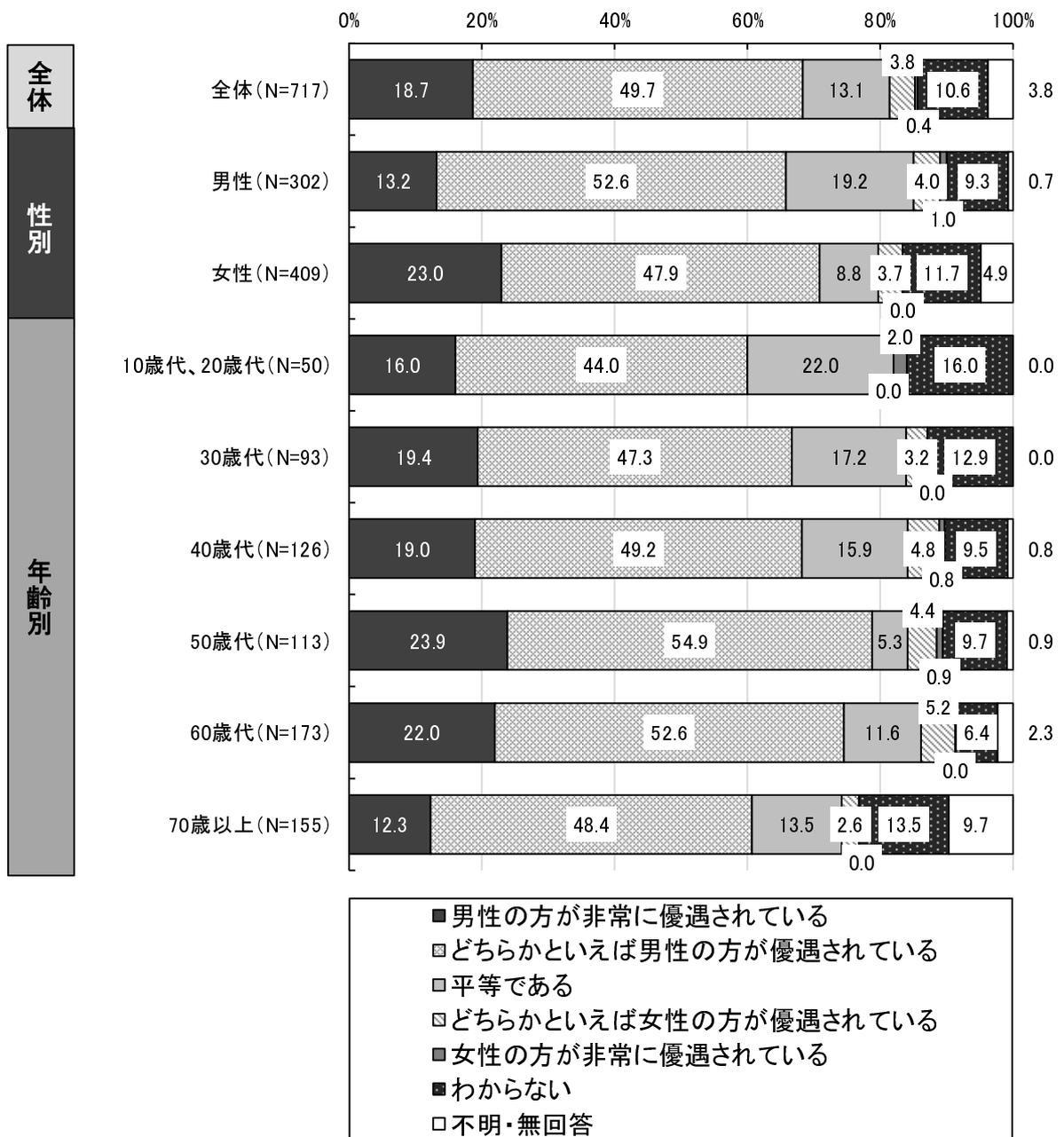
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

⑥ 社会通念・慣習・しきたりなど

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が49.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。



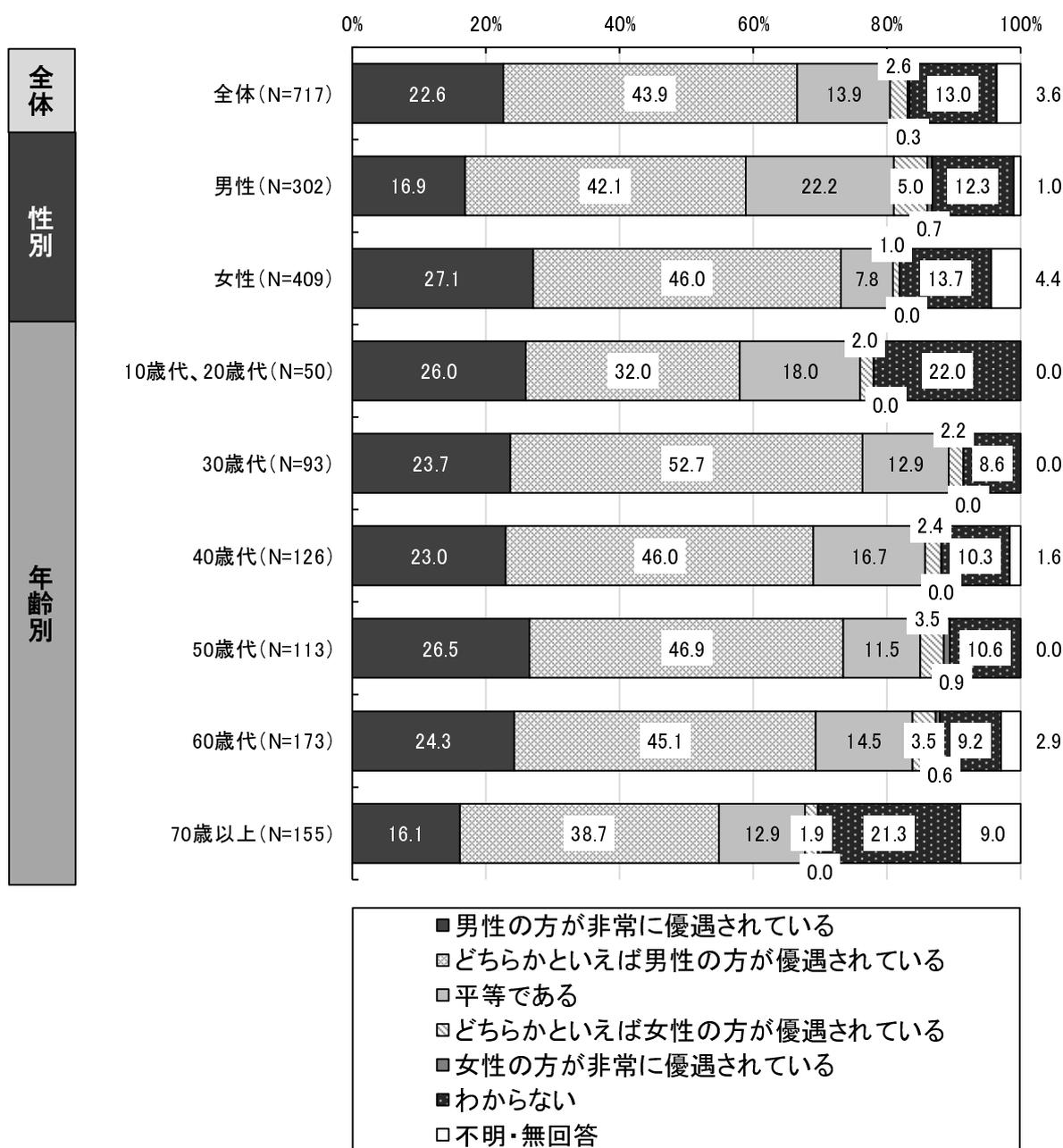
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

⑦ 政治の場

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が43.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。



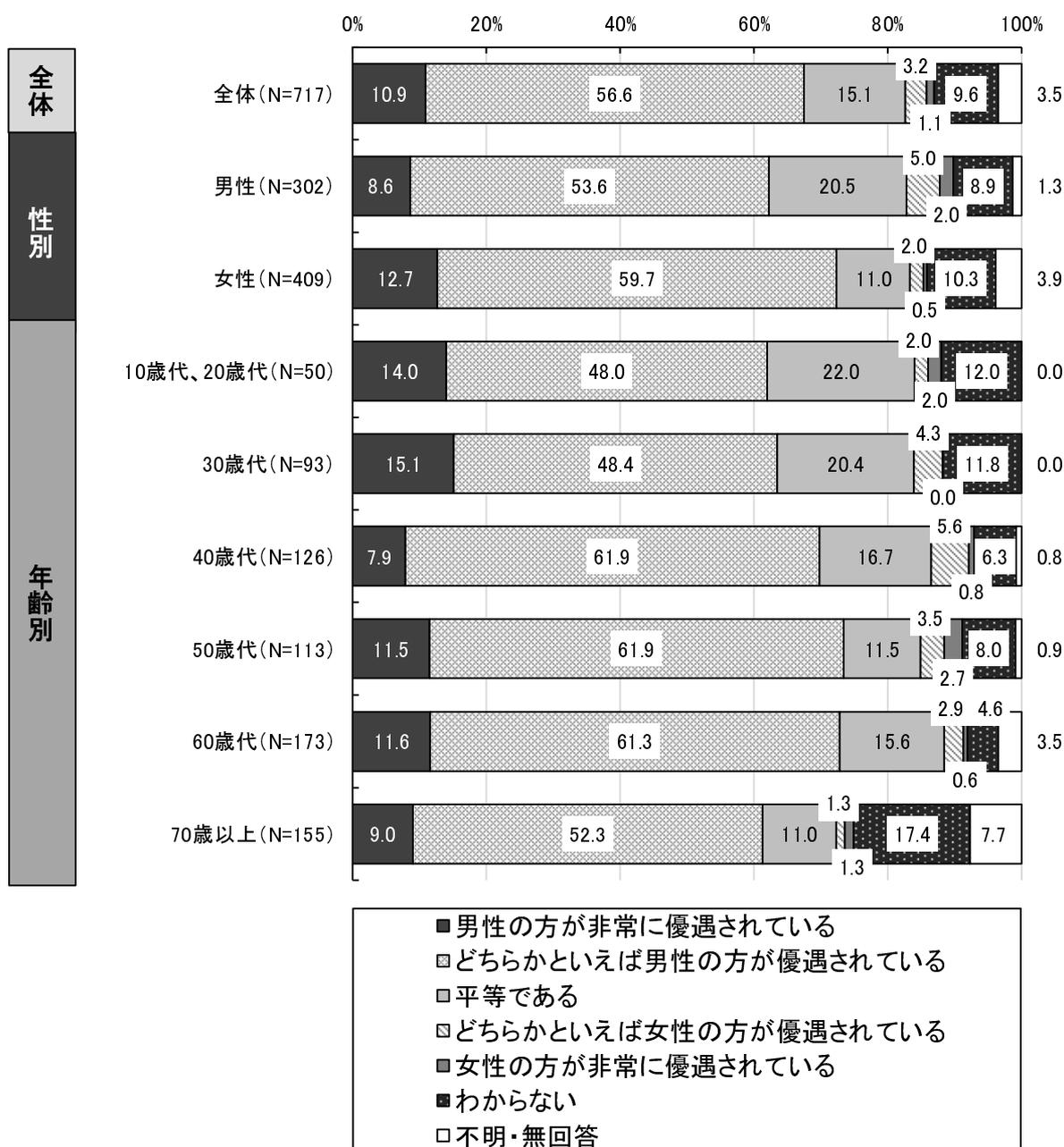
問1 あなたは、次にあげる①～⑧の項目で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(SA)

⑧ 社会全体で見て

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が56.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。



## 問1 前回比較（平等であるの回答率）

前回の結果と「平等である」の回答率を比較すると、男性の「⑦政治の場で」が11.5ポイント低くなっています。それ以外の項目については、多少の増減はありますが、概ね同じくらいの割合となっています。

		男性	女性
①家庭生活	今回	39.4%	32.3%
	前回	39.1%	27.9%
②職場	今回	33.8%	24.7%
	前回	32.4%	21.8%
③地域活動(自治会活動)の場	今回	34.8%	22.0%
	前回	32.4%	25.2%
④学校教育の場	今回	57.3%	47.2%
	前回	55.5%	47.5%
⑤法律や制度上で	今回	50.0%	30.3%
	前回	55.3%	27.0%
⑥社会通念・慣習・しきたりなど	今回	19.2%	8.8%
	前回	17.7%	9.4%
⑦政治の場で	今回	22.2%	7.8%
	前回	33.7%	9.3%
⑧社会全体で見て	今回	20.5%	11.0%
	前回	22.1%	10.2%

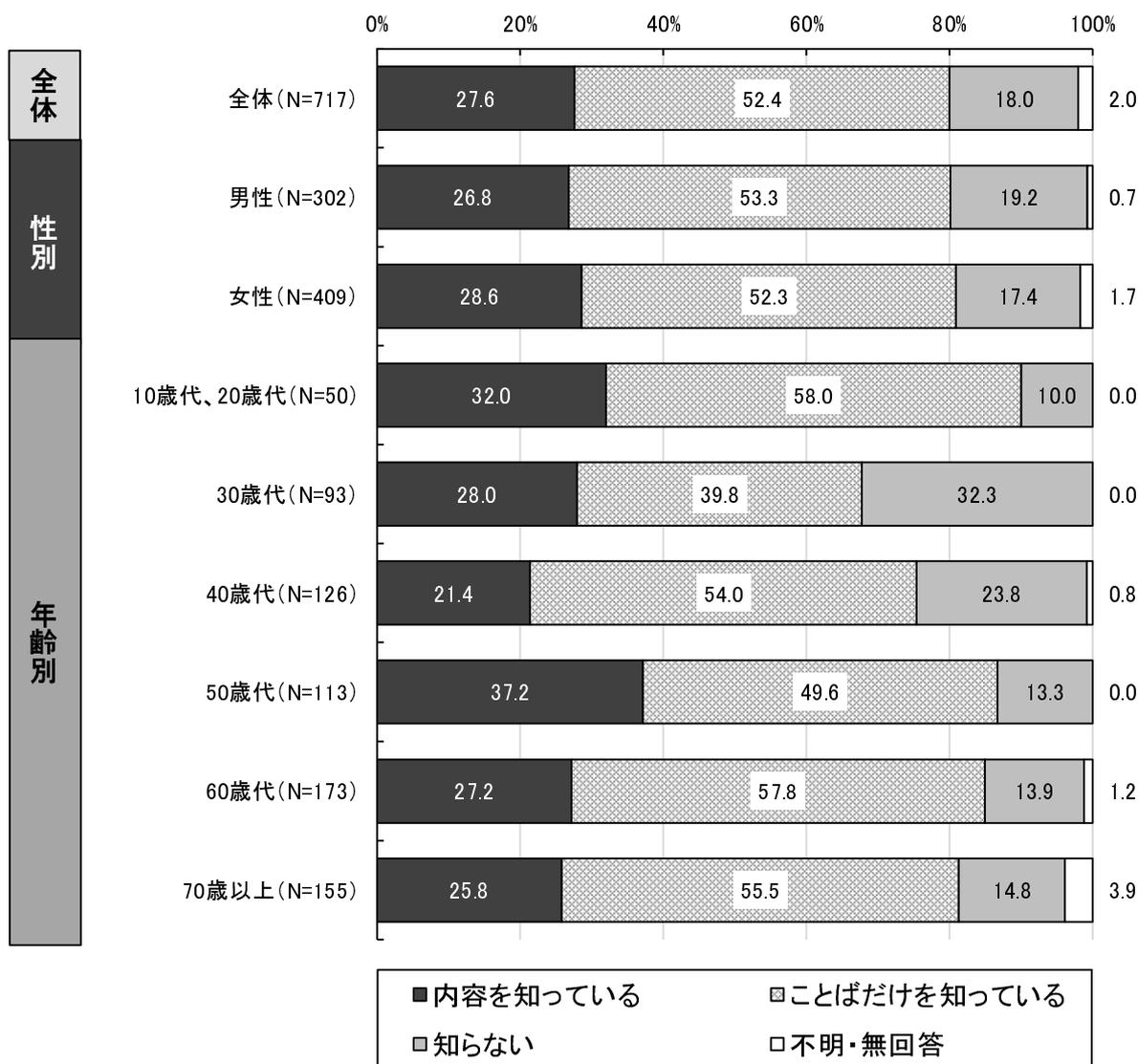
## 問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

### ① 男女共同参画社会

全体の結果を見ると、「ことばだけ知っている」の割合が52.4%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「ことばだけ知っている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「ことばだけ知っている」の割合が最も高くなっています。



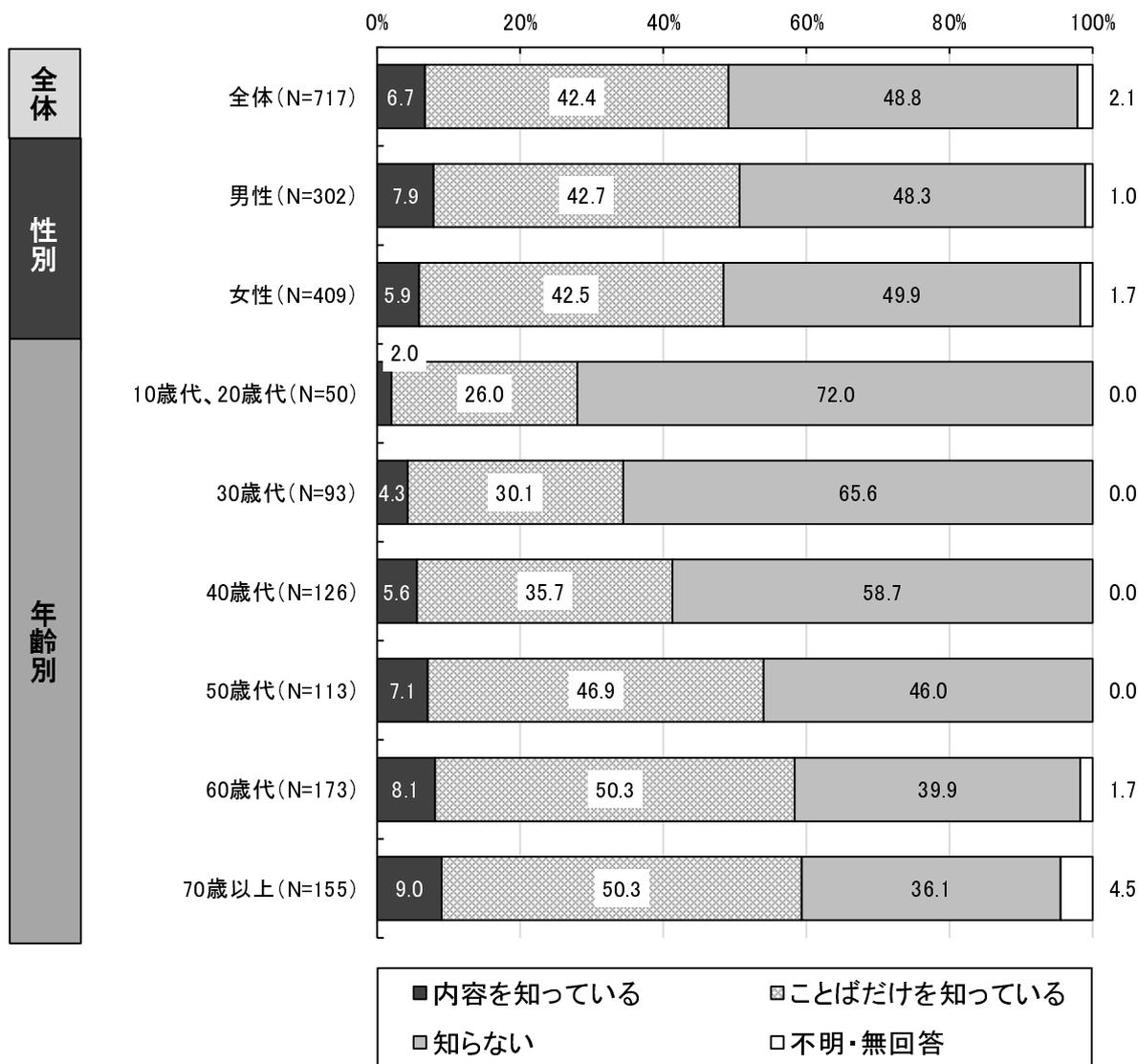
問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

② 愛荘町男女共同参画推進計画

全体の結果を見ると、「知らない」の割合が48.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、年齢が上がるにつれ「知らない」の割合が低くなっています。



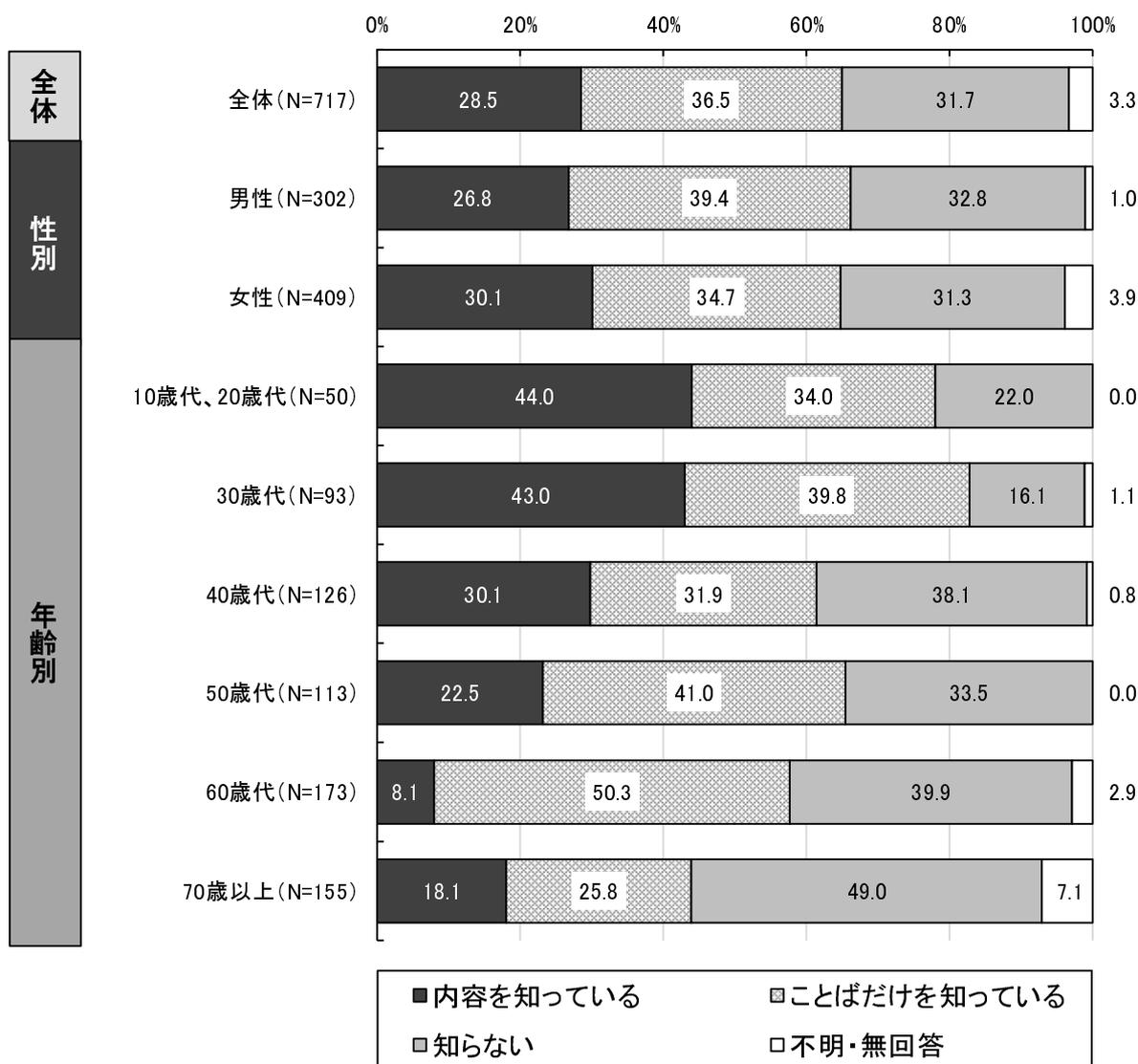
## 問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

### ③ ジェンダー（社会的性別）

全体の結果を見ると、「ことばだけ知っている」の割合が36.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「ことばだけ知っている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、10歳代～30歳代において「内容を知っている」の割合が最も高くなっているのに対し、40歳代、70歳以上において「知らない」の割合が最も高くなっています。



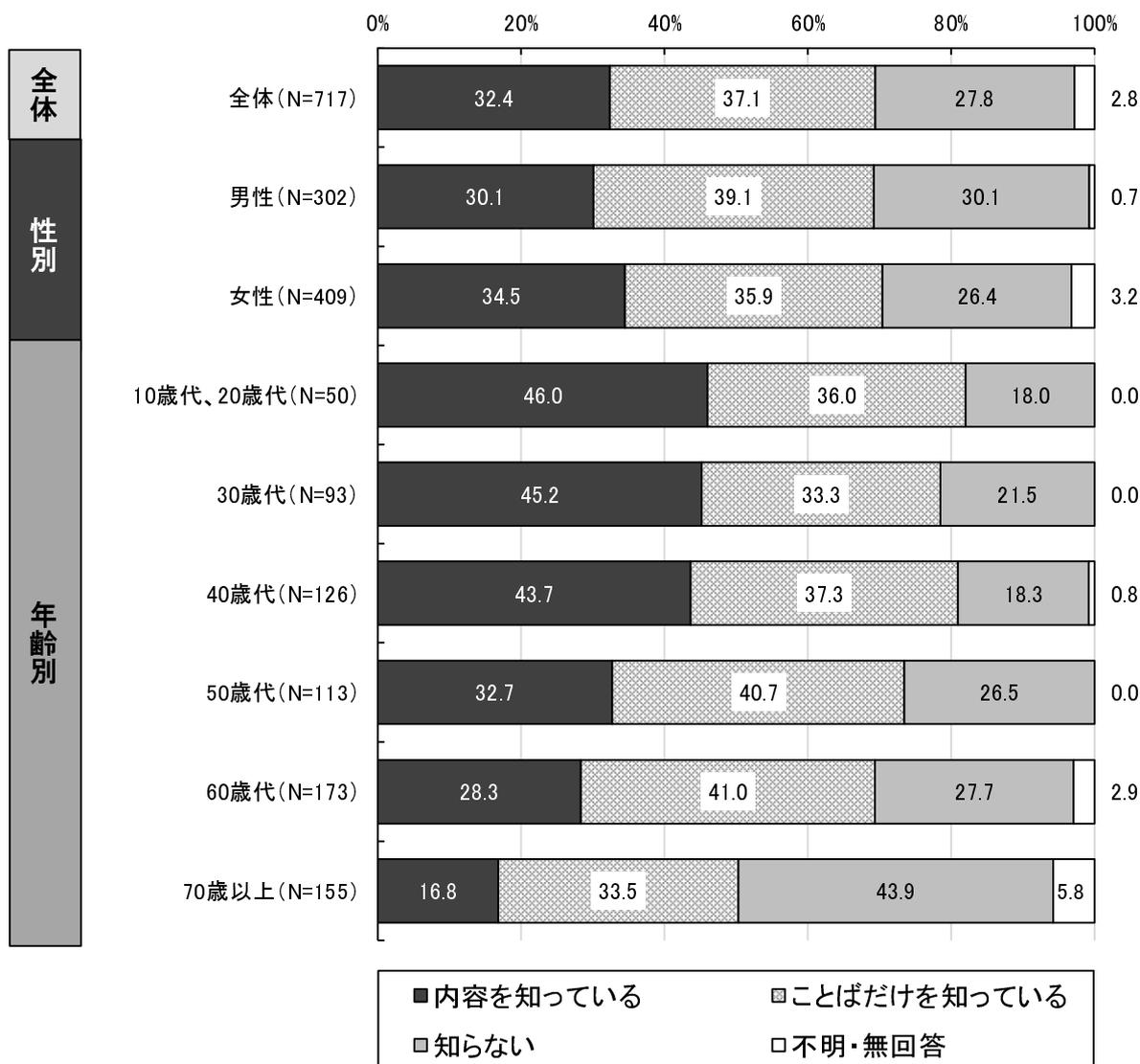
## 問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

### ④ セクシャルマイノリティ (性的少数者)

全体の結果を見ると、「ことばだけ知っている」の割合が37.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「ことばだけ知っている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、年齢が上がるにつれ「知らない」の割合が低くなっています。



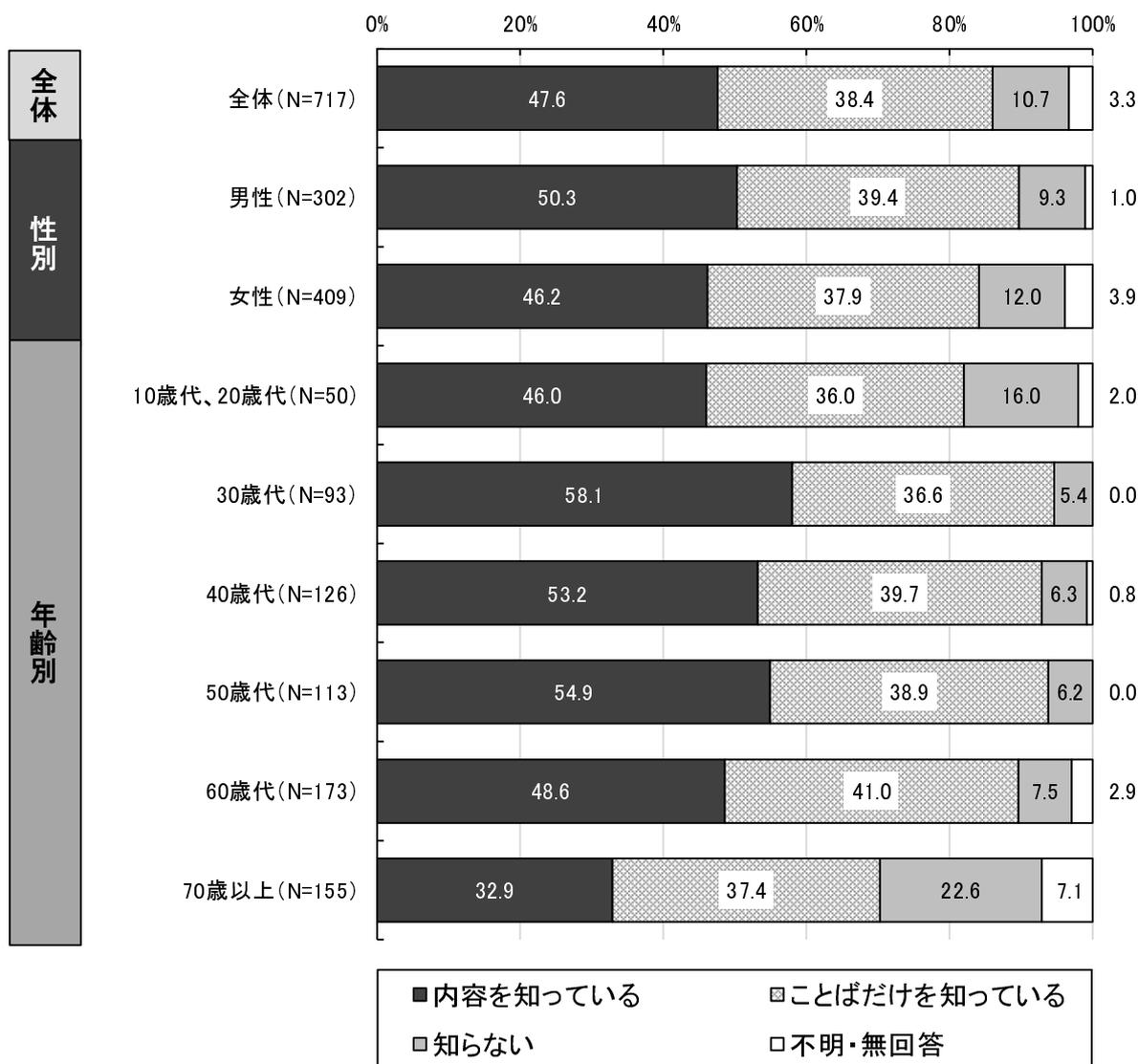
## 問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

### ⑤ 男女雇用機会均等法

全体の結果を見ると、「内容を知っている」の割合が47.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「内容を知っている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、70歳以上を除いた年代において「内容を知っている」の割合が最も高くなっています。



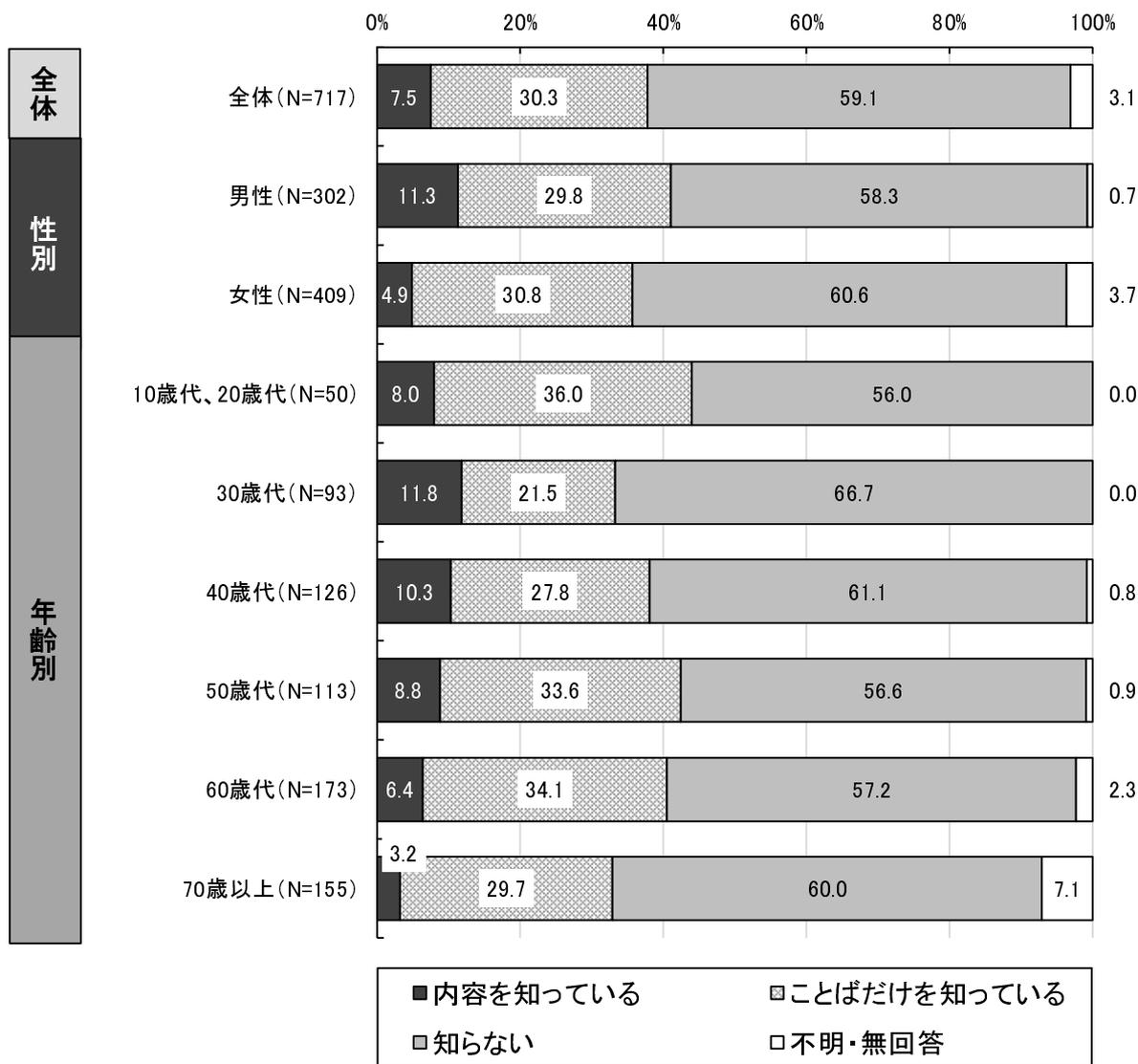
問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

⑥ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)

全体の結果を見ると、「知らない」の割合が59.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「知らない」の割合が最も高くなっています。



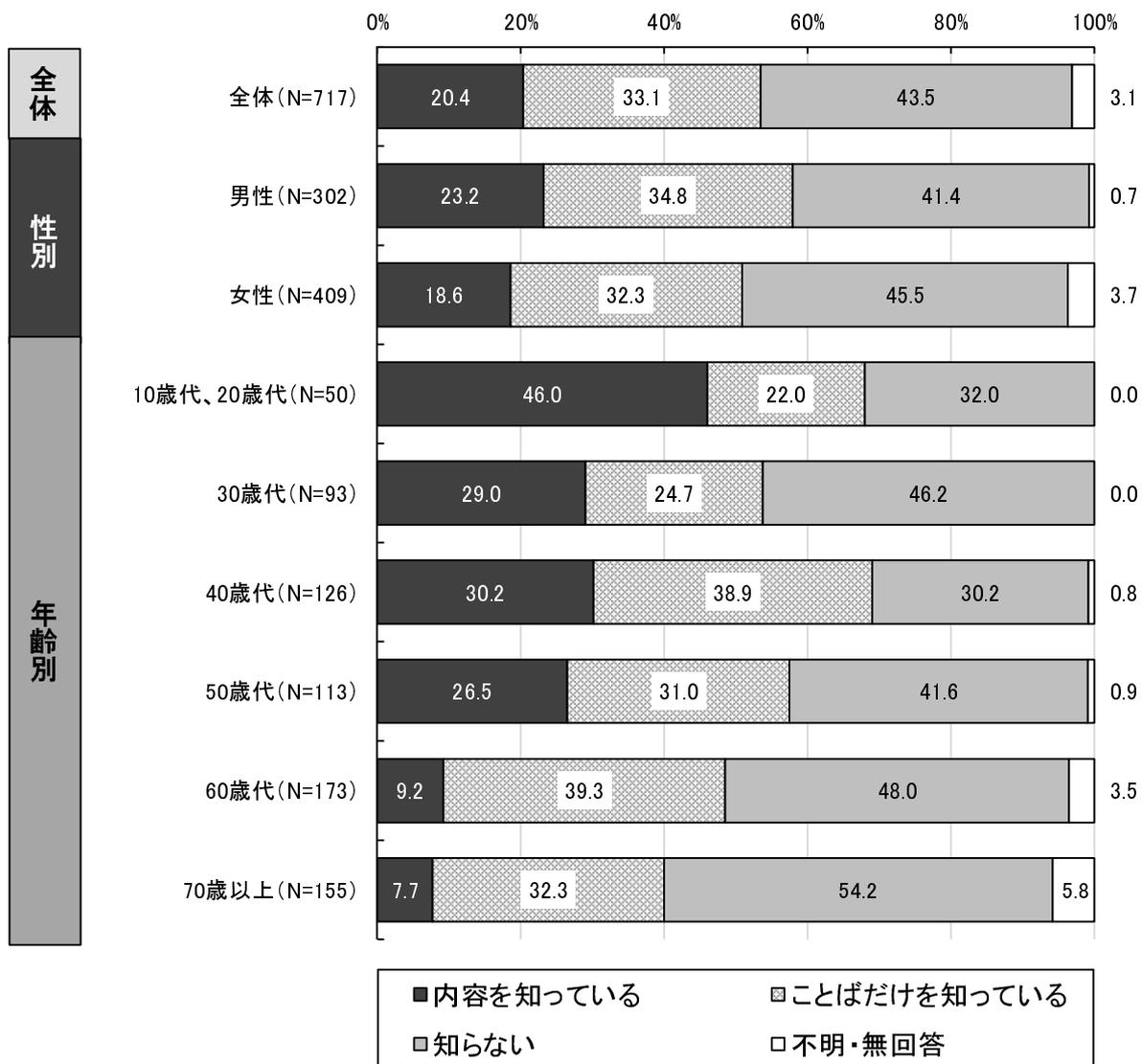
## 問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

### ⑦ ワーク・ライフ・バランス

全体の結果を見ると、「知らない」の割合が43.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、10歳代、20歳代において「内容を知っている」の割合が最も高くなっているのに対し、30歳代、50歳以上において「知らない」の割合が最も高くなっています。



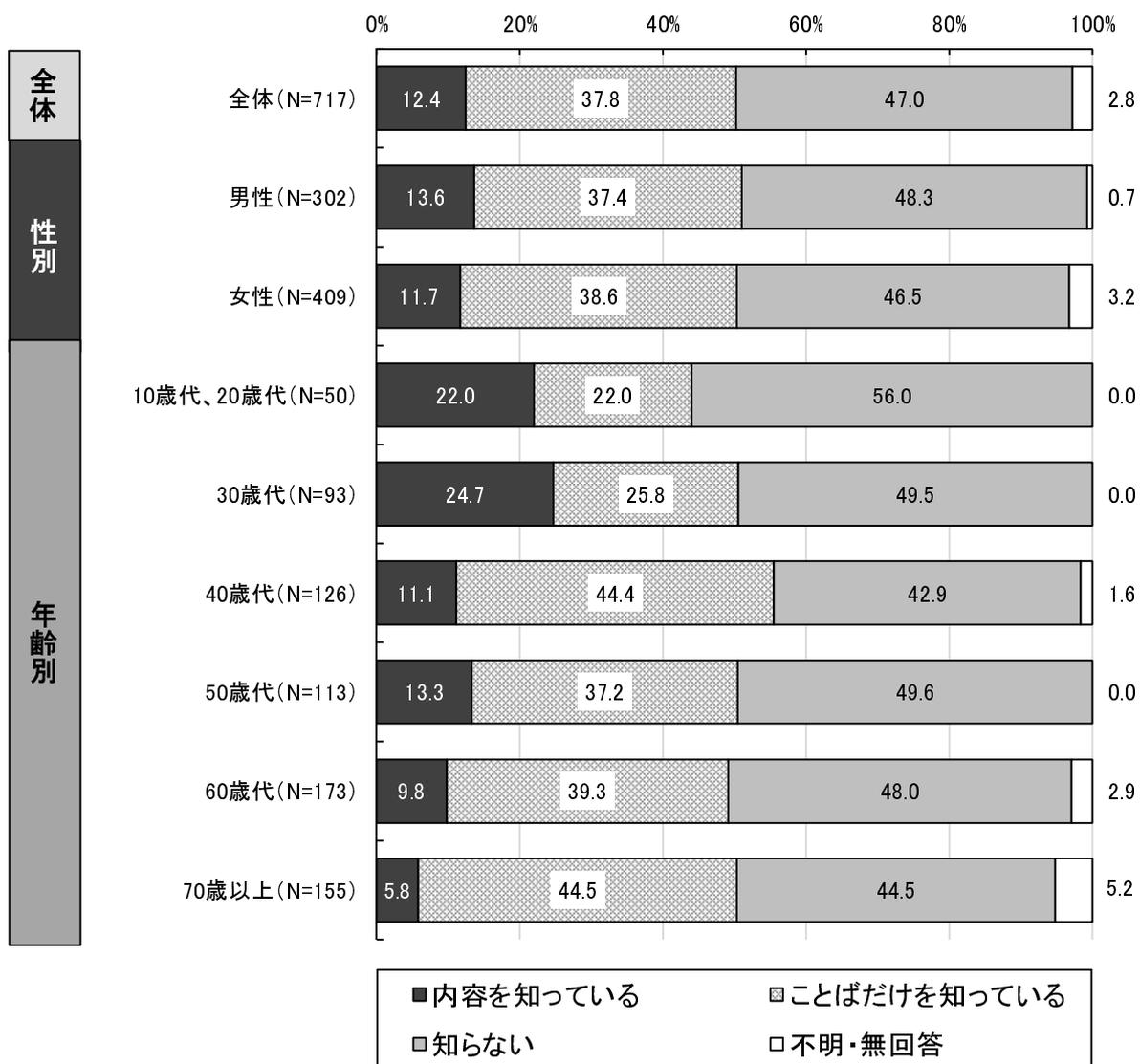
## 問2 あなたは、次にあげる①～⑧の項目を知っていますか。(SA)

### ⑧ 女性活躍推進法

全体の結果を見ると、「知らない」の割合が47.0%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、40歳代を除いた年代において「知らない」の割合が最も高くなっています。



## 問2 前回比較（知っているの回答率）

前回の結果と「知っている」の回答率を比較すると、すべての項目で大幅に知っている人が増加しています。

		男性	女性
①男女共同参画社会	今回	80.1%	80.9%
	前回	64.8%	56.6%
③ジェンダー（社会的性別）	今回	66.2%	64.8%
	前回	27.2%	18.3%
⑤男女雇用機会均等法	今回	89.7%	84.1%
	前回	80.5%	64.4%
⑥ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	今回	41.1%	35.7%
	前回	12.9%	7.1%

※ 「②愛荘町男女共同参画推進計画」「④セクシュアルマイノリティ」「⑦ワーク・ライフ・バランス」「⑧女性活躍推進法」については、前回の質問項目に含まれていないため、前回比較はありません。

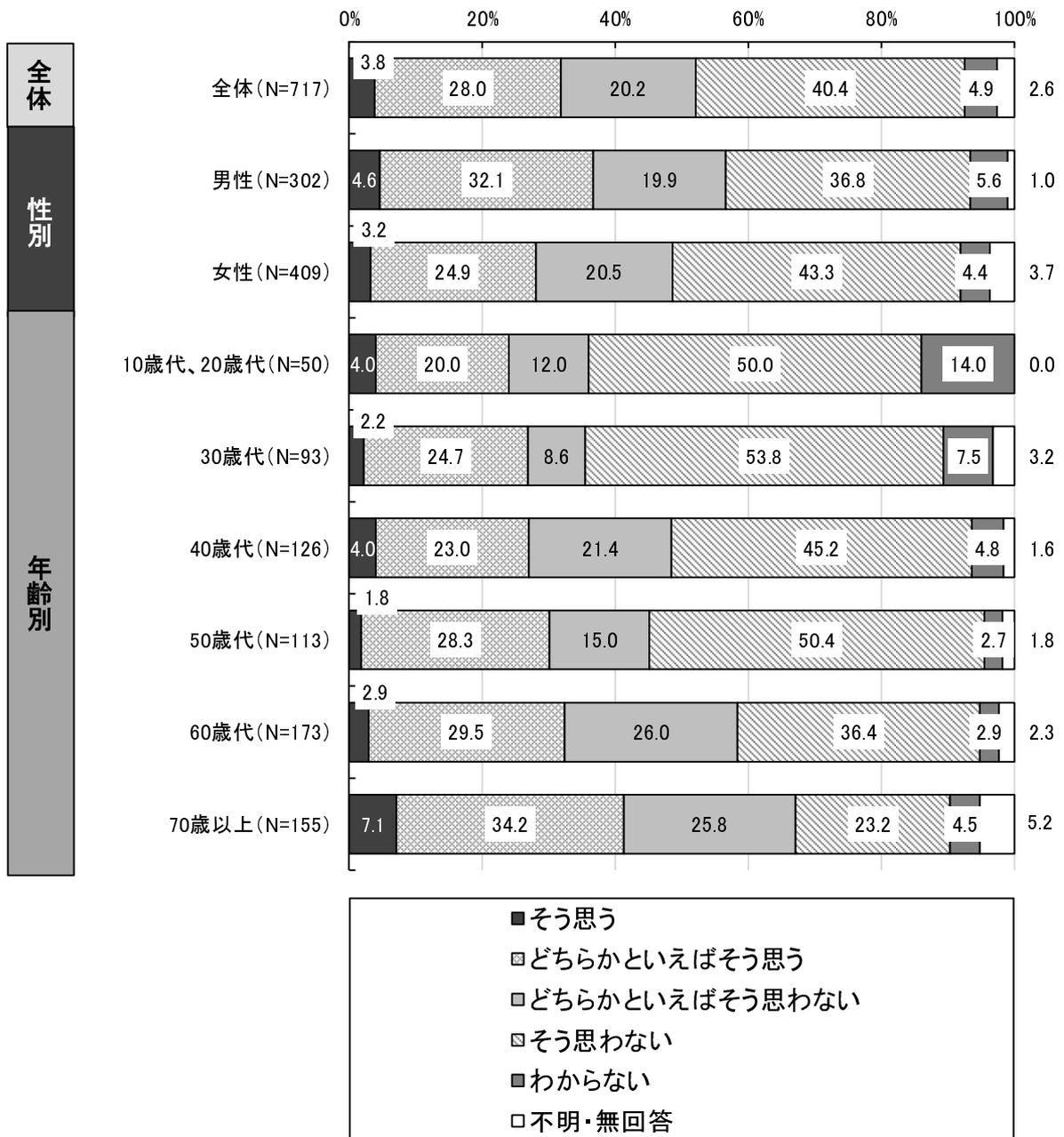
※ 前回は見聞きしたことがある項目に〇、今回はそれぞれの項目で 3 択と回答方式が異なるため、今回の数字については、「内容を知っている」「ことばだけを知っている」を足した数字で比較をしています。

**問3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方がありますが、あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(SA)**

全体の結果を見ると、「そう思わない」の割合が40.4%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「そう思わない」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、70歳以上を除いた年代において「そう思わない」の割合が最も高くなっています。



### 問3 前回比較

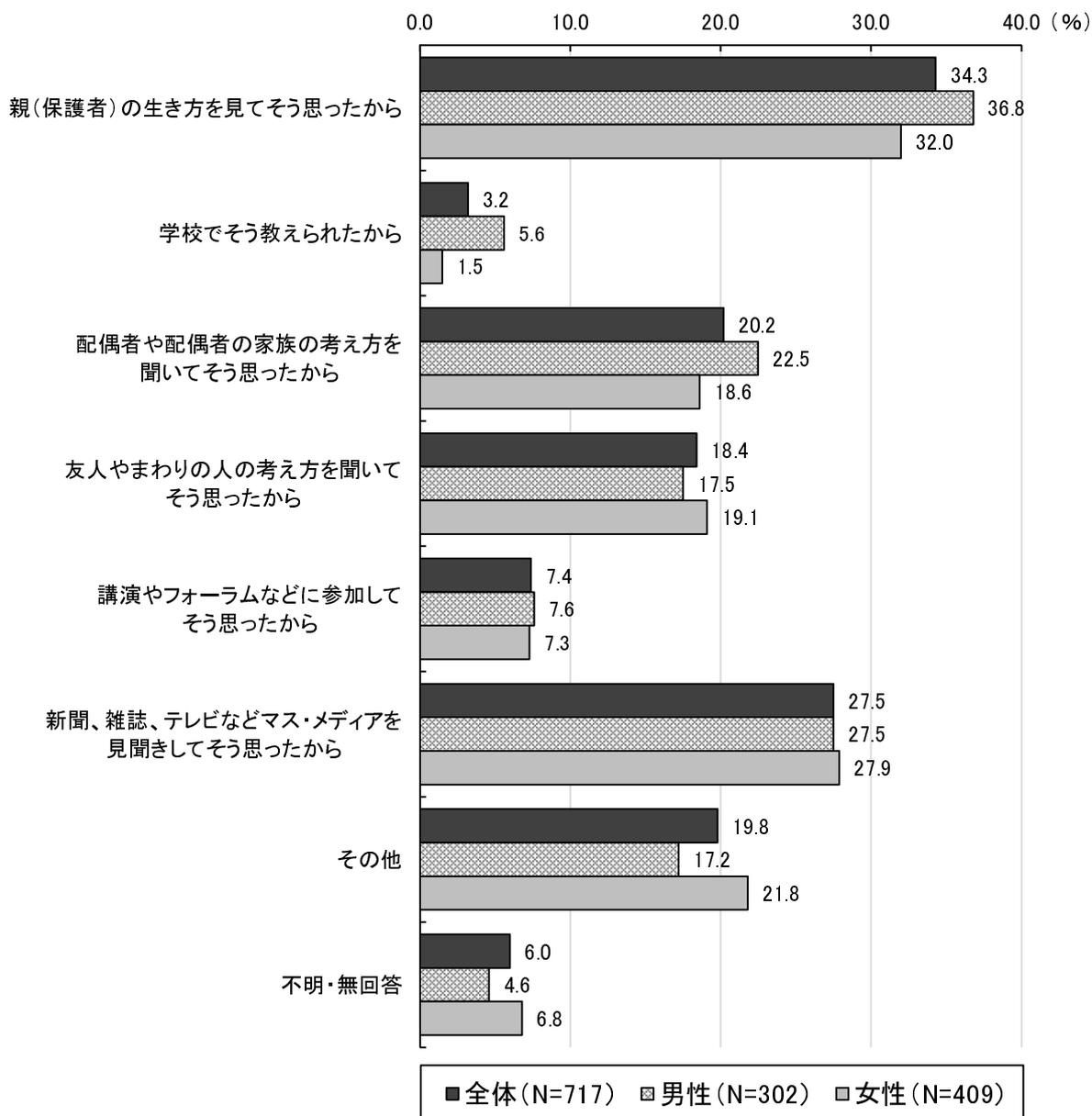
前回の結果と比較すると、男女どちらにおいても、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が高くなっています。

		男性	女性
そう思う	今回	4.6%	3.2%
	前回	10.3%	8.2%
どちらかといえばそう思う	今回	32.1%	24.9%
	前回	42.7%	36.8%
どちらかといえばそう思わない	今回	19.9%	20.5%
	前回	13.4%	19.2%
そう思わない	今回	36.8%	43.3%
	前回	31.6%	31.2%
わからない	今回	5.6%	4.4%
	前回	2.1%	4.0%

#### 問4 仕事と家庭における男女（夫婦、事実婚のパートナー）の役割分担について、あなたが、問3のように考えるのはなぜですか。（MA）

全体の結果を見ると、「親（保護者）の生き方を見てそう思ったから」の割合が34.3%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「親（保護者）の生き方を見てそう思ったから」の割合が最も高くなっています。



#### 問4 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「親（保護者）の生き方を見てそう思ったから」の割合が最も高くなっています。また、10歳代、20歳代において「学校でそう教えられたから」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

単位：%

	親（保護者）の生き方を見てそう思ったから	学校でそう教えられたから	配偶者や配偶者の家族の考え方を聞いてそう思ったから	友人やまわりの人の考え方を聞いてそう思ったから
10歳代、20歳代(N=50)	44.0	14.0	10.0	22.0
30歳代(N=93)	36.6	3.2	14.0	15.1
40歳代(N=126)	31.0	1.6	16.7	14.3
50歳代(N=113)	29.2	2.7	23.9	15.9
60歳代(N=173)	34.7	2.9	25.4	19.7
70歳以上(N=155)	34.2	1.9	21.9	22.6
	講演やフォーラムなどに参加してそう思ったから	新聞、雑誌、テレビなどマス・メディアを見聞きしてそう思ったから	その他	不明・無回答
10歳代、20歳代(N=50)	2.0	26.0	24.0	2.0
30歳代(N=93)	2.2	28.0	25.8	4.3
40歳代(N=126)	6.3	29.4	26.2	3.2
50歳代(N=113)	6.2	26.5	26.5	3.5
60歳代(N=173)	11.0	27.7	15.0	5.8
70歳以上(N=155)	10.3	27.1	10.3	12.9

#### 問4 前回比較

前回の結果と比較すると、「親（保護者）の生き方を見てそう思ったから」で女性が13.6ポイント低くなっています。また、「新聞、雑誌、テレビなどマス・メディアを見聞きしてそう思ったから」で男性が9.2ポイント高くなっています。

		男性	女性
親（保護者）の生き方を見てそう思ったから	今回	36.8%	32.0%
	前回	40.1%	45.6%
学校でそう教えられたから	今回	5.6%	1.5%
	前回	5.4%	3.4%
配偶者や配偶者の家族の考え方を聞いてそう思ったから	今回	22.5%	18.6%
	前回	18.0%	22.1%
友人やまわりの人の考え方を聞いてそう思ったから	今回	17.5%	19.1%
	前回	16.5%	18.9%
講演やフォーラムなどに参加してそう思ったから	今回	7.6%	7.3%
	前回	6.9%	7.4%
新聞、雑誌、テレビなどマス・メディアを見聞きしてそう思ったから	今回	27.5%	27.9%
	前回	18.3%	21.1%
その他	今回	17.2%	21.8%
	前回	25.2%	18.3%

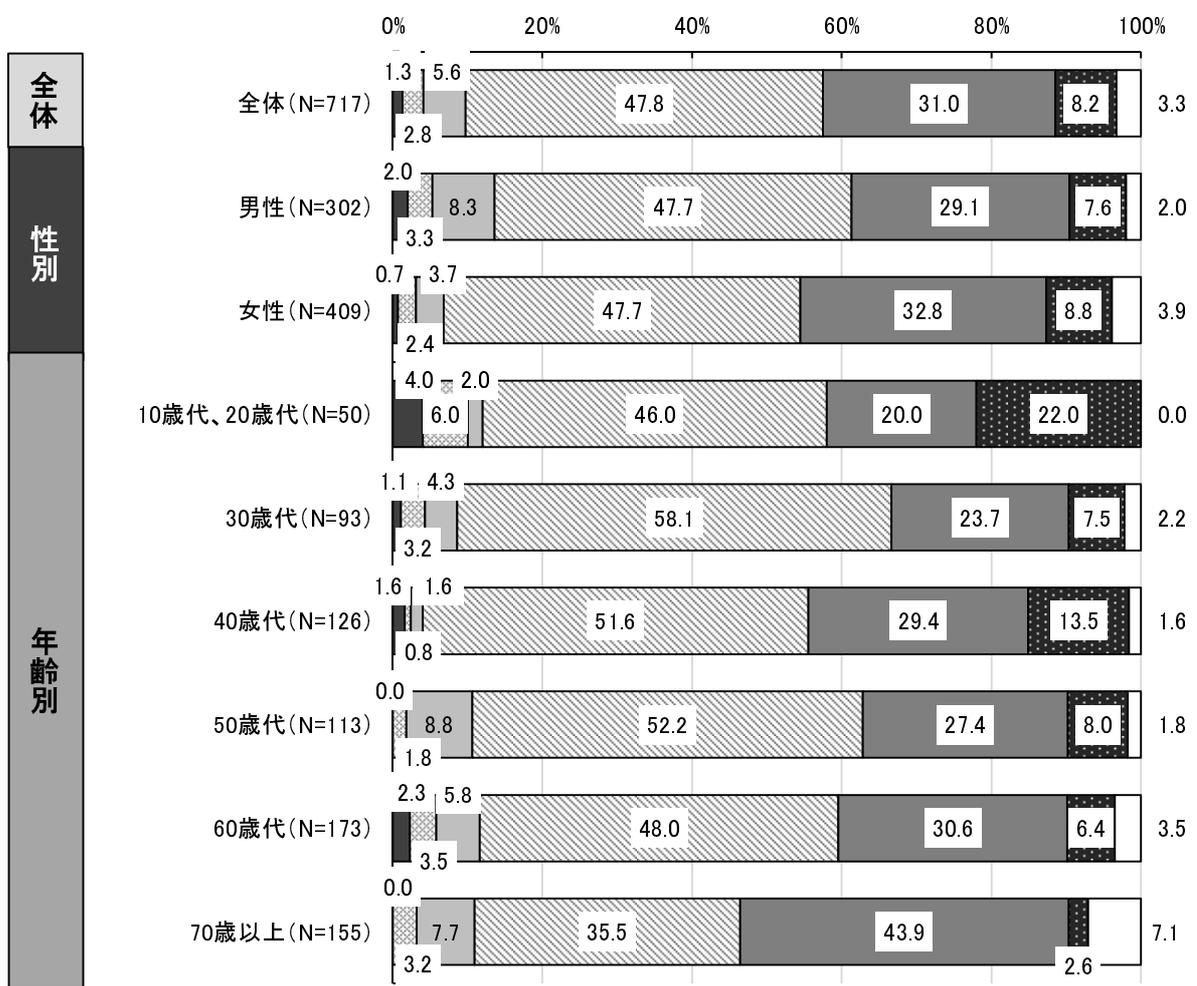
### 3. 仕事・職場環境について

#### 問5 女性が働くことについて、あなたはどうお考えですか。(SA)

全体の結果を見ると、「子どもができて、育児休業制度などを利用して仕事を続ける方がよい」の割合が47.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「子どもができて、育児休業制度などを利用して仕事を続ける方がよい」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、70歳以上を除いた年代において「子どもができて、育児休業制度などを利用して仕事を続ける方がよい」の割合が最も高くなっています。



- 女性は仕事をもたない方がよい
- 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 子どもができるまでは仕事をもつ方がよい
- 子どもができて、育児休業制度などを利用して仕事を続ける方がよい
- 子どもができたら仕事をやめ、一定の子育て期間が過ぎたら再び仕事をもつ方がよい
- その他
- 不明・無回答

問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

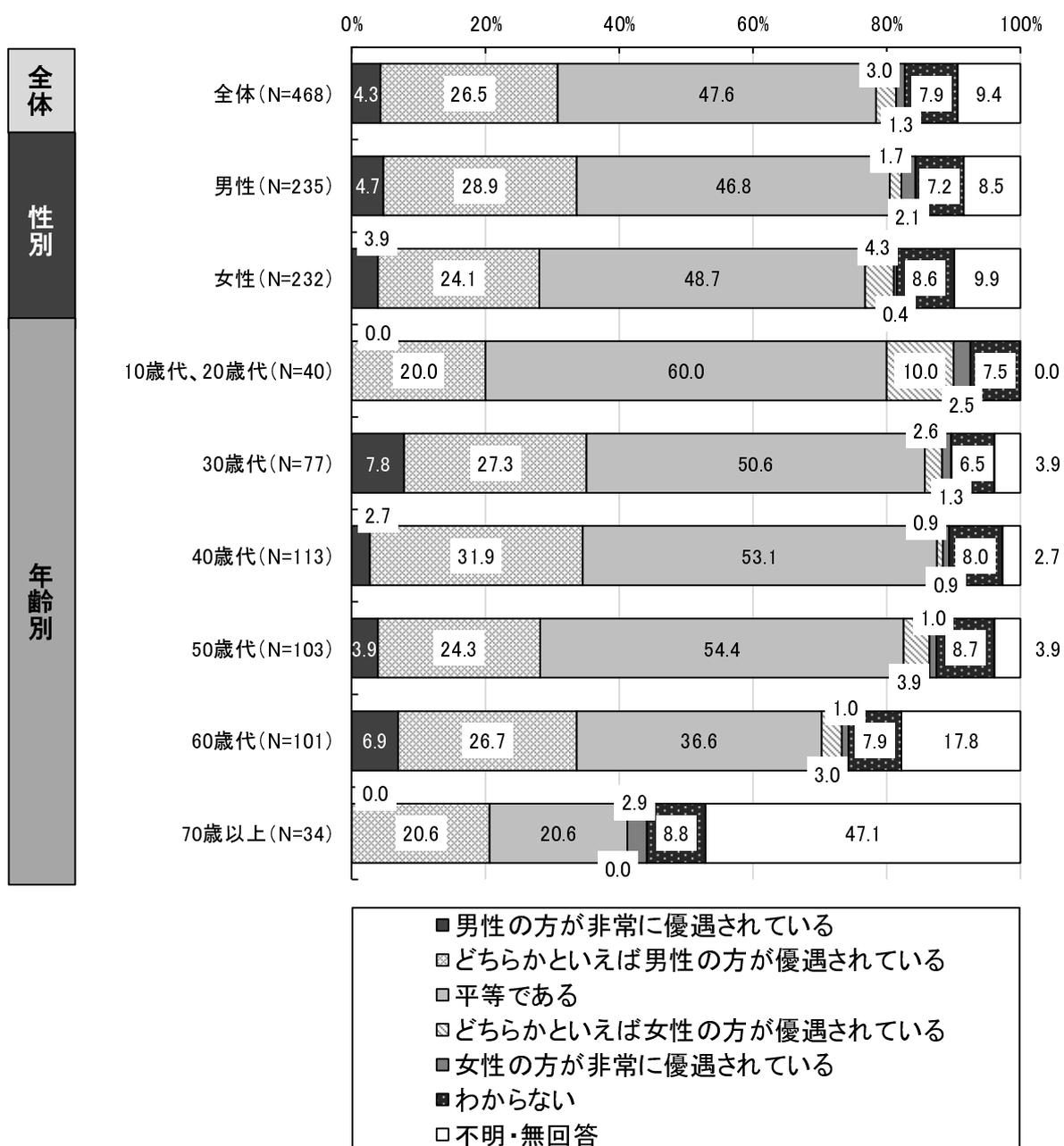
(SA)

① 募集や採用

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が47.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。ただし、70歳以上については「どちらかといえば男性の方が優遇されている」も同率となっています。



問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

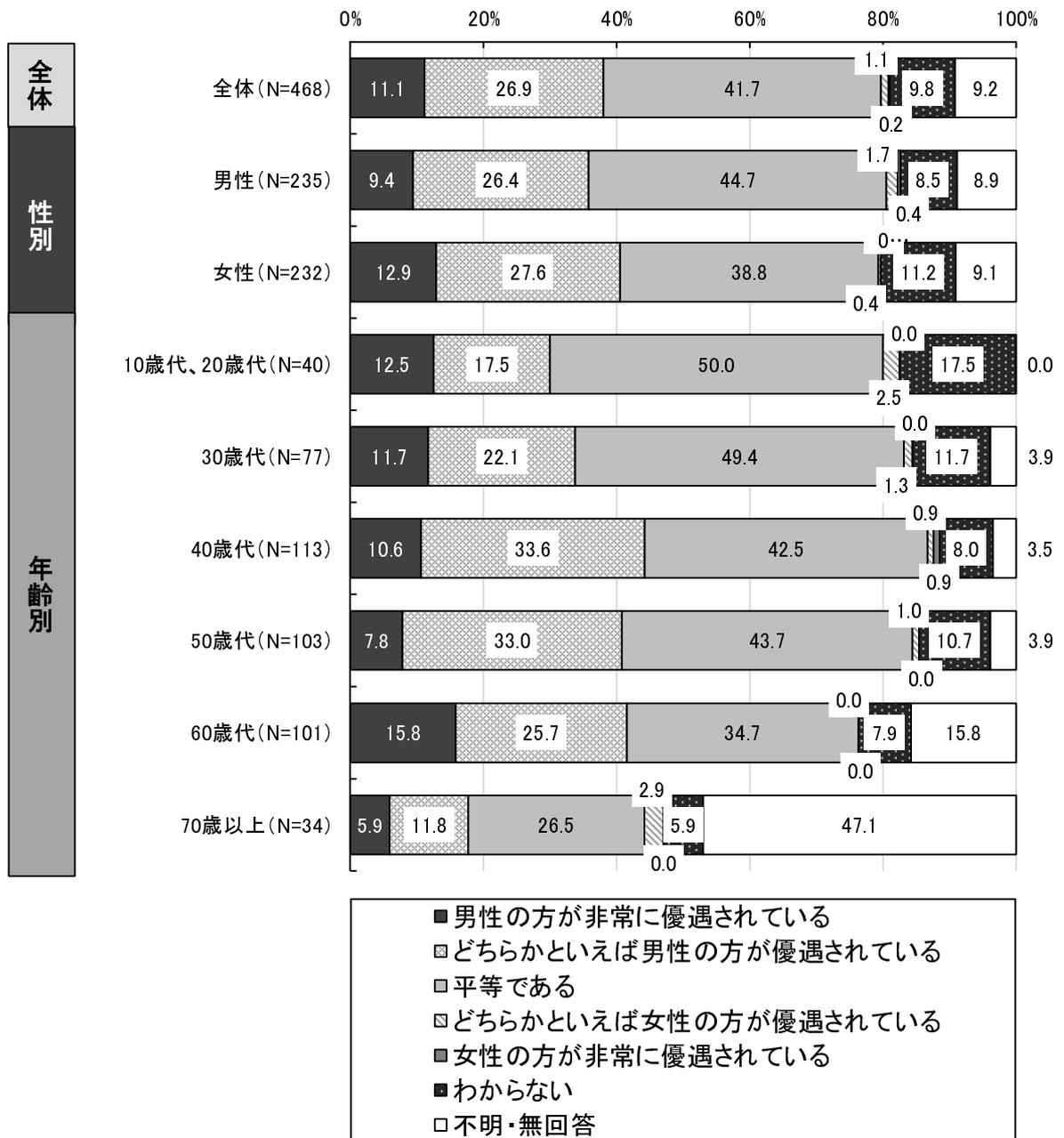
(SA)

② 賃金

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が41.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

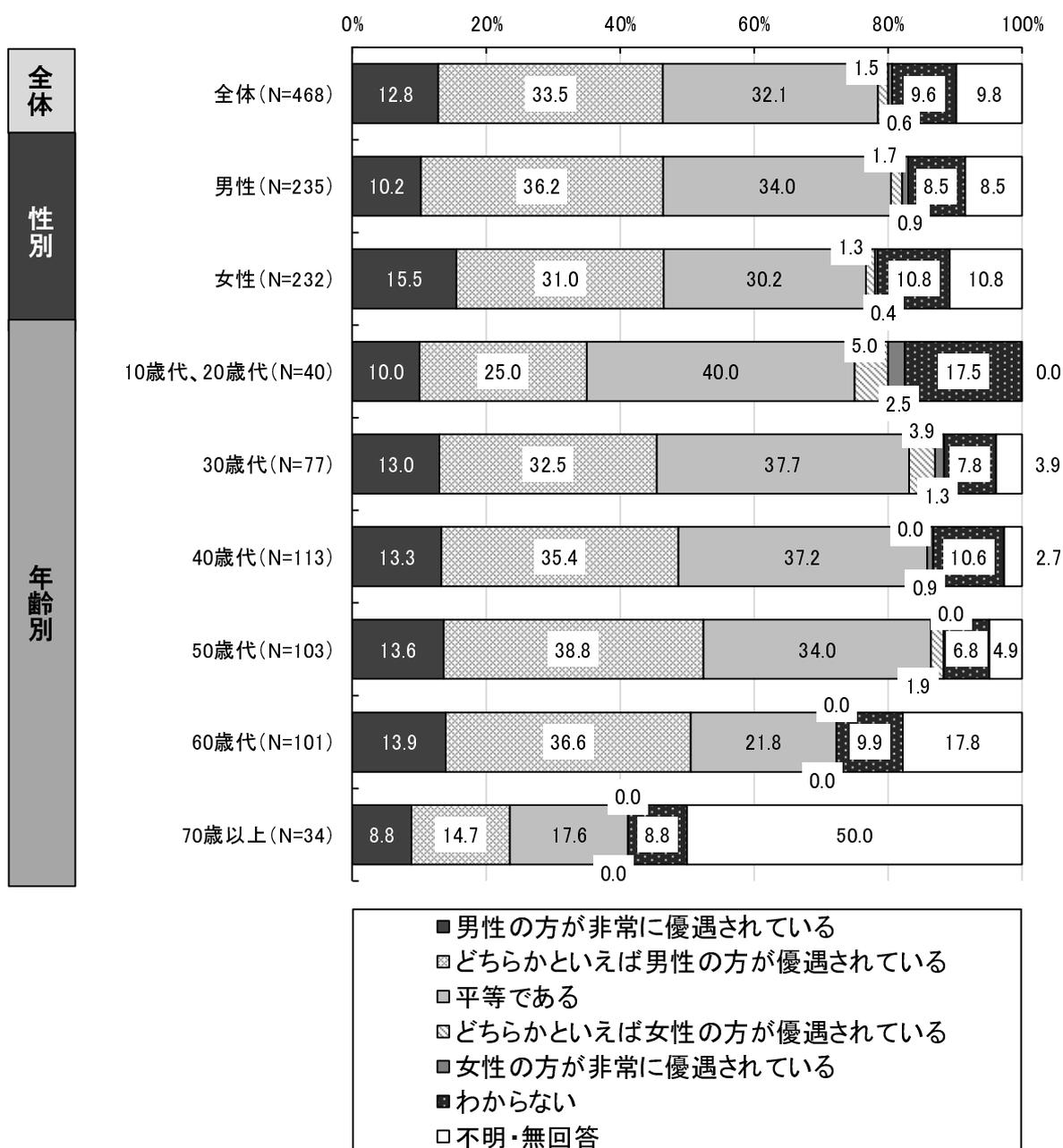
(SA)

③ 昇進・昇格

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が33.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、50歳代、60歳代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。



問6 <働いている人におたずねします。>

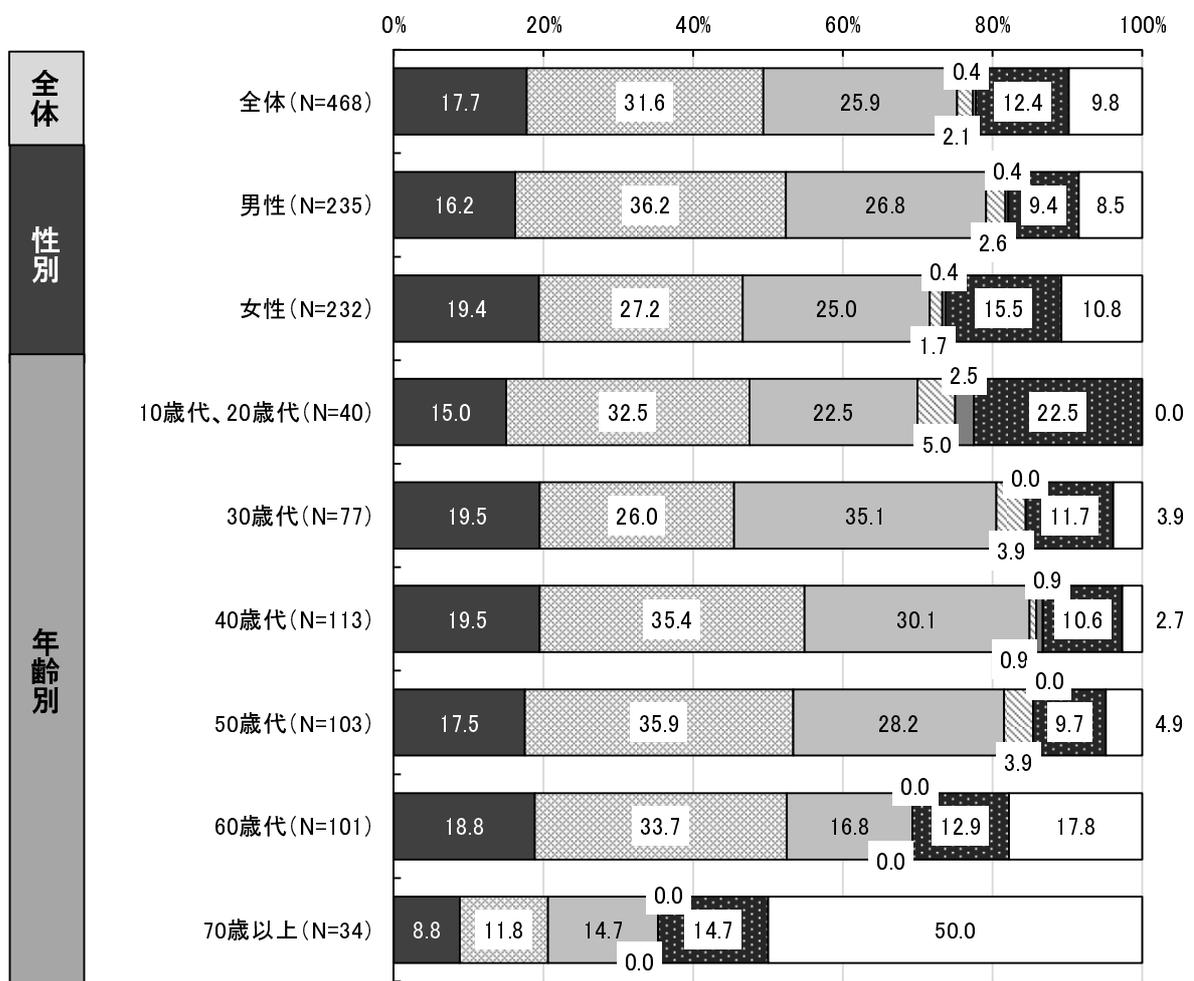
あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。  
(SA)

④ 幹部への登用

全体の結果を見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が31.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、30歳代、70歳以上を除いた年代において「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

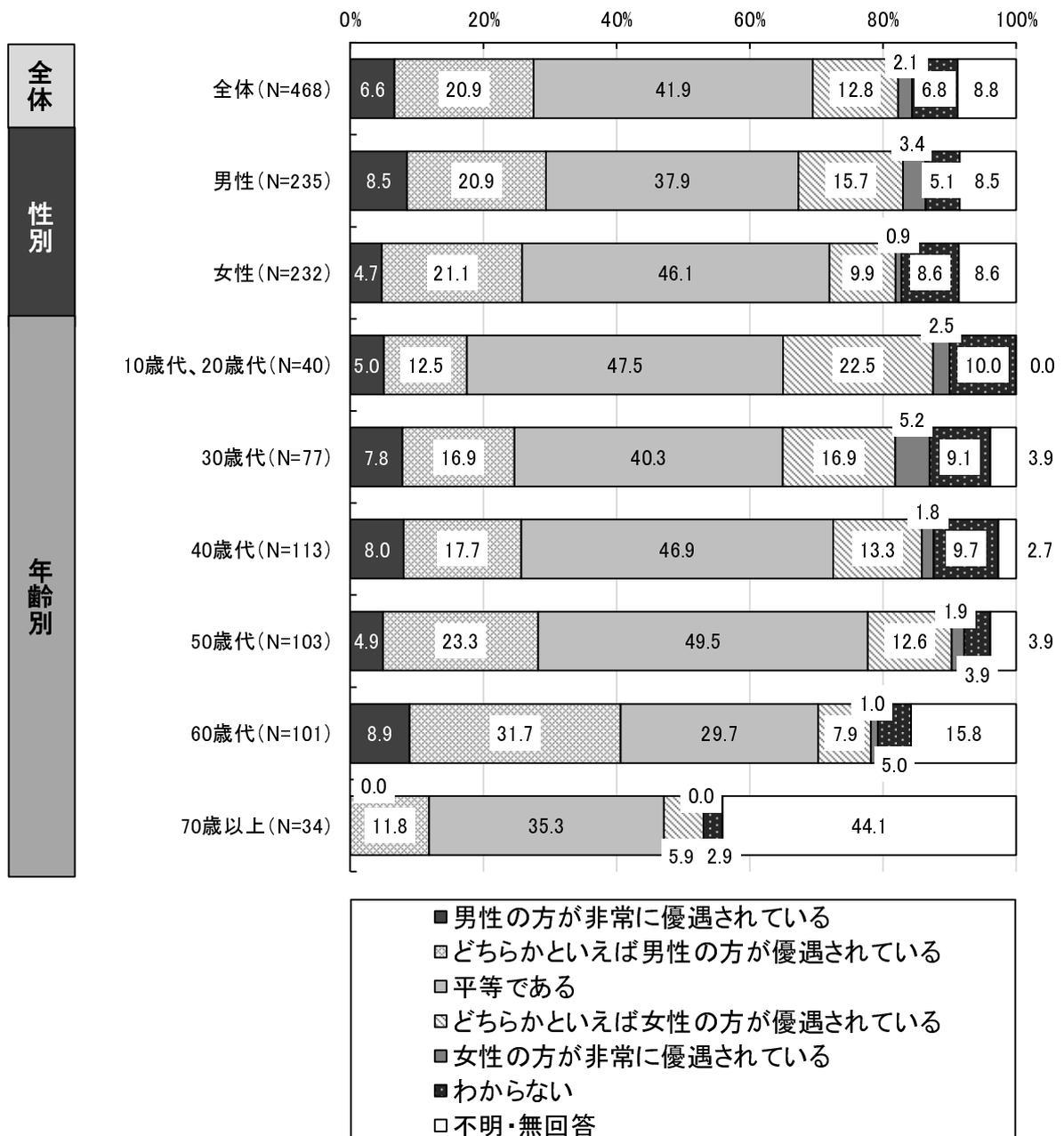
(SA)

⑤ 仕事の内容

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が41.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、60歳代を除いた年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

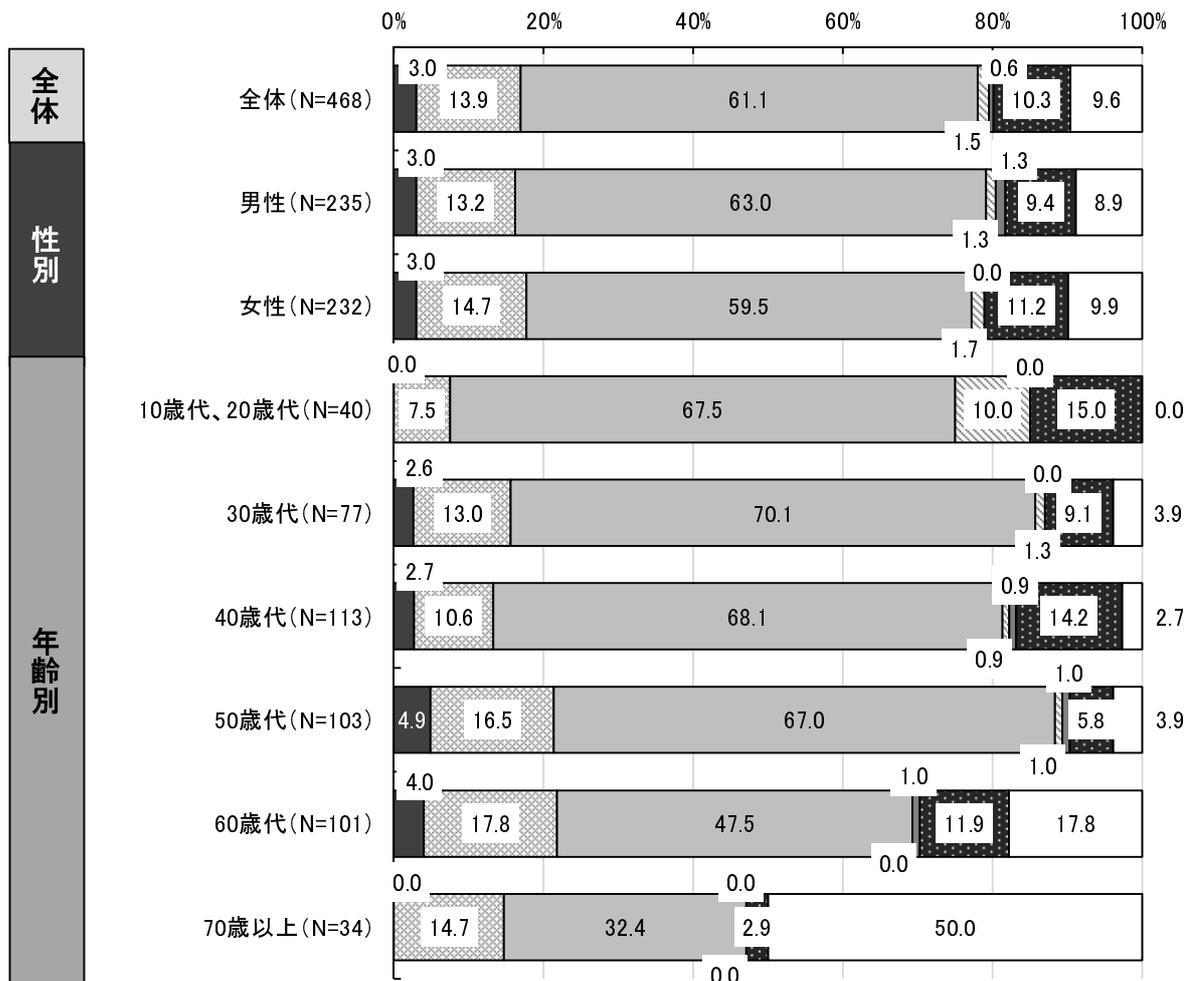
(SA)

⑥ 教育訓練・研修

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が61.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

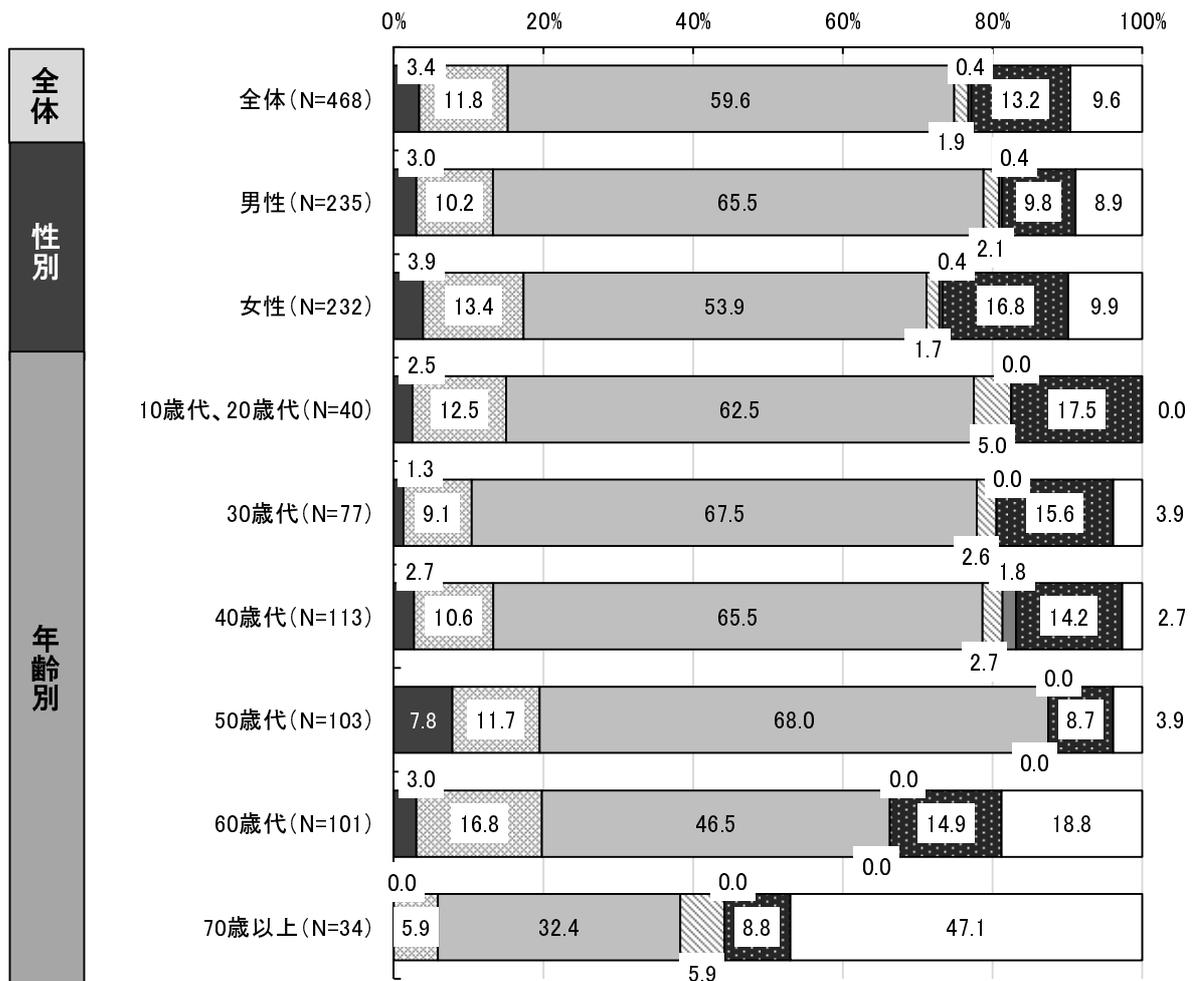
(SA)

⑦ 退職・解雇

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が59.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

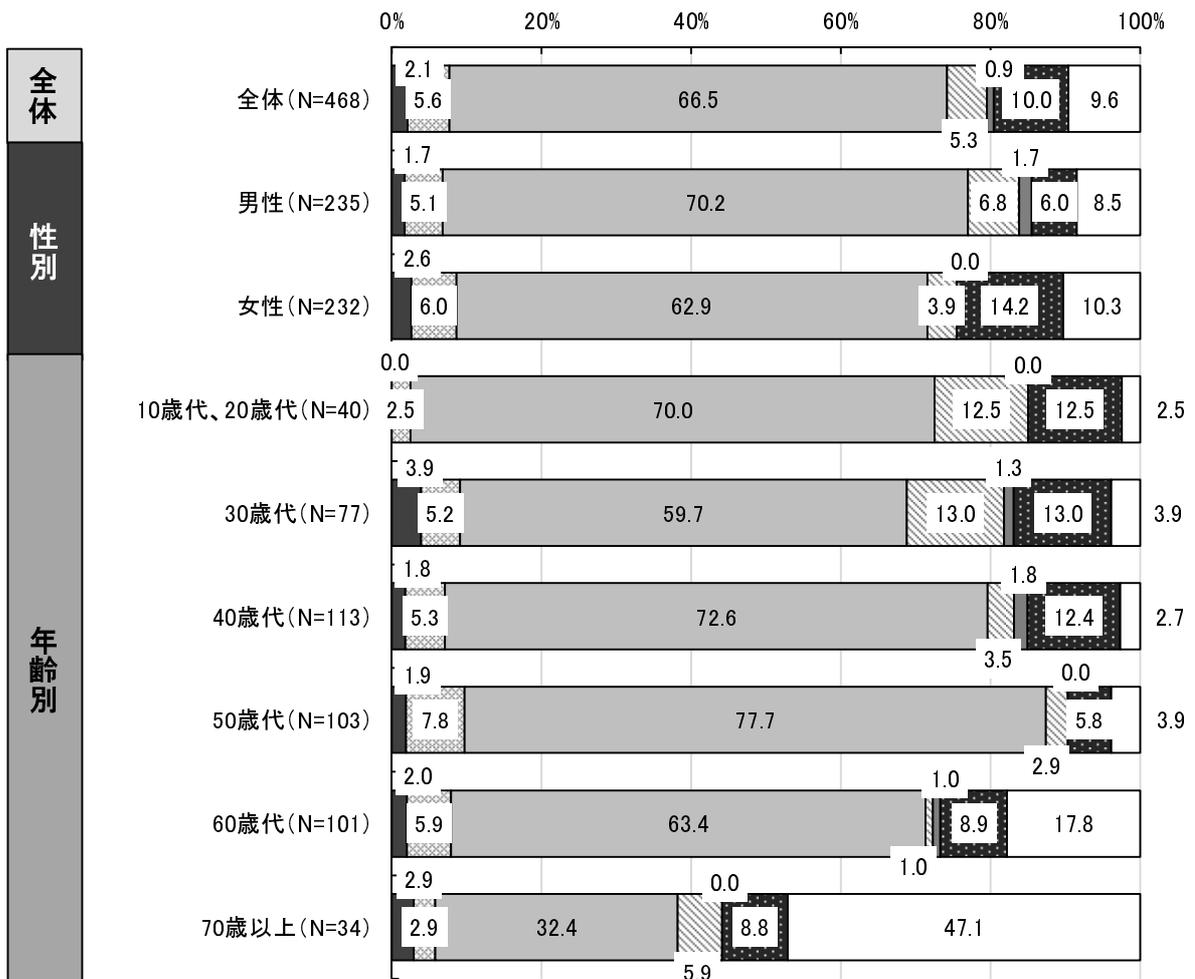
(SA)

⑧ 福利厚生

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が66.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

問6 <働いている人におたずねします。>

あなたの職場では、次にあげる①～⑨の項目で、男性と女性は平等だと思いますか。

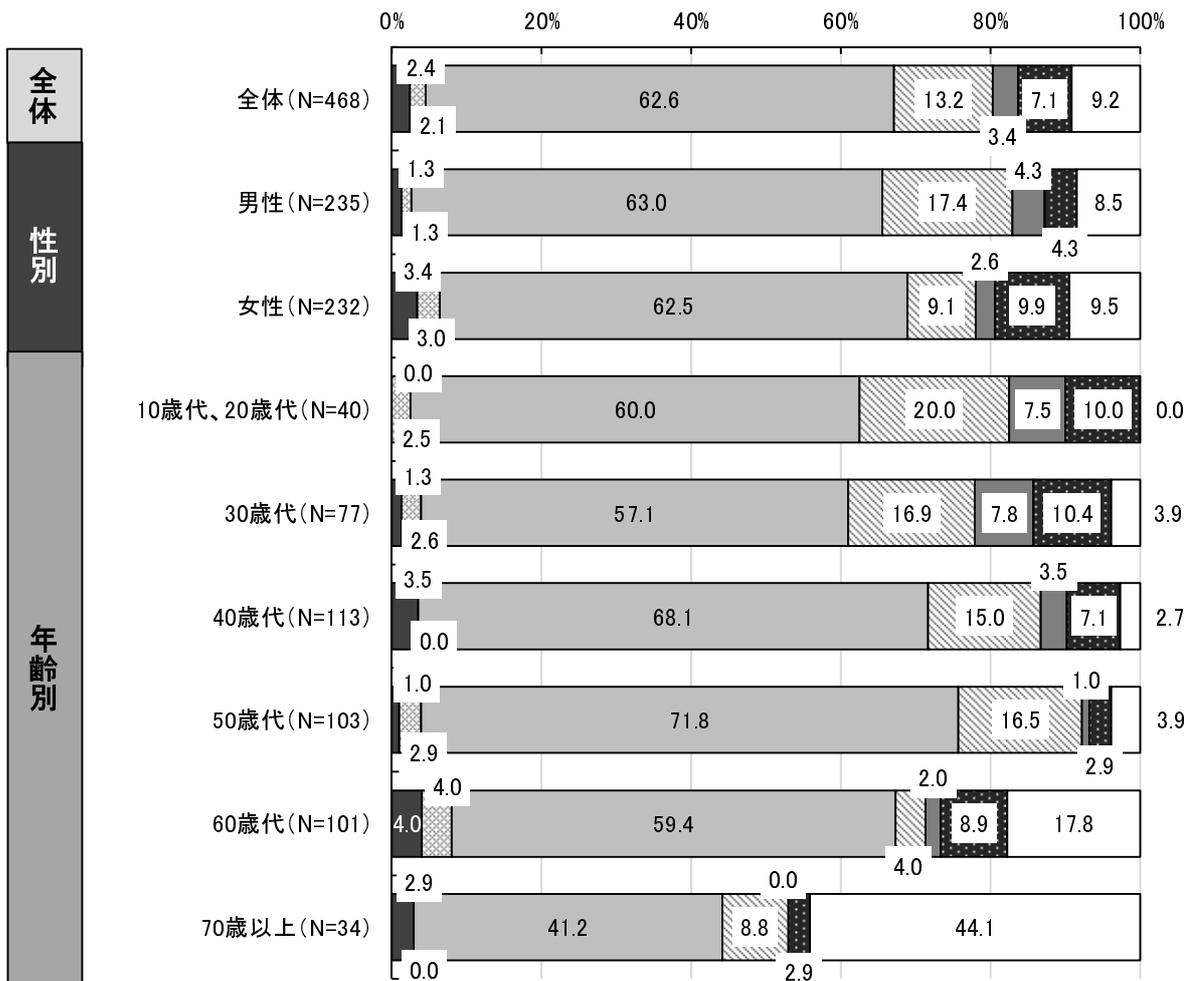
(SA)

⑨ 休暇の取得

全体の結果を見ると、「平等である」の割合が62.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「平等である」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「平等である」の割合が最も高くなっています。



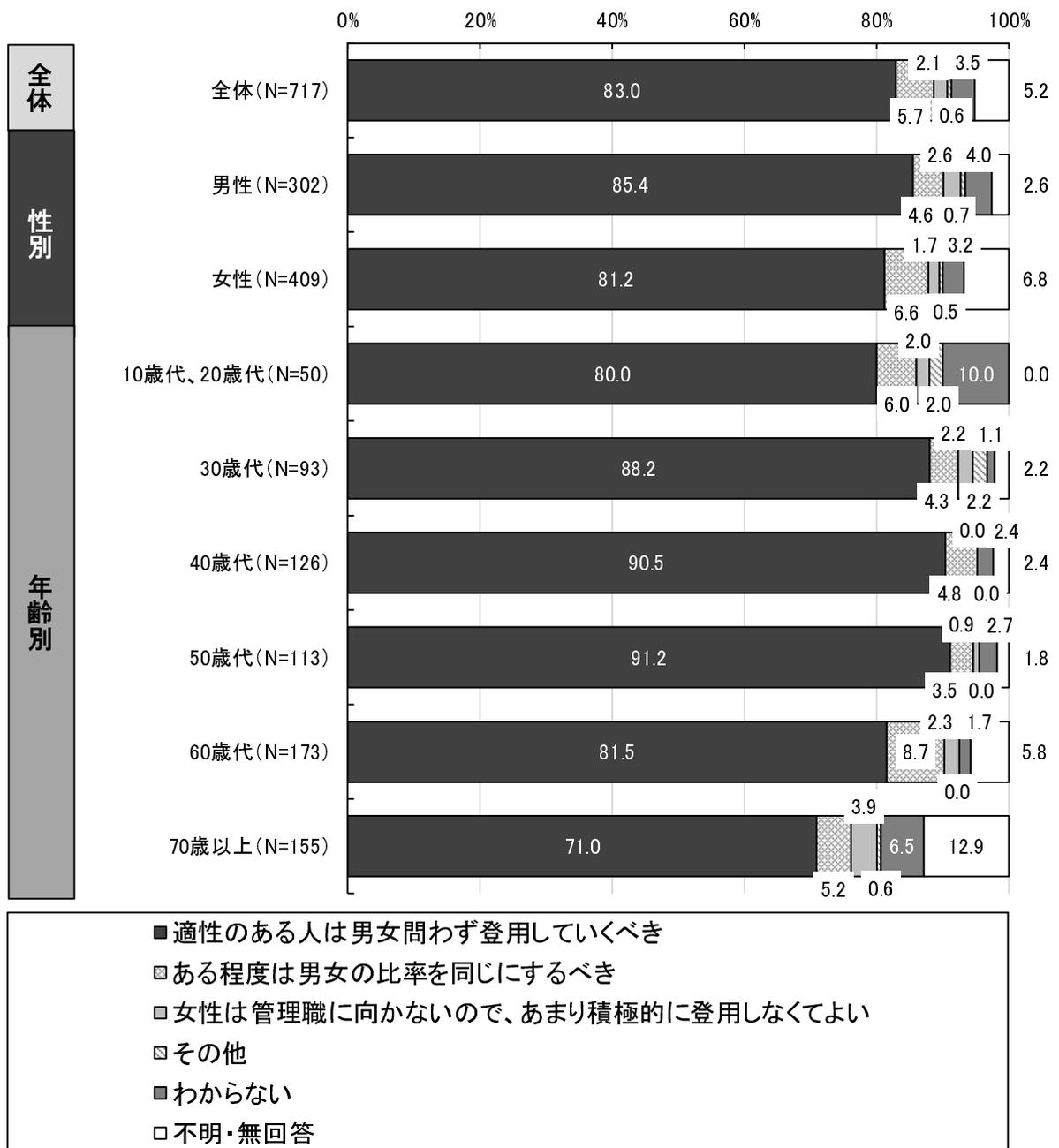
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

## 問7 女性の管理職の登用について、あなたはどのように思いますか。(SA)

全体の結果を見ると、「適性のある人は男女問わず登用していくべき」の割合が83.0%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「適性のある人は男女問わず登用していくべき」の割合が最も高くなっています。

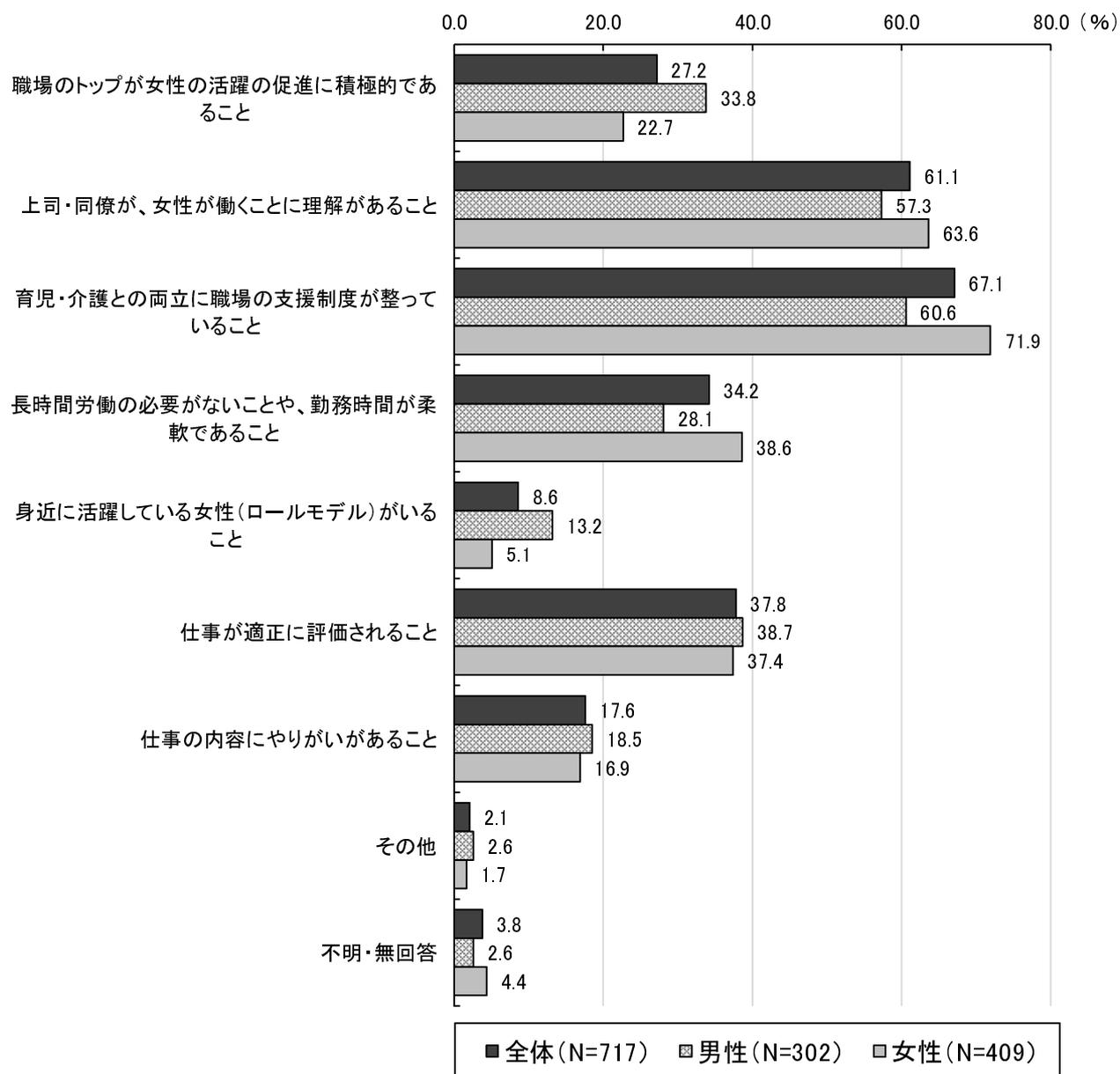
年齢別の結果を見ると、すべての年代において「適性のある人は男女問わず登用していくべき」の割合が最も高くなっています。



## 問8 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために、何が重要だと思いますか。(MA)

全体の結果を見ると、「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること」の割合が67.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること」の割合が最も高くなっています。



## 問8 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、10歳代～60歳代において「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること」の割合が70%前後と最も高くなっています。また、50歳以上において「仕事が適正に評価されること」の割合が他の年代に比べて高くなっています。

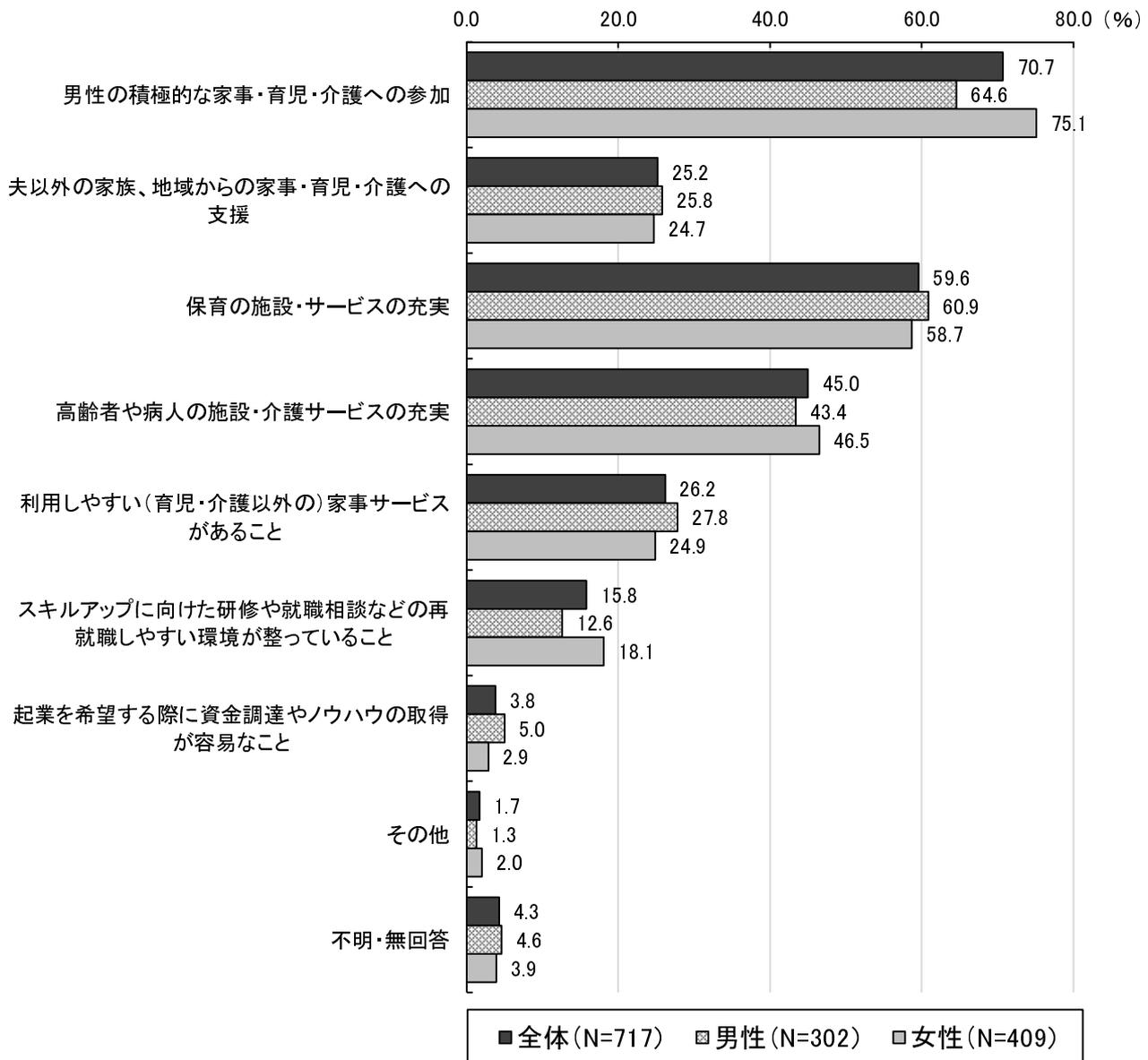
単位：%

	職場のトップが女性の活躍の促進に積極的であること	上司・同僚が、女性が働くことに理解があること	育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること	友人やまわりの人の考え方を聞いてそう思ったから	身近に活躍している女性（ロールモデル）がいること
10歳代、20歳代(N=50)	32.0	62.0	78.0	50.0	8.0
30歳代(N=93)	24.7	63.4	74.2	41.9	16.1
40歳代(N=126)	27.0	58.7	64.3	42.9	12.7
50歳代(N=113)	33.6	61.1	68.1	28.3	7.1
60歳代(N=173)	24.9	57.8	69.4	31.8	6.9
70歳以上(N=155)	26.5	63.9	57.4	24.5	3.9
	仕事が適正に評価されること	仕事の内容にやりがいがあること	その他	不明・無回答	
10歳代、20歳代(N=50)	28.0	12.0	6.0	0.0	
30歳代(N=93)	31.2	12.9	4.3	0.0	
40歳代(N=126)	31.7	13.5	3.2	0.8	
50歳代(N=113)	46.0	17.7	1.8	0.0	
60歳代(N=173)	42.2	19.7	0.6	5.8	
70歳以上(N=155)	40.6	22.6	0.6	9.7	

**問9 女性が職業生活で活躍するためには、家族や社会などからどのような支援が必要だと思いますか。(MA)**

全体の結果を見ると、「男性の積極的な家事・育児・介護への参加」の割合が70.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男性の積極的な家事・育児・介護への参加」の割合が最も高くなっています。



## 問9 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、10歳代、20歳代と40歳代以上では「男性の積極的な家事・育児・介護への参加」の割合が最も高くなっています。30歳代では「保育の施設・サービスの充実」の割合が81.7%と最も高くなっています。

単位：%

	男性の積極的な家事・育児・介護への参加	夫以外の家族、地域からの家事・育児・介護への支援	保育の施設・サービスの充実	高齢者や病人の施設・介護サービスの充実	利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること
10歳代、20歳代(N=50)	88.0	32.0	76.0	24.0	18.0
30歳代(N=93)	78.5	29.0	81.7	21.5	25.8
40歳代(N=126)	67.5	29.4	53.2	39.7	24.6
50歳代(N=113)	81.4	19.5	55.8	57.5	27.4
60歳代(N=173)	64.7	21.4	60.1	50.3	26.0
70歳以上(N=155)	61.3	25.8	47.7	56.1	29.7
	スキルアップに向けた研修や就職相談などの再就職しやすい環境が整っていること	起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと	その他	不明・無回答	
10歳代、20歳代(N=50)	20.0	0.0	4.0	0.0	
30歳代(N=93)	18.3	8.6	3.2	0.0	
40歳代(N=126)	16.7	4.8	2.4	0.8	
50歳代(N=113)	15.0	3.5	1.8	0.9	
60歳代(N=173)	13.3	1.7	0.6	8.1	
70歳以上(N=155)	16.1	3.9	0.6	9.0	

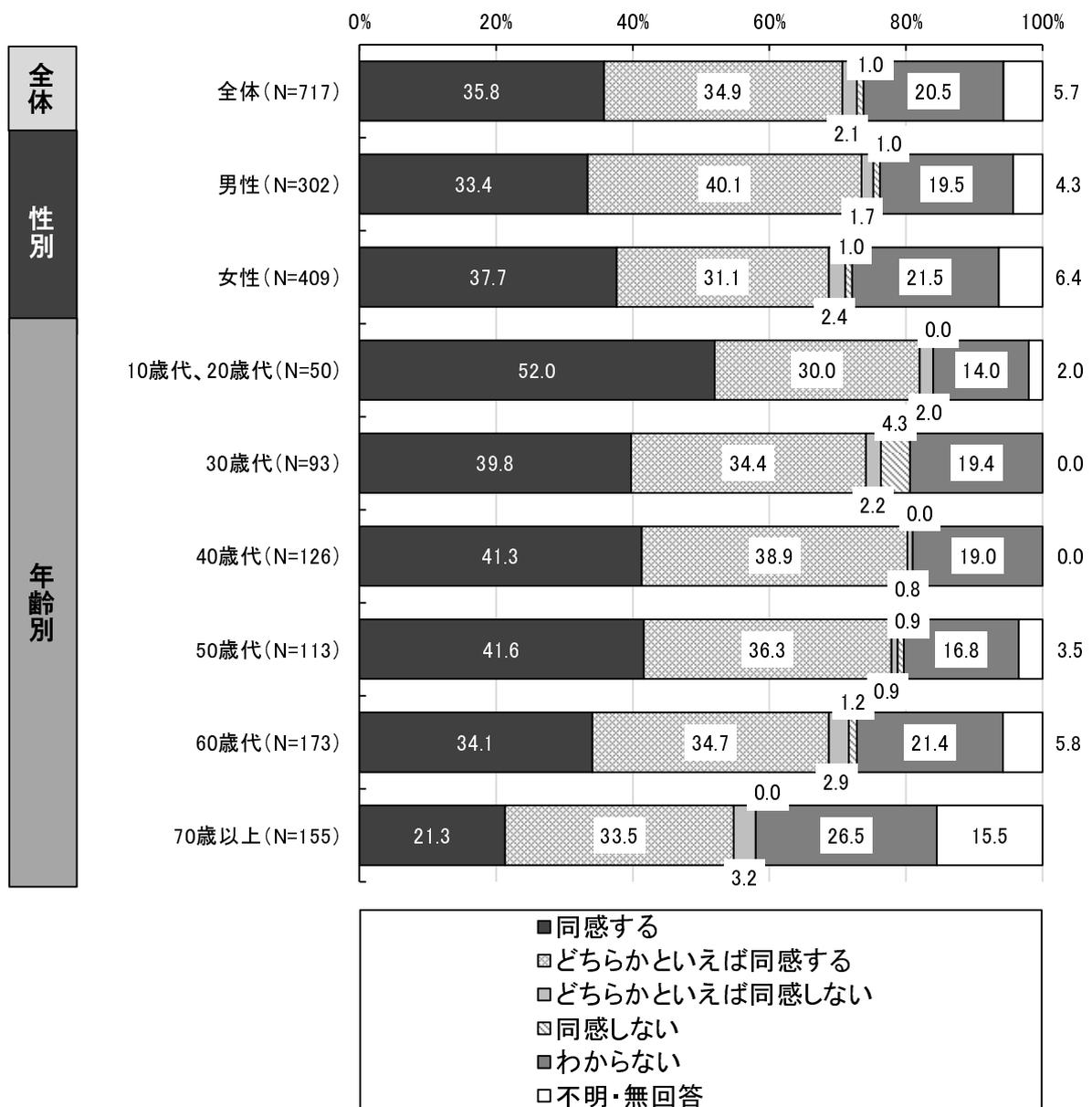
## 4. ワーク・ライフ・バランスについて

問 10 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）という考え方について、どう思いますか。（SA）

全体の結果を見ると、「同感する」の割合が35.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「どちらかといえば同感する」の割合が最も高くなっているのに対し、女性は「同感する」の割合が最も高くなっています。

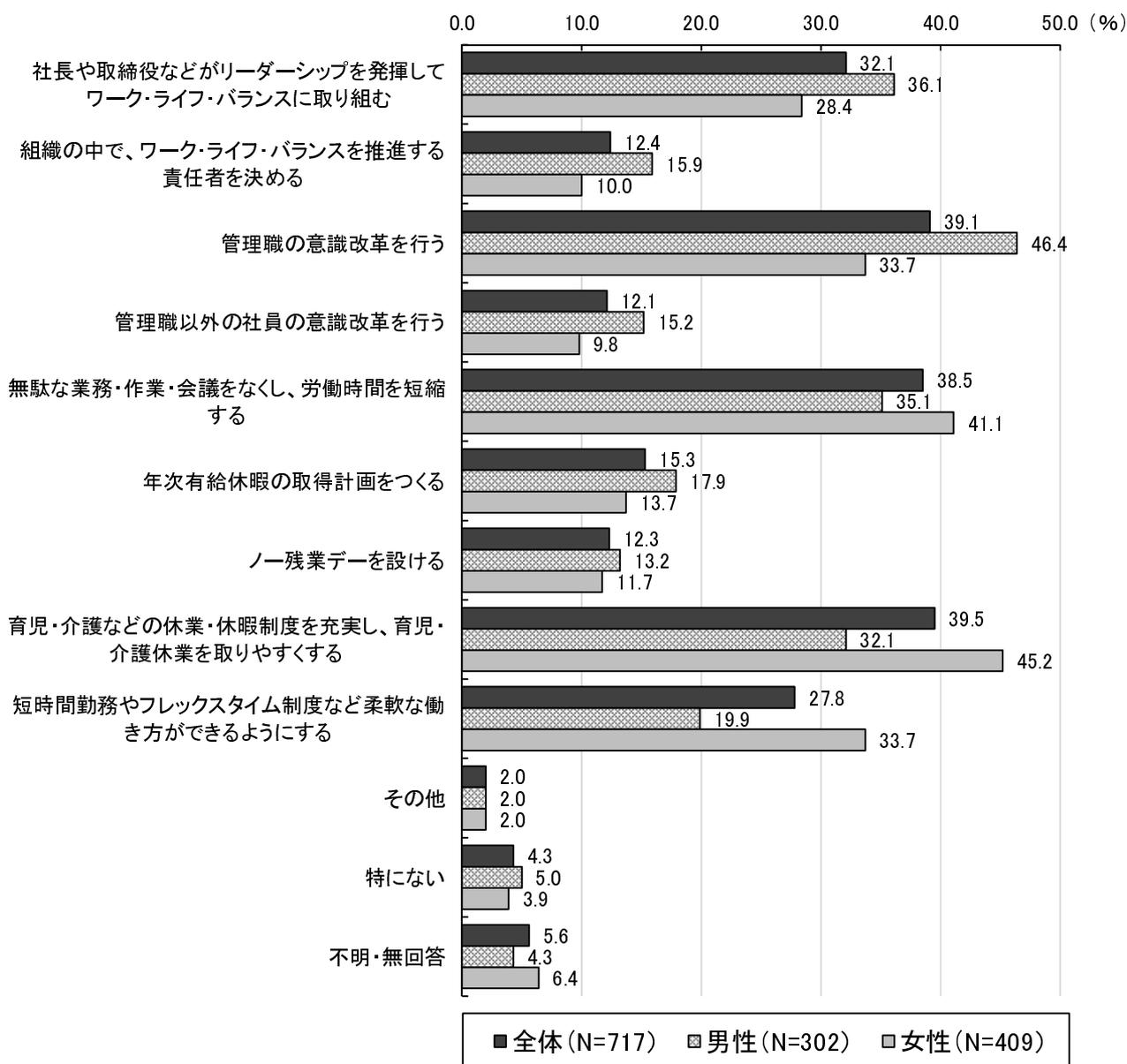
年齢別の結果を見ると、60代以上を除いた年代において「同感する」の割合が最も高くなっています。



**問 11 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために、職場においてどのような取り組みが必要だと思いますか。（MA）**

全体の結果を見ると、「育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする」の割合が39.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性では「管理職の意識改革を行う」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする」の割合が最も高くなっています。



## 問 11 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、10歳代～30歳代、50歳代では「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」の割合がそれぞれ50.0%前後と最も高くなっています。40歳代では「管理職の意識改革を行う」の割合が最も高くなっています。60歳以上では「育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む	組織の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める	管理職の意識改革を行う	管理職以外の社員の意識改革を行う	無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する	年次有給休暇の取得計画をつくる
10歳代、20歳代(N=50)	28.0	14.0	46.0	8.0	50.0	24.0
30歳代(N=93)	37.6	7.5	45.2	9.7	58.1	18.3
40歳代(N=126)	36.5	9.5	45.2	11.1	41.3	15.9
50歳代(N=113)	34.5	13.3	39.8	8.8	46.9	12.4
60歳代(N=173)	27.7	12.7	37.6	15.0	27.2	18.5
70歳以上(N=155)	28.4	16.8	29.7	14.8	27.7	9.7
	ノー残業デーを設ける	育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする	短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする	その他	特にない	不明・無回答
10歳代、20歳代(N=50)	24.0	46.0	22.0	4.0	0.0	0.0
30歳代(N=93)	11.8	39.8	29.0	1.1	3.2	0.0
40歳代(N=126)	9.5	35.7	34.1	5.6	4.0	1.6
50歳代(N=113)	13.3	33.6	25.7	0.9	7.1	1.8
60歳代(N=173)	8.1	43.4	31.2	1.2	4.6	5.8
70歳以上(N=155)	14.8	40.6	22.6	0.6	4.5	15.5

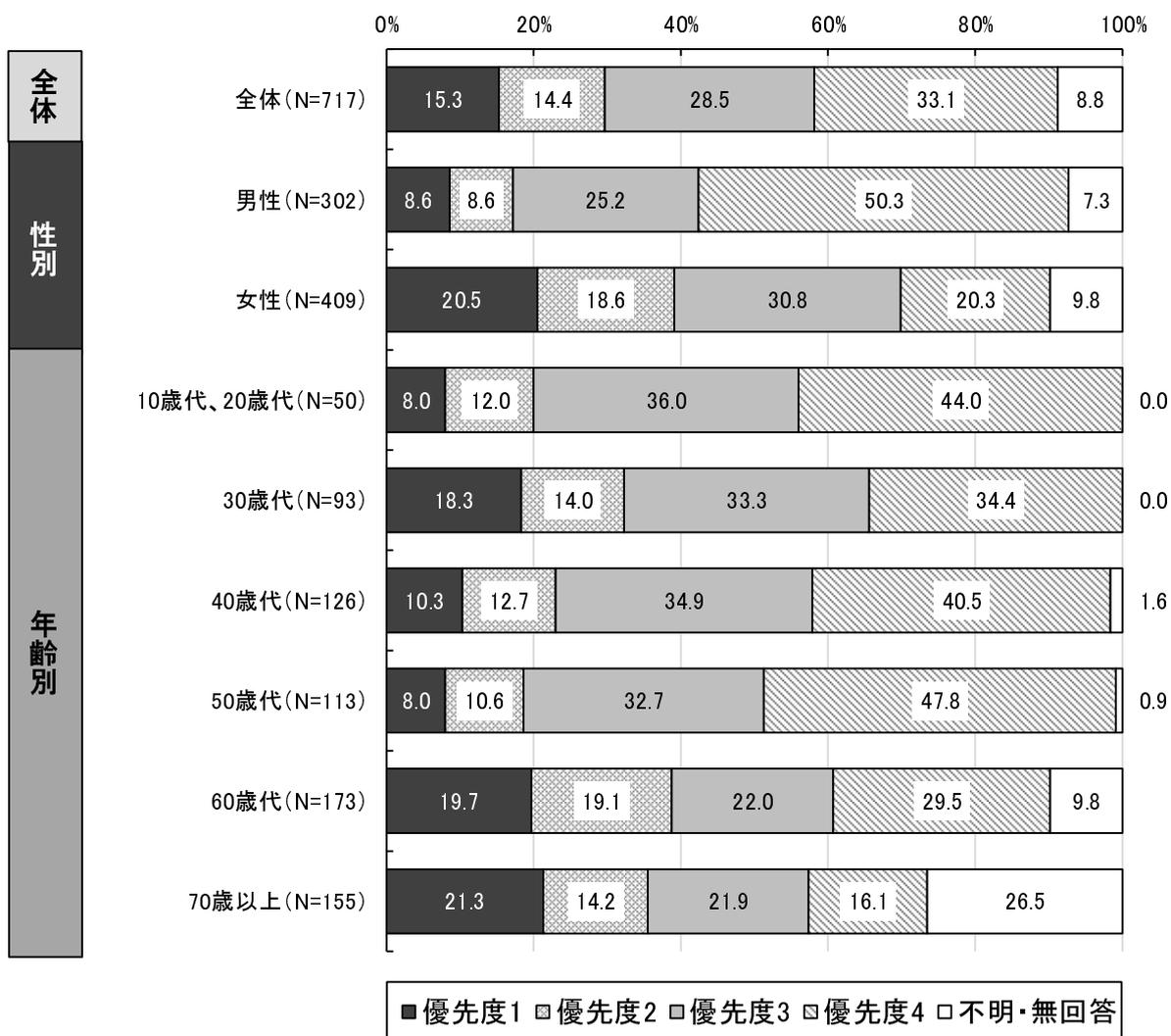
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

A. 現在の状況 ① 仕事

全体の結果を見ると、「優先度 4」の割合が 33.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「優先度 4」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「優先度 3」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、70 歳代以上を除いた年代において「優先度 4」の割合が最も高くなっています。



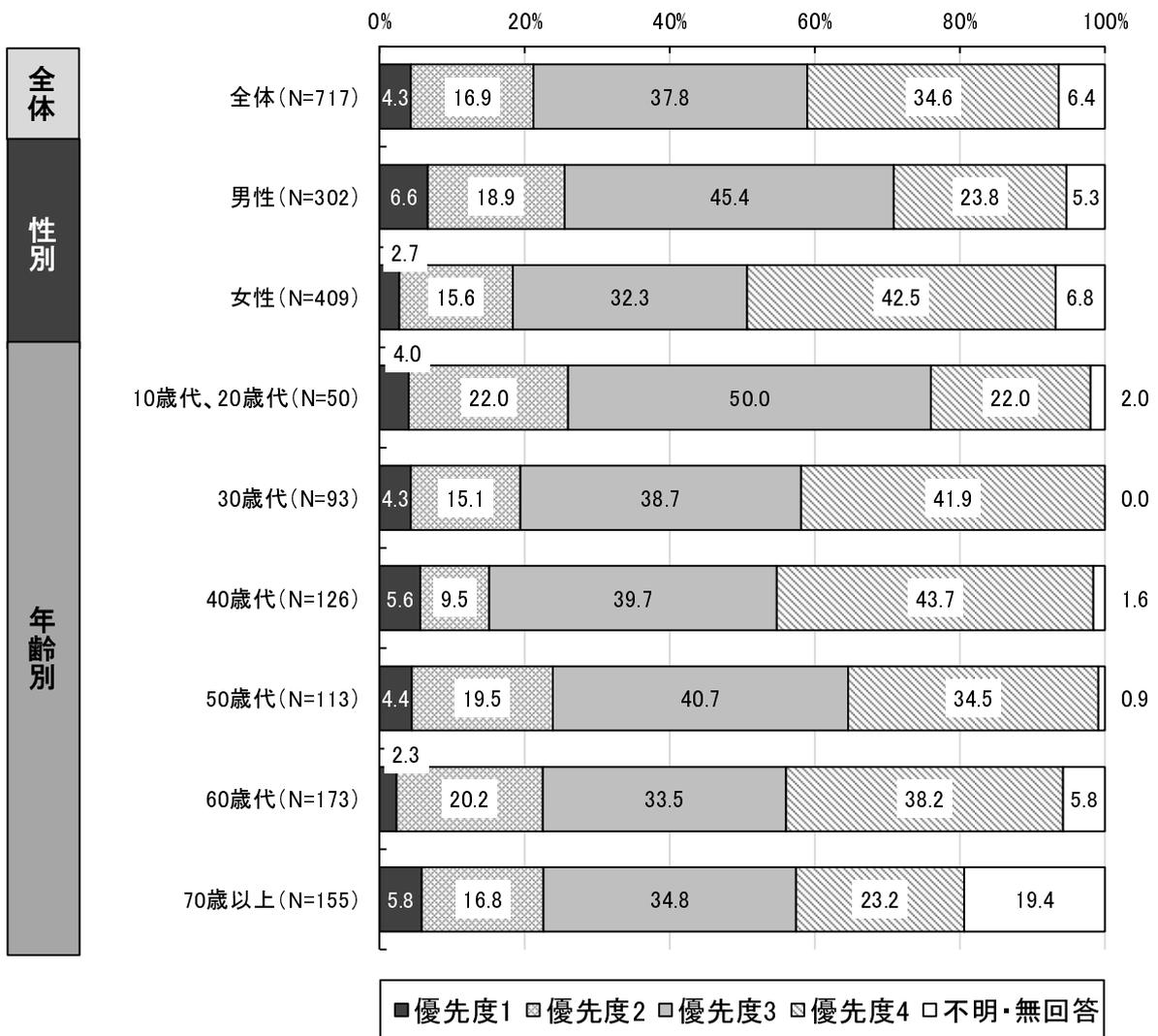
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

A. 現在の状況 ② 家庭生活

全体の結果を見ると、「優先度 3」の割合が 37.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「優先度 3」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「優先度 4」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、10 歳代、20 歳代と 50 歳代 70 歳以上の年代において「優先度 3」の割合が最も高くなっています。



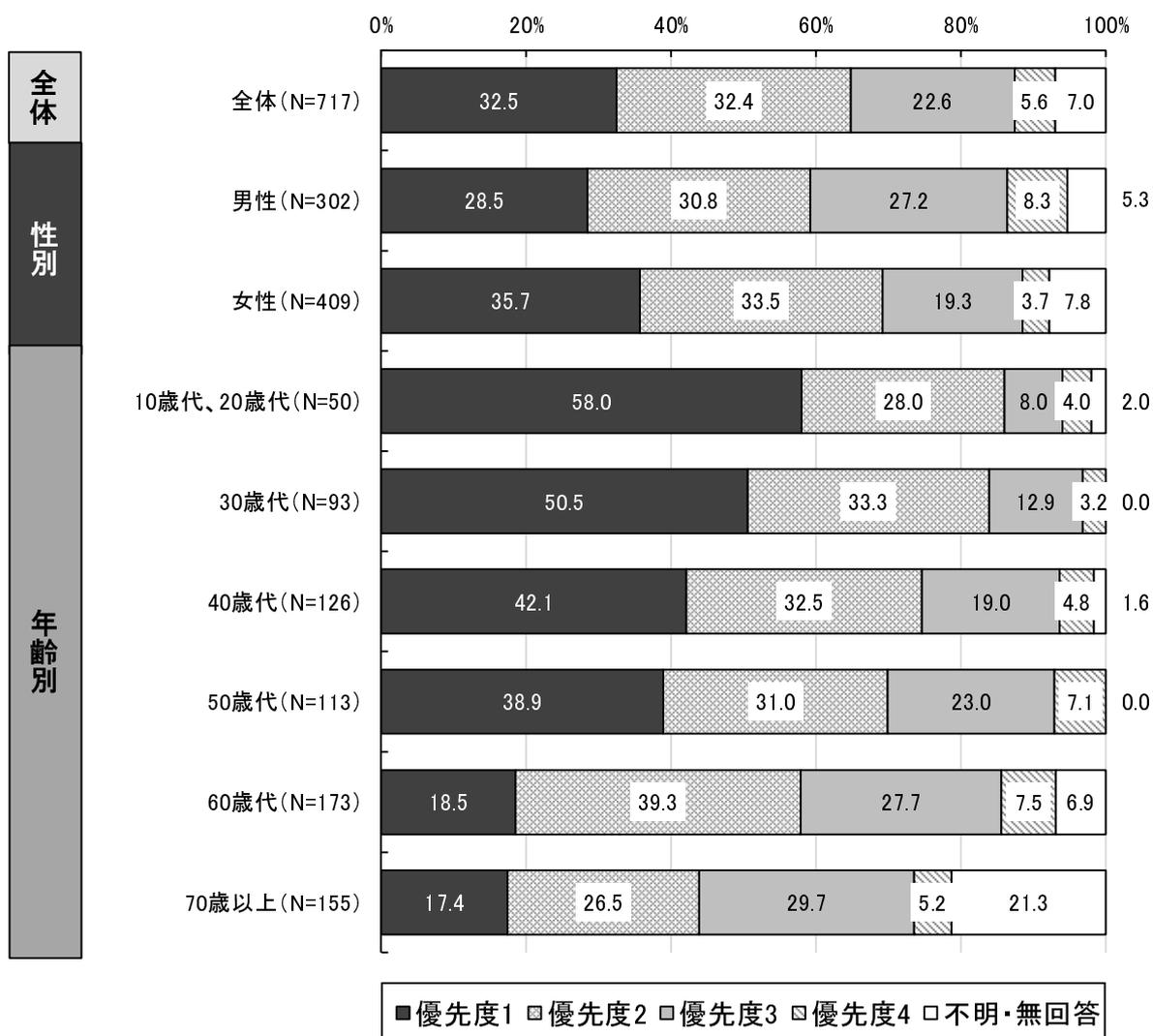
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

A. 現在の状況 ③ 地域活動

全体の結果を見ると、「優先度 1」の割合が 32.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「優先度 2」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「優先度 1」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、10 歳代、20 歳代から 50 歳代の年代において「優先度 1」の割合が最も高くなっています。



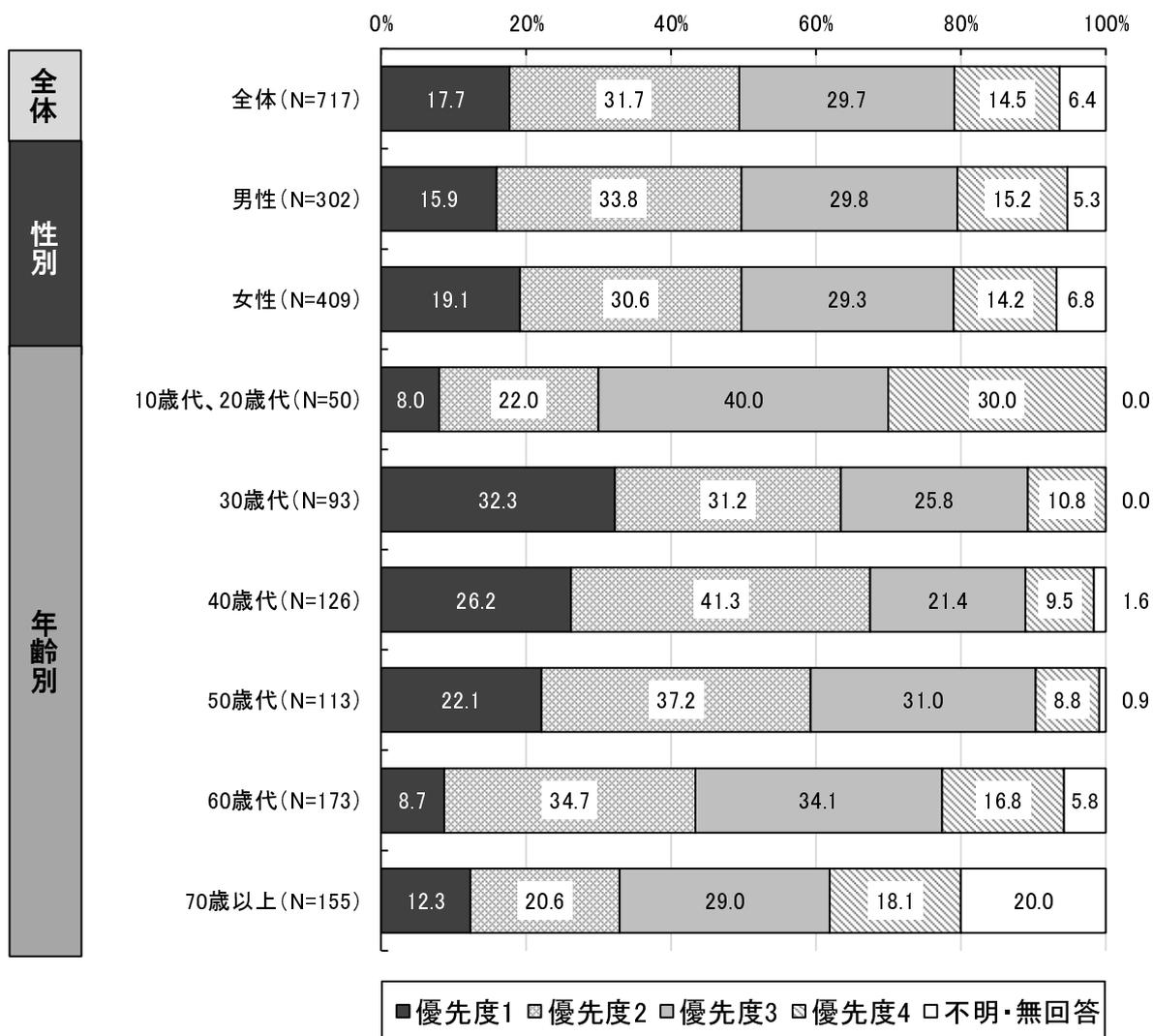
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

A. 現在の状況 ④ 個人の時間

全体の結果を見ると、「優先度 2」の割合が 31.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「優先度 2」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、年齢が上がるにつれ「優先度 1」の割合が低くなっています。



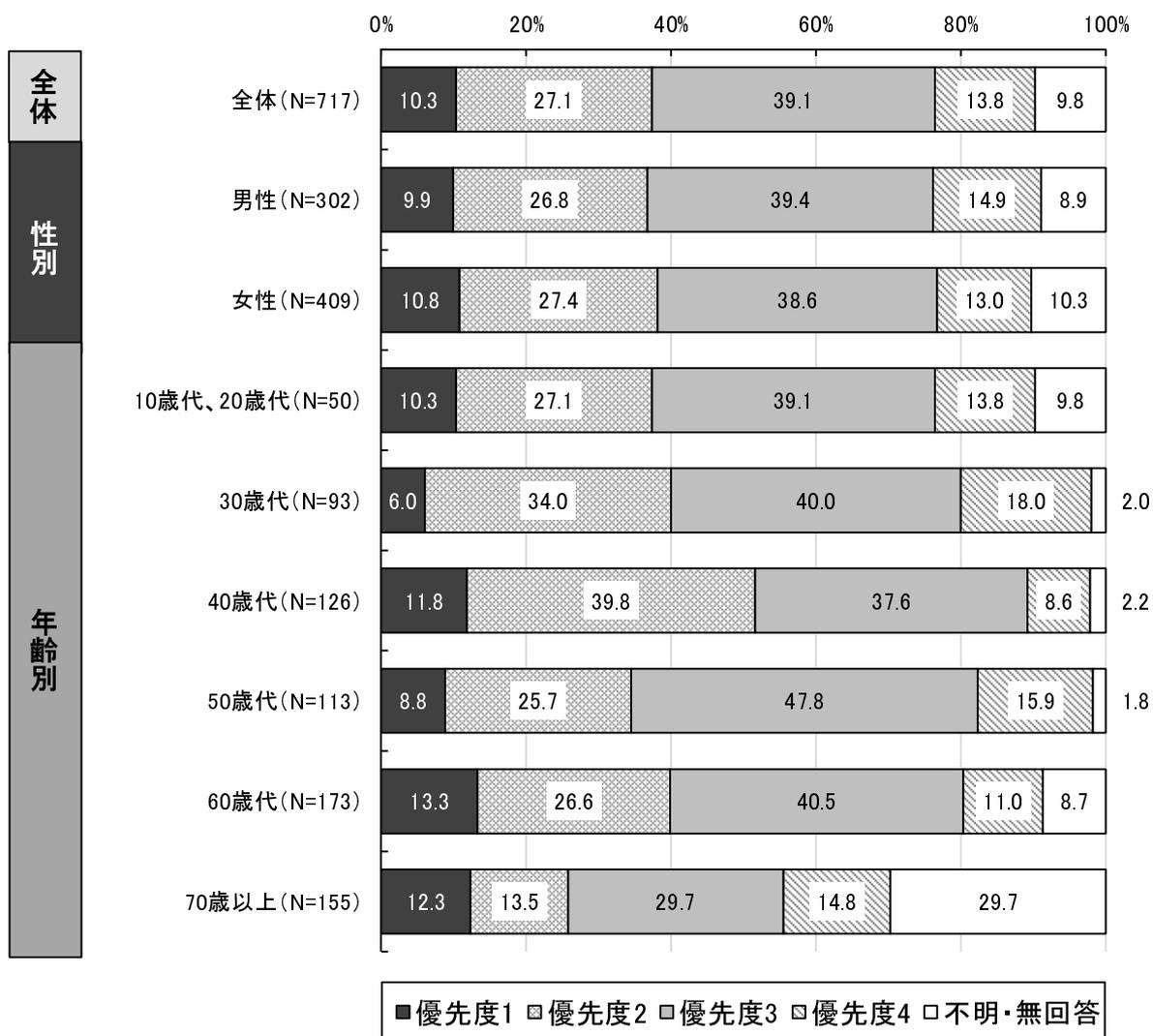
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

**B. 理想の優先度 ① 仕事**

全体の結果を見ると、「優先度 3」の割合が 39.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「優先度 3」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、40 歳代を除いた年代において「優先度 3」の割合が最も高くなっています。



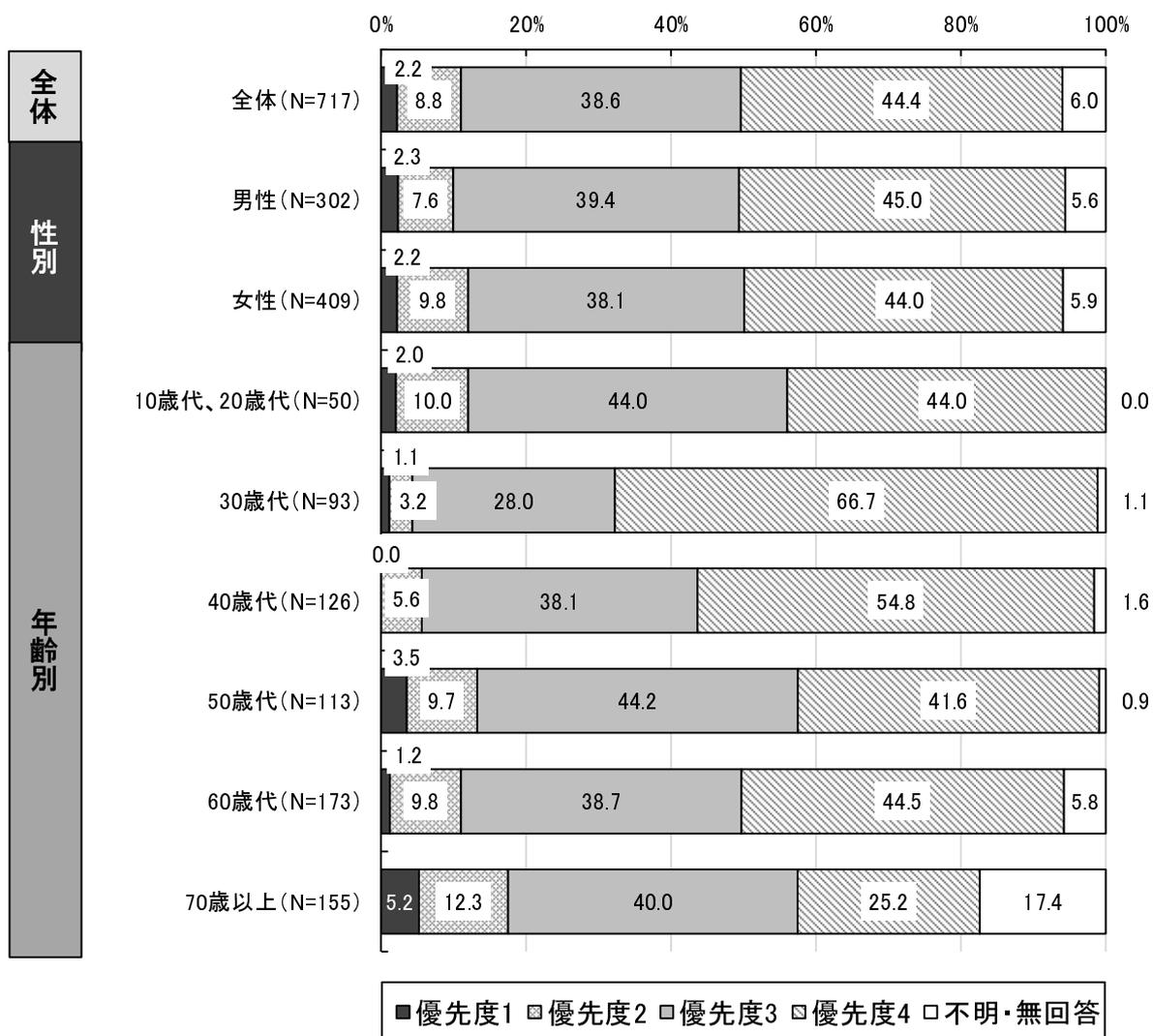
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

**B. 理想の優先度 ② 家庭生活**

全体の結果を見ると、「優先度 4」の割合が 44.4%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「優先度 4」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、10 歳代、20 歳代と 30 歳代、40 歳代、60 歳代の年代において「優先度 4」の割合が最も高くなっています。



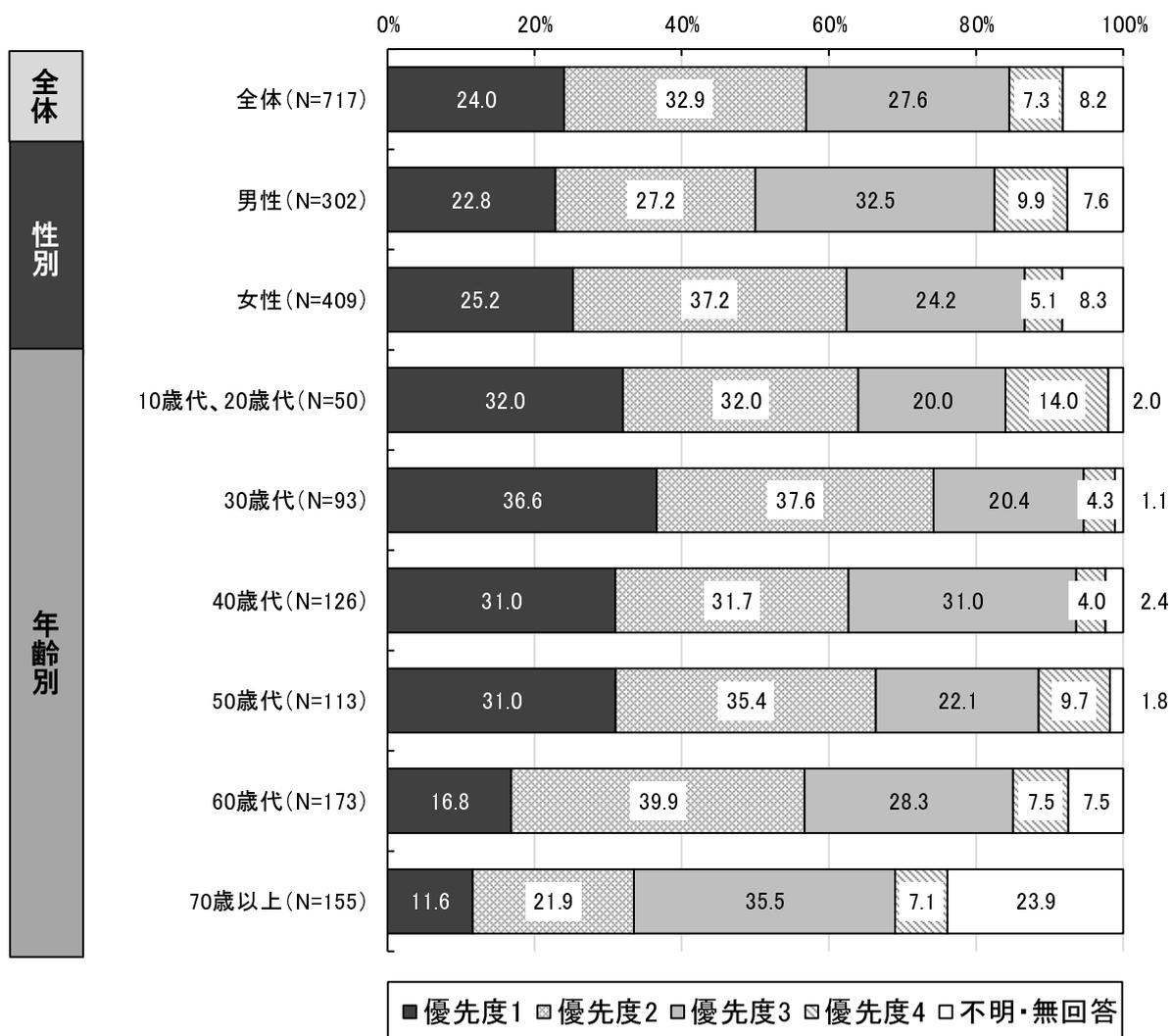
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

**B. 理想の優先度 ③ 地域活動**

全体の結果を見ると、「優先度 2」の割合が 32.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「優先度 3」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「優先度 2」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、70 歳以上を除いた年代において「優先度 2」の割合が最も高くなっています。



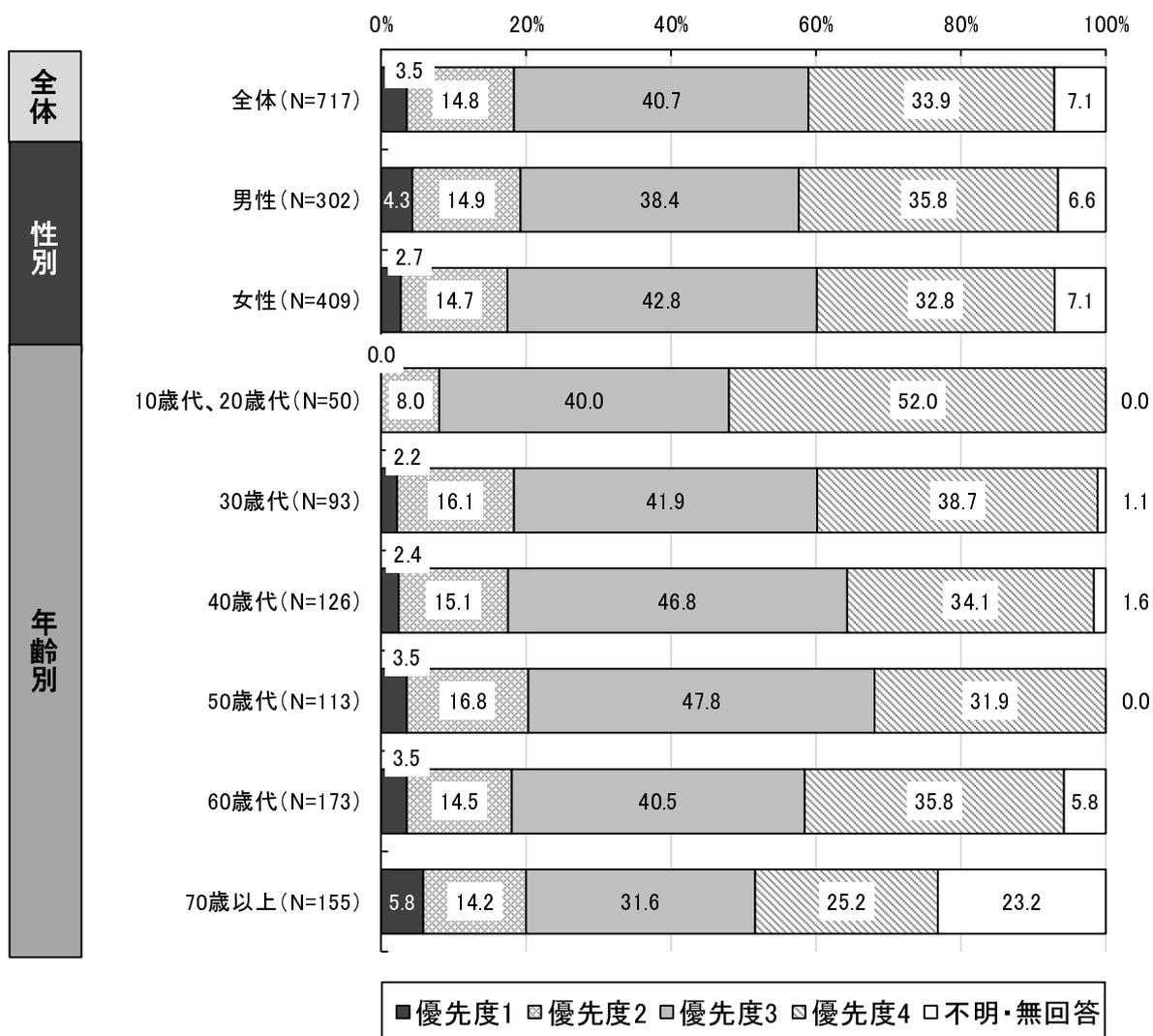
問 12 あなたの生活の中での「①仕事」、「②家庭生活」、「③地域活動」、「④個人の時間」の優先度について、「A. 現在の状況」と「B. 理想の優先度」をそれぞれお答えください。

**B. 理想優先度 ④ 個人の時間**

全体の結果を見ると、「優先度 3」の割合が 40.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「優先度 3」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、10 歳代、20 歳代を除いた年代において「優先度 3」の割合が最も高くなっています。



## 5. 家庭生活について

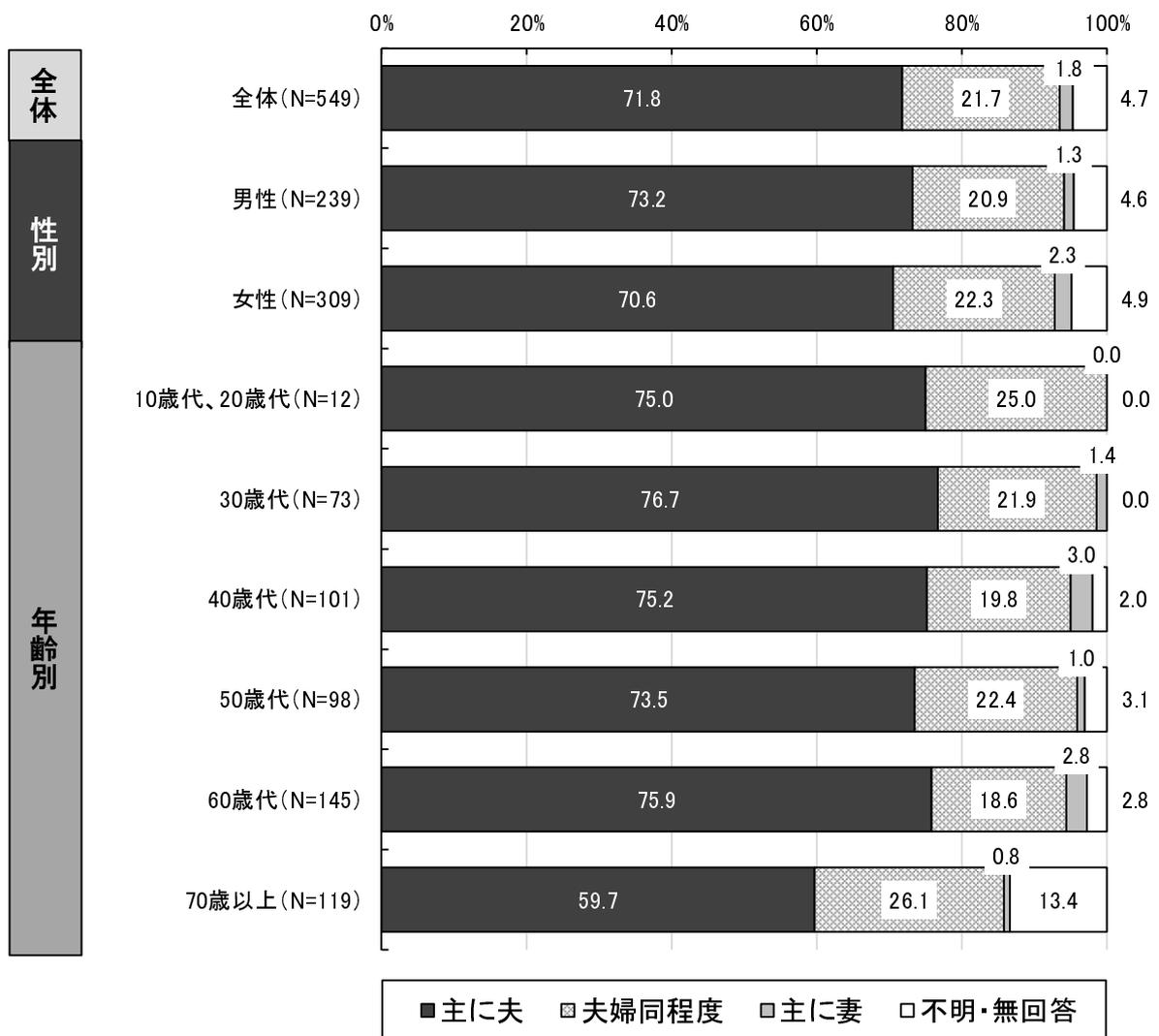
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

### A. 現在の状況 ① 収入を得る

全体の結果を見ると、「主に夫」の割合が71.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「主に夫」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「主に夫」の割合が最も高くなっています。



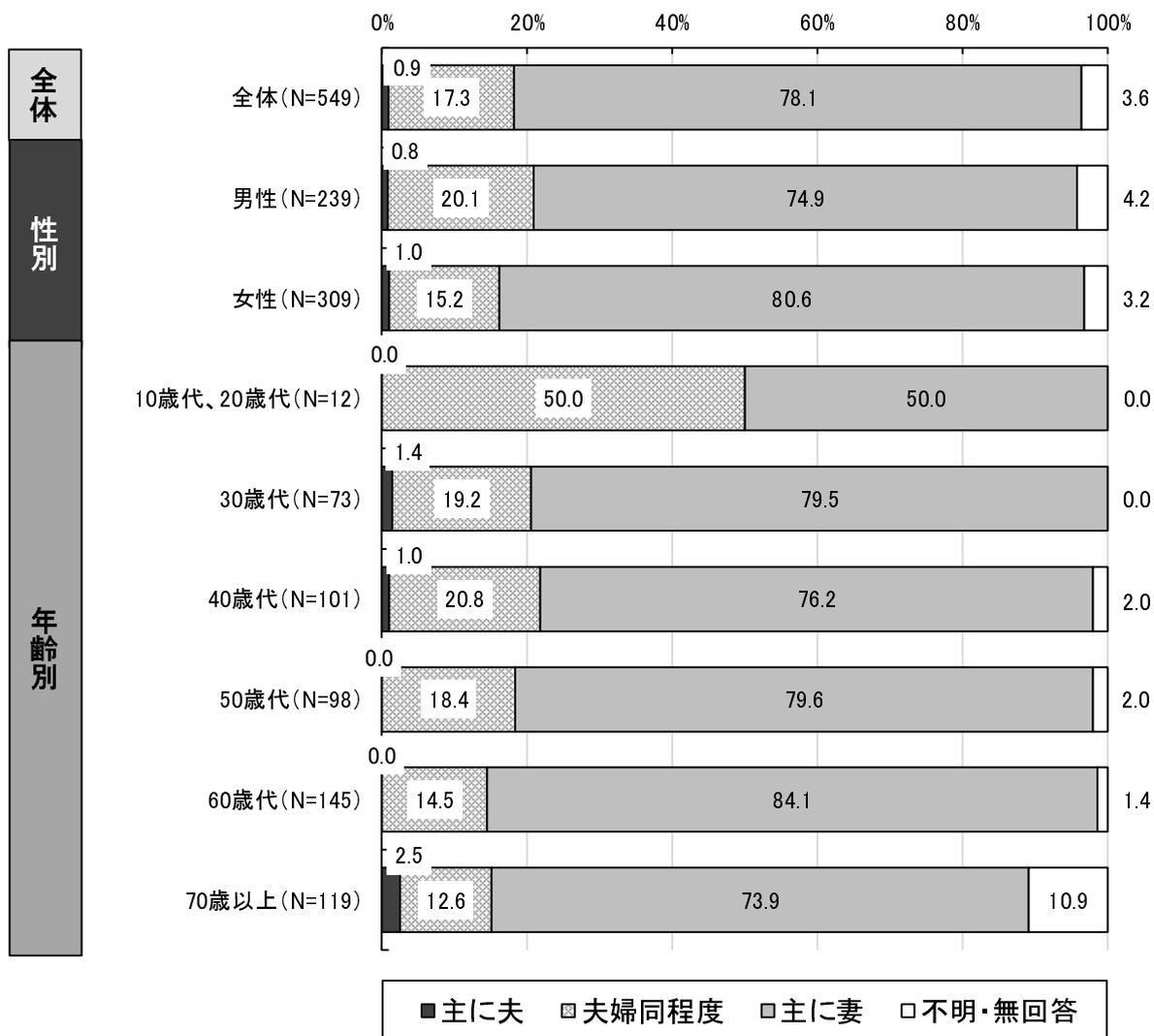
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ② 家事をする(炊事・洗濯・掃除など)

全体の結果を見ると、「主に妻」の割合が78.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「主に妻」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「主に妻」の割合が最も高くなっています。



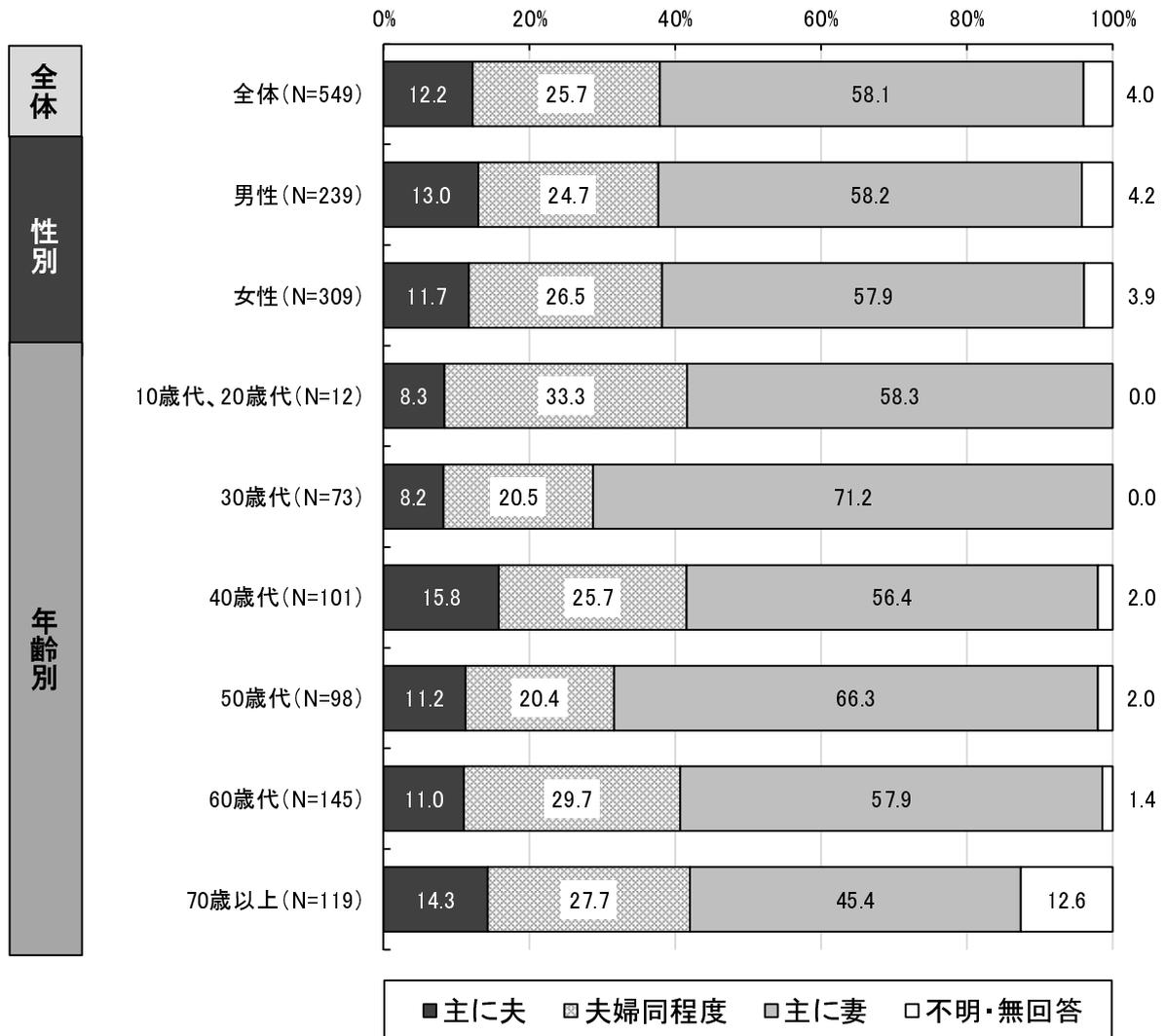
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次あげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ③ 家計の管理

全体の結果を見ると、「主に妻」の割合が58.1%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「主に妻」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「主に妻」の割合が最も高くなっています。



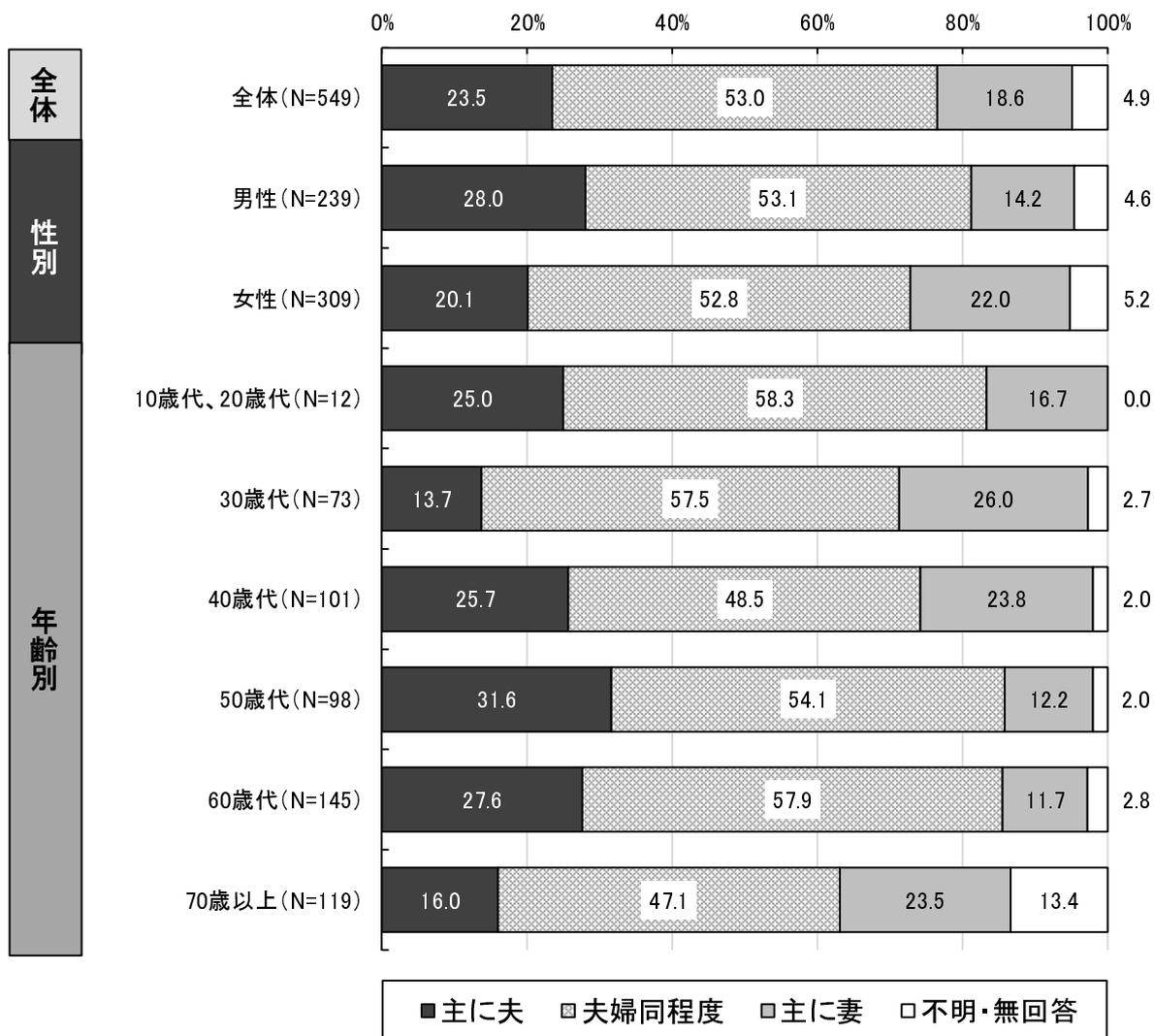
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次あげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ④ 近所付き合い、地域の行事参加

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が53.0%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



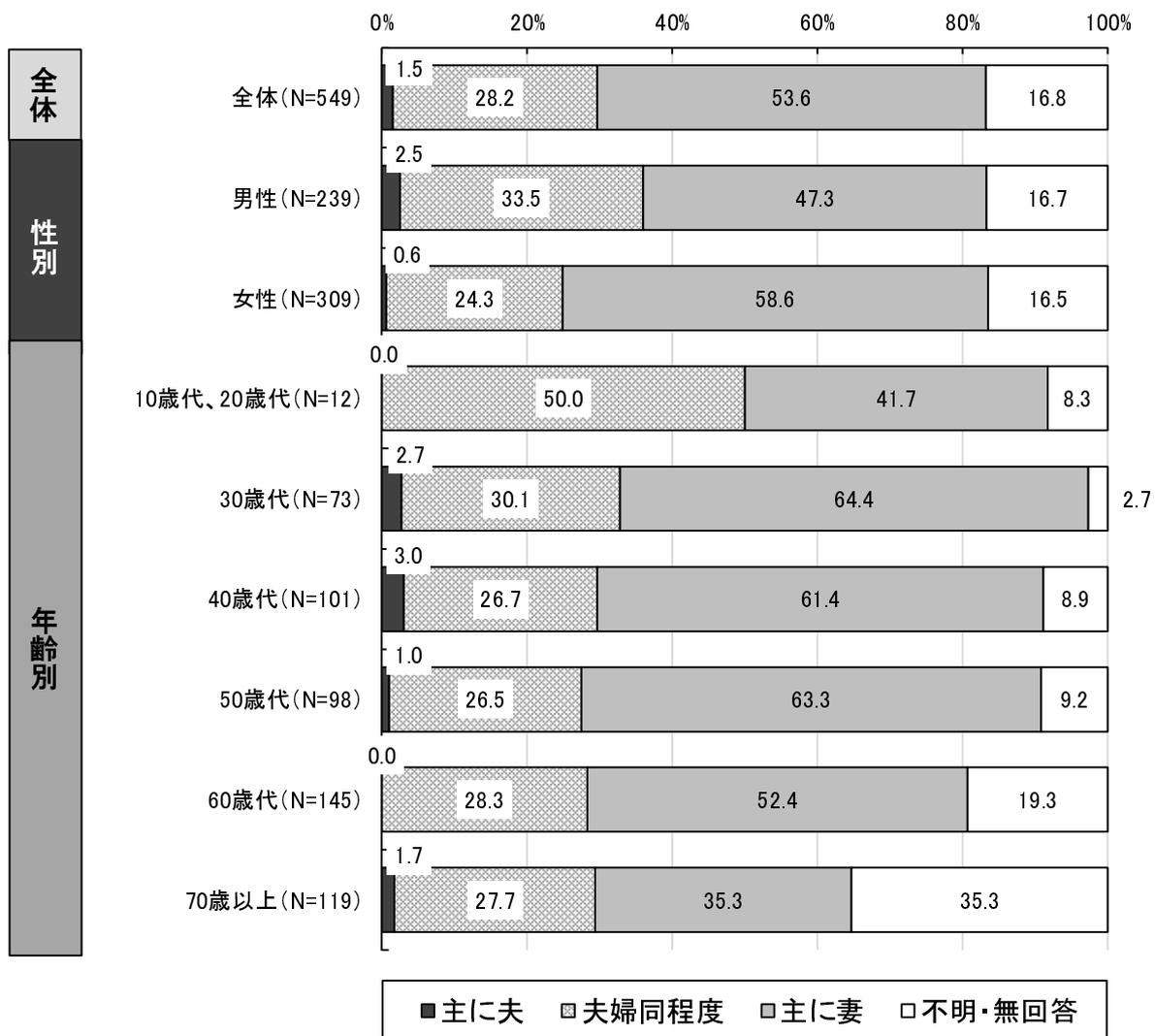
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ⑤ 子どもの世話

全体の結果を見ると、「主に妻」の割合が53.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「主に妻」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「主に妻」の割合が最も高くなっています。



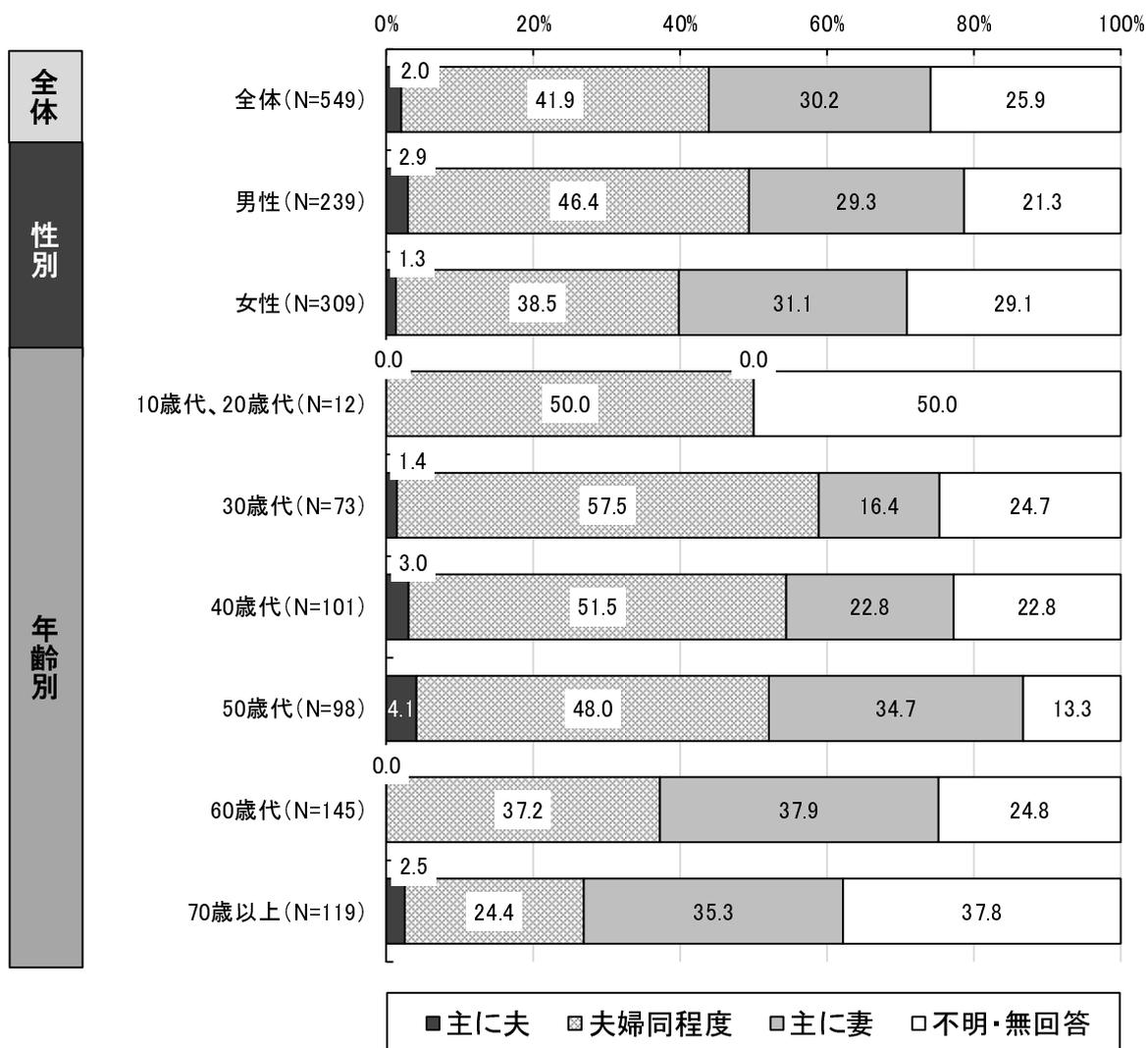
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ⑥ 高齢者の介護

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が41.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、60歳以上を除いた年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



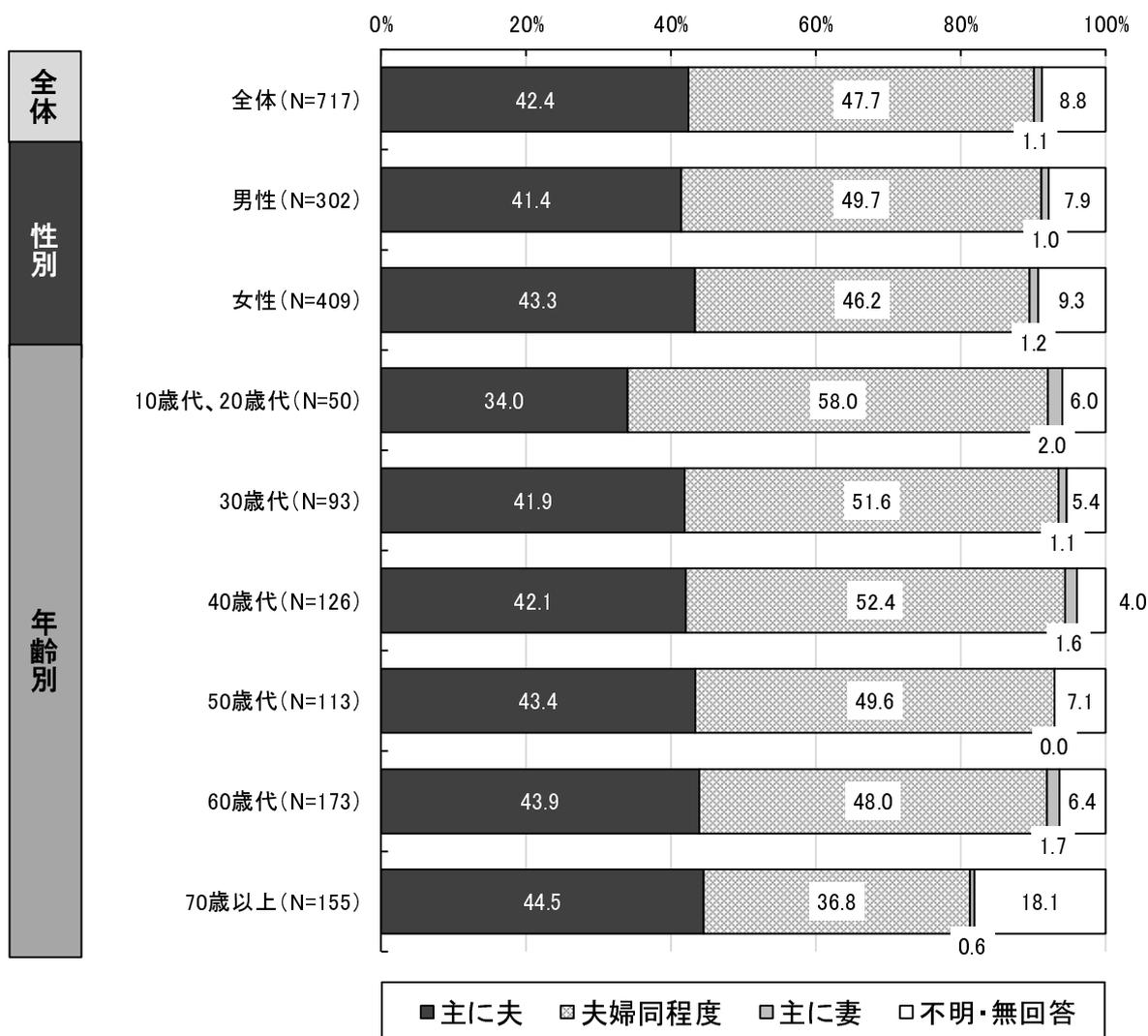
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ① 収入を得る

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が47.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、70歳以上を除いた年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



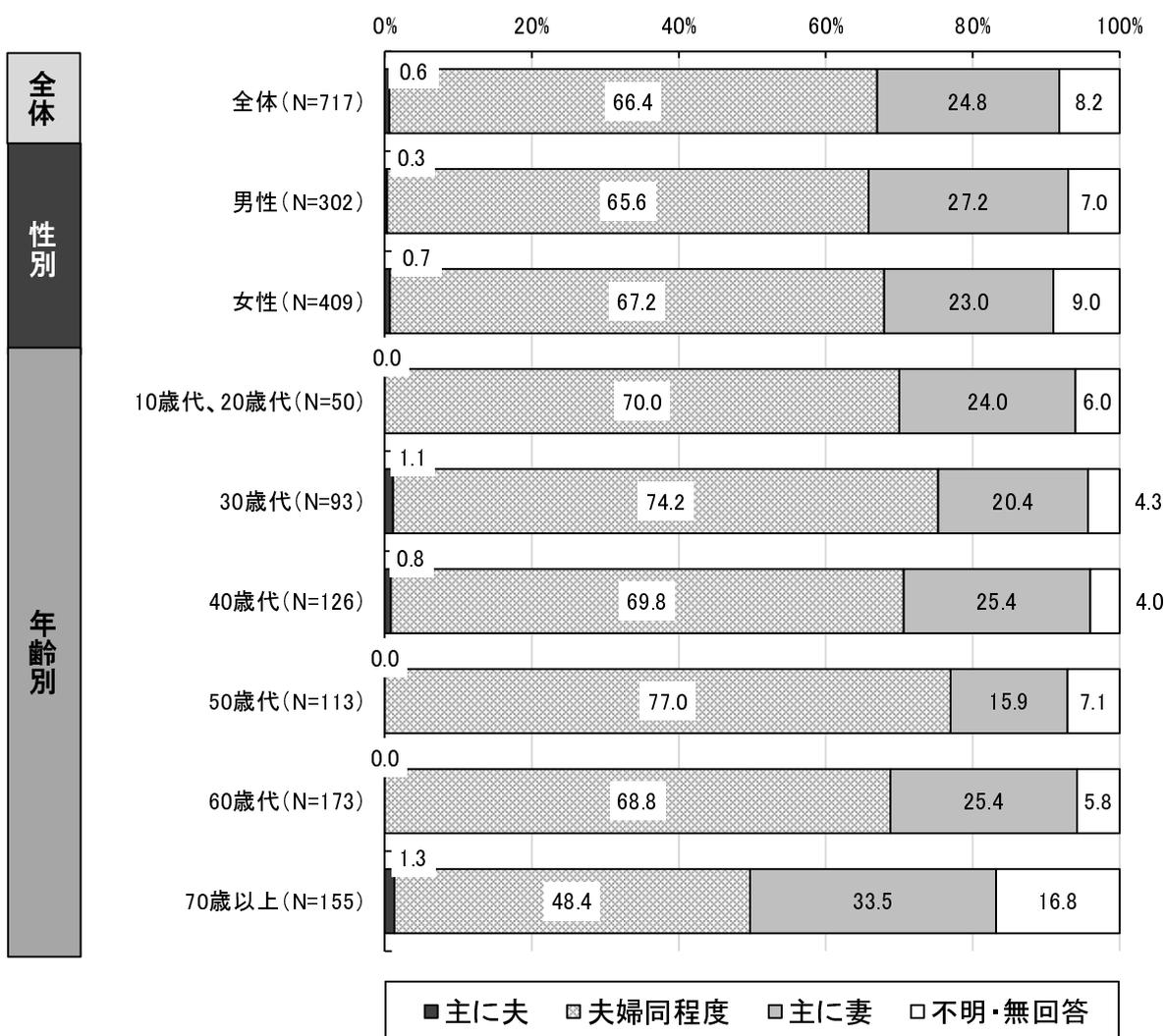
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ② 家事をする(炊事・洗濯・掃除など)

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が66.4%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



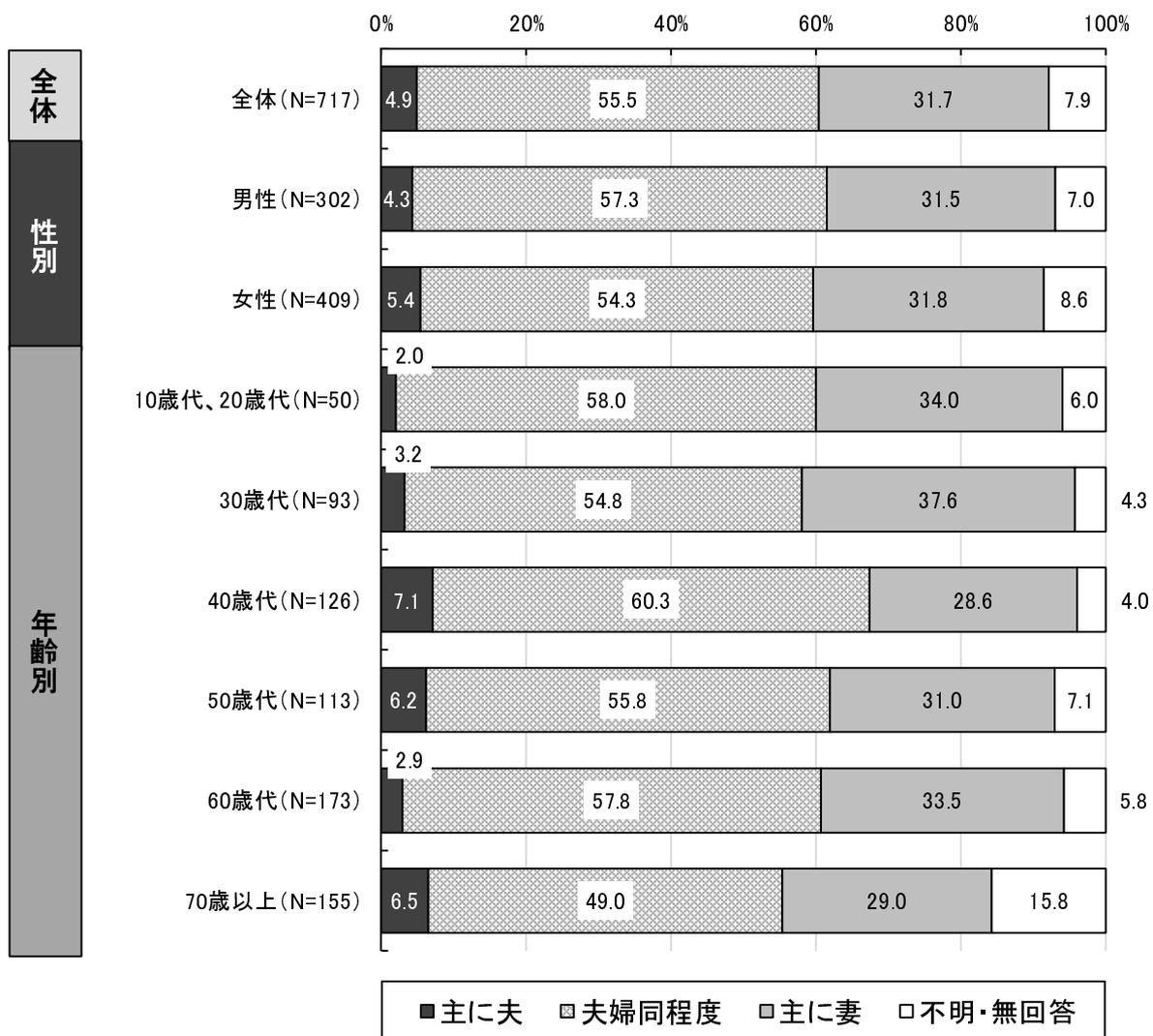
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ③ 家計の管理

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が55.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



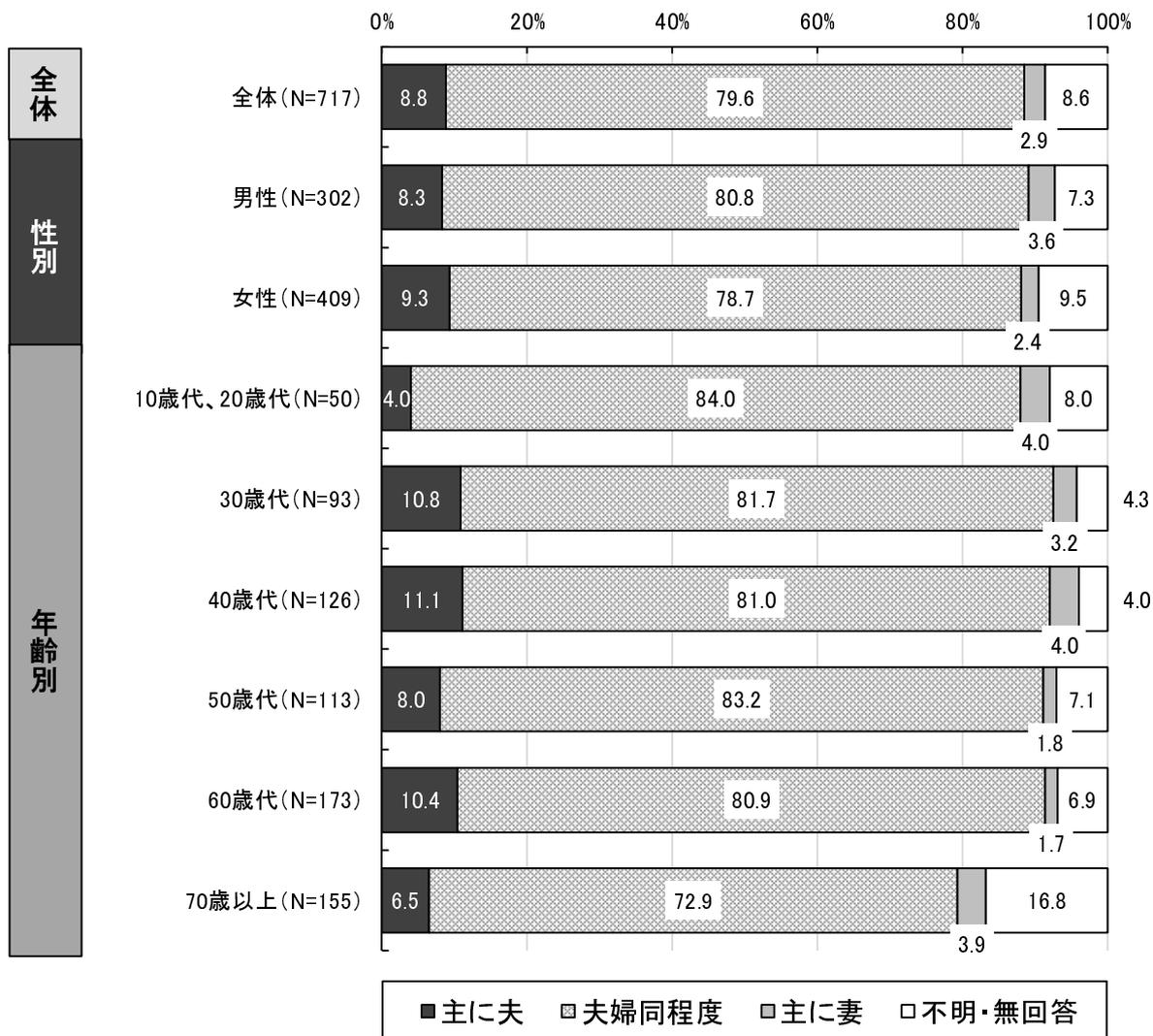
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ④ 近所付き合い、地域の行事参加

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が79.6%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



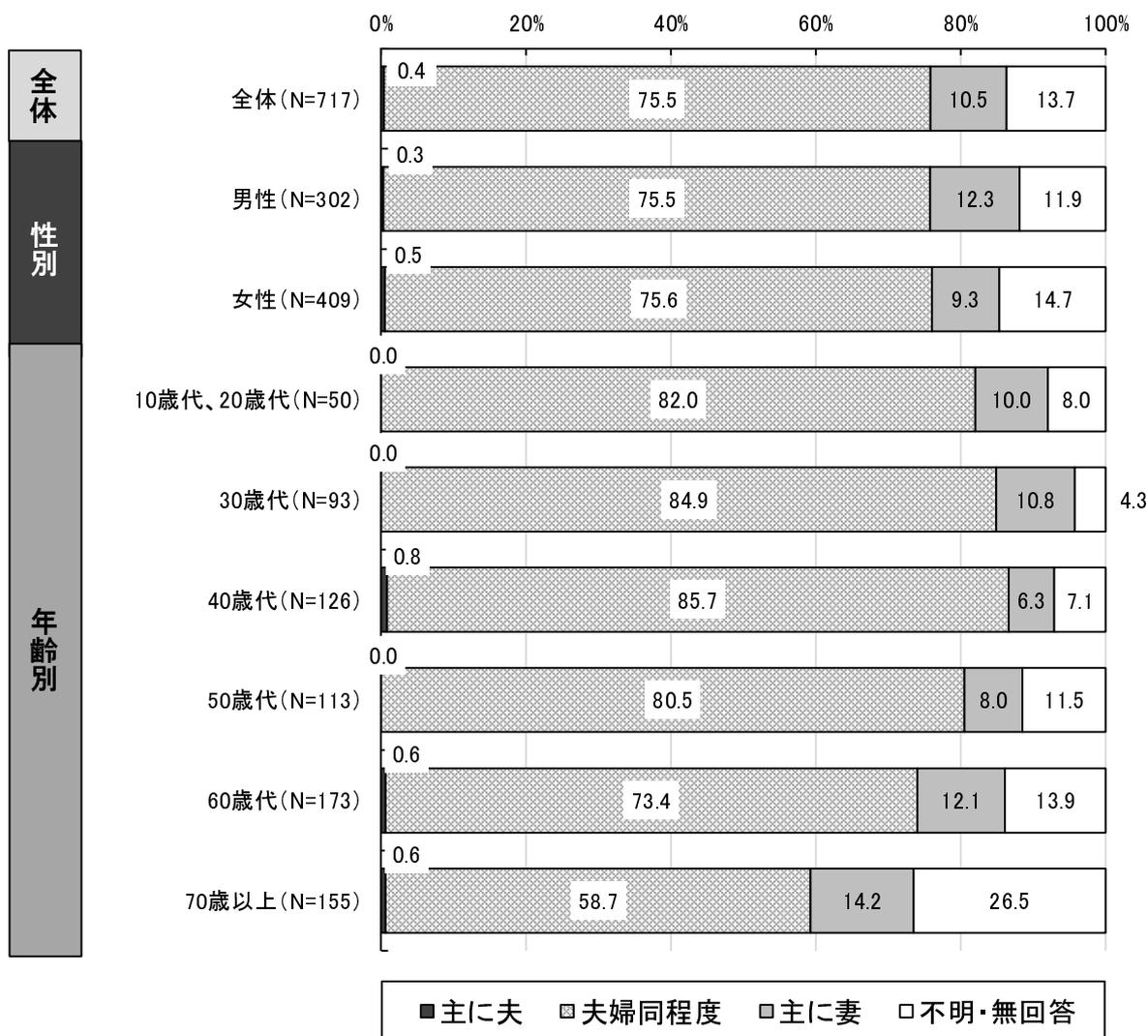
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次にあげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ⑤ 子どもの世話

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が75.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



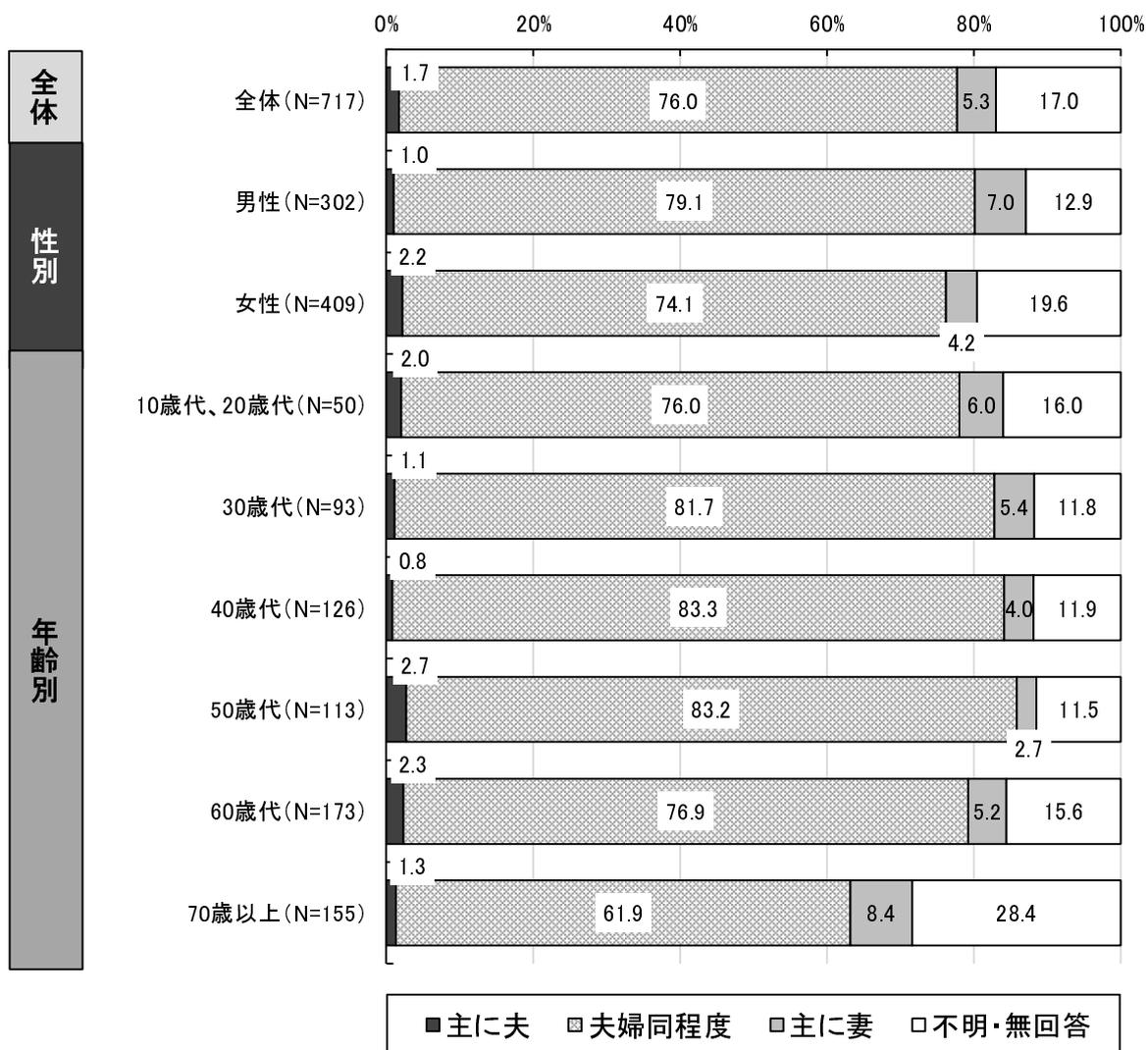
問 13 家庭での夫婦の役割分担について、次あげる①～⑥の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ⑥ 高齢者の介護

全体の結果を見ると、「夫婦同程度」の割合が76.0%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。

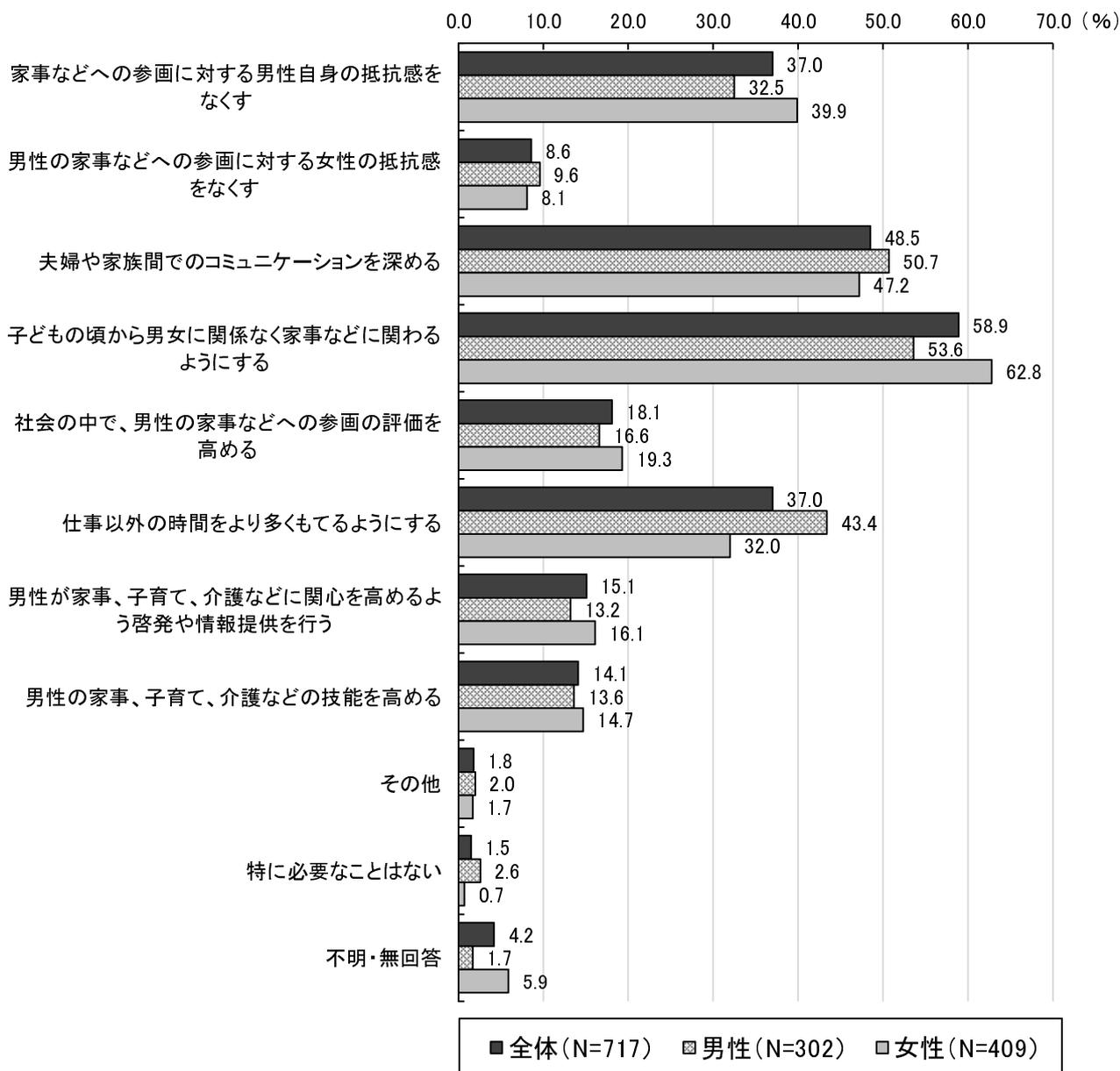
年齢別の結果を見ると、すべての年代において「夫婦同程度」の割合が最も高くなっています。



**問 14 今後、男女がともに家庭生活に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)**

全体の結果を見ると、「子どもの頃から男女に関係なく家事などに関わるようにする」の割合が58.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「子どもの頃から男女に関係なく家事などに関わるようにする」の割合が最も高くなっています。



## 問 14 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、10 歳代、20 歳代では「夫婦や家族間でのコミュニケーションを深める」の割合が 68.0%と最も高くなっています。30 歳代では「仕事以外の時間をより多くもてるようにする」の割合が 52.7%と最も高くなっています。40 歳以上では「子どもの頃から男女に関係なく家事などに関わるようにする」の割合が 60.0%前後と最も高くなっています。

単位：%

	家事などへの参画に対する男性自身の抵抗感をなくす	男性の家事などへの参画に対する女性の抵抗感をなくす	夫婦や家族間でのコミュニケーションを深める	子どもの頃から男女に関係なく家事などに関わるようにする	社会の中で、男性の家事などへの参画の評価を高める	仕事以外の時間をより多くもてるようにする
10歳代、20歳代(N=50)	28.0	8.0	68.0	50.0	18.0	44.0
30歳代(N=93)	22.6	9.7	48.4	55.9	24.7	52.7
40歳代(N=126)	28.6	7.1	42.9	58.7	26.2	44.4
50歳代(N=113)	41.6	8.8	40.7	65.5	20.4	31.0
60歳代(N=173)	39.9	8.7	50.9	61.8	14.5	35.8
70歳以上(N=155)	48.4	9.7	51.0	55.5	10.3	24.5
	男性が家事、子育て、介護などに関心が高めるよう啓発や情報提供を行う	男性の家事、子育て、介護などの技能を高める	その他	特に必要なことはない	不明・無回答	
10歳代、20歳代(N=50)	14.0	16.0	2.0	2.0	2.0	
30歳代(N=93)	12.9	14.0	3.2	0.0	1.1	
40歳代(N=126)	10.3	17.5	2.4	1.6	0.8	
50歳代(N=113)	17.7	15.9	1.8	1.8	1.8	
60歳代(N=173)	13.9	11.6	1.2	1.7	4.6	
70歳以上(N=155)	19.4	12.9	1.3	1.9	9.7	

## 6. 地域活動について

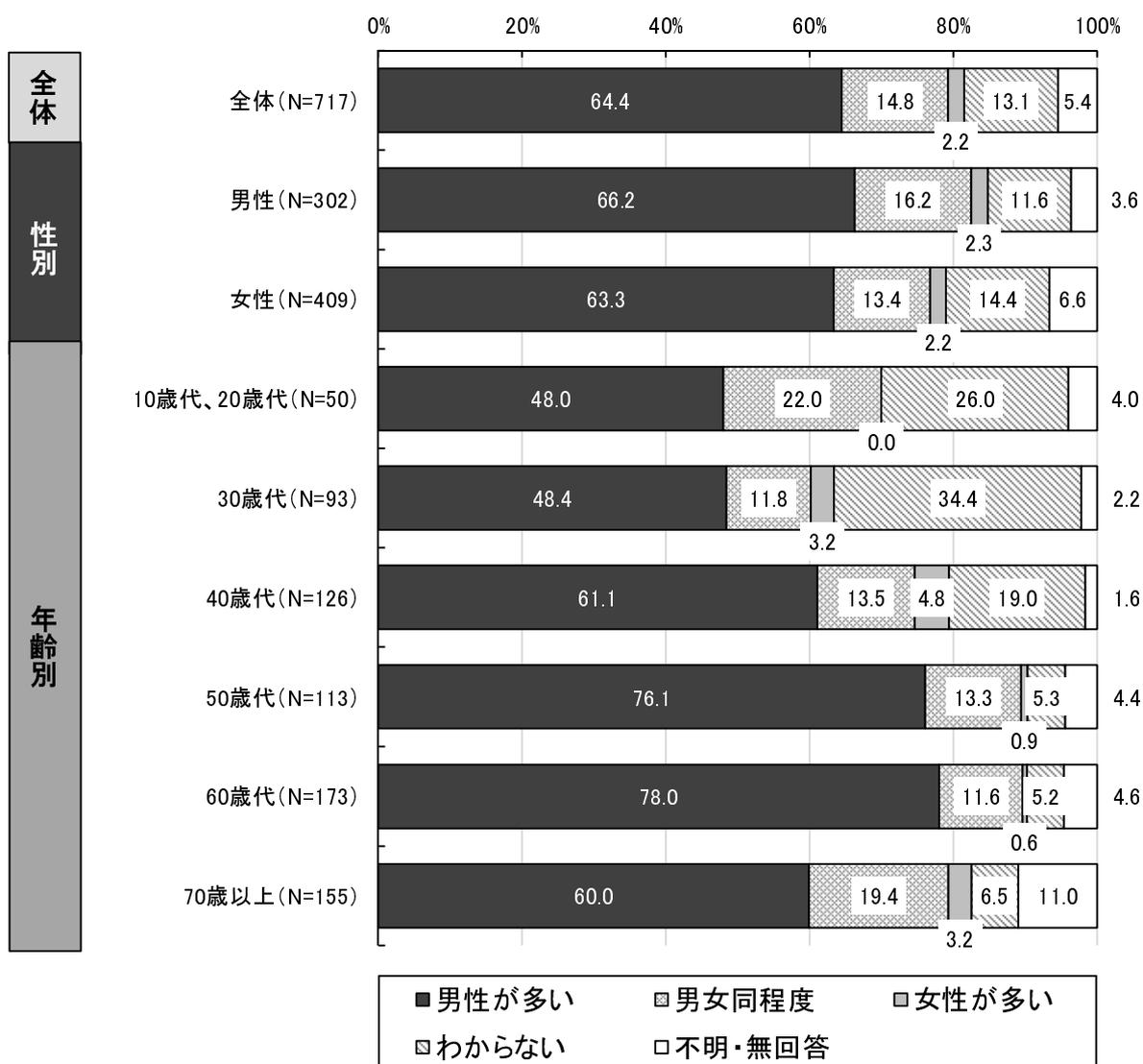
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

### A. 現在の状況 ① 方針や企画などの決定

全体の結果を見ると、「男性が多い」の割合が64.4%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男性が多い」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男性が多い」の割合が最も高くなっています。



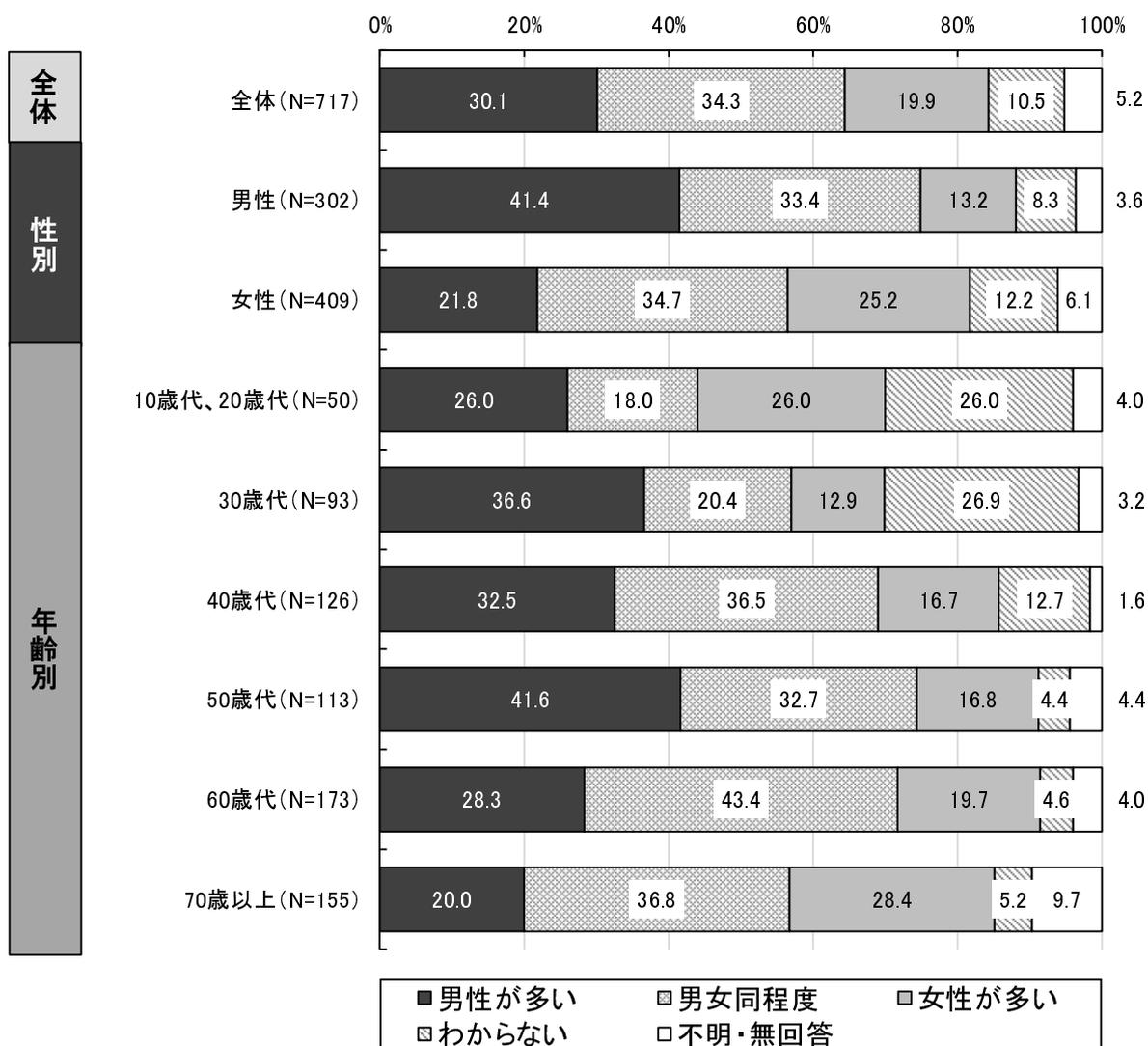
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ② 準備や片付け

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が34.3%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「男性が多い」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「男女同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、40歳代、60歳以上において「男女同程度」の割合が最も高くなっているのに対し、30歳代、50歳代において「男性が多い」の割合が最も高くなっています。



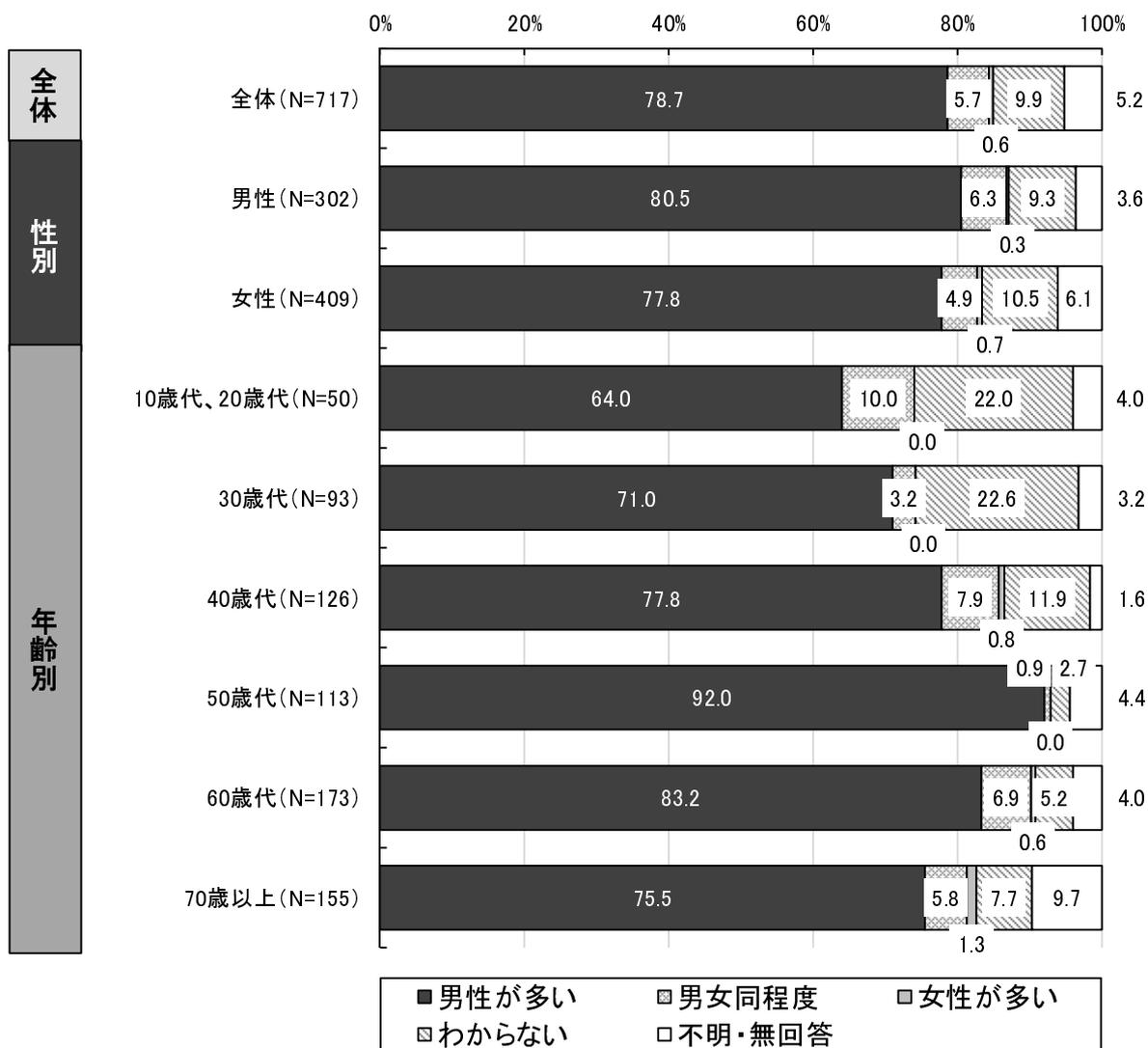
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ③ 団体の長への就任

全体の結果を見ると、「男性が多い」の割合が78.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男性が多い」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男性が多い」の割合が最も高くなっています。



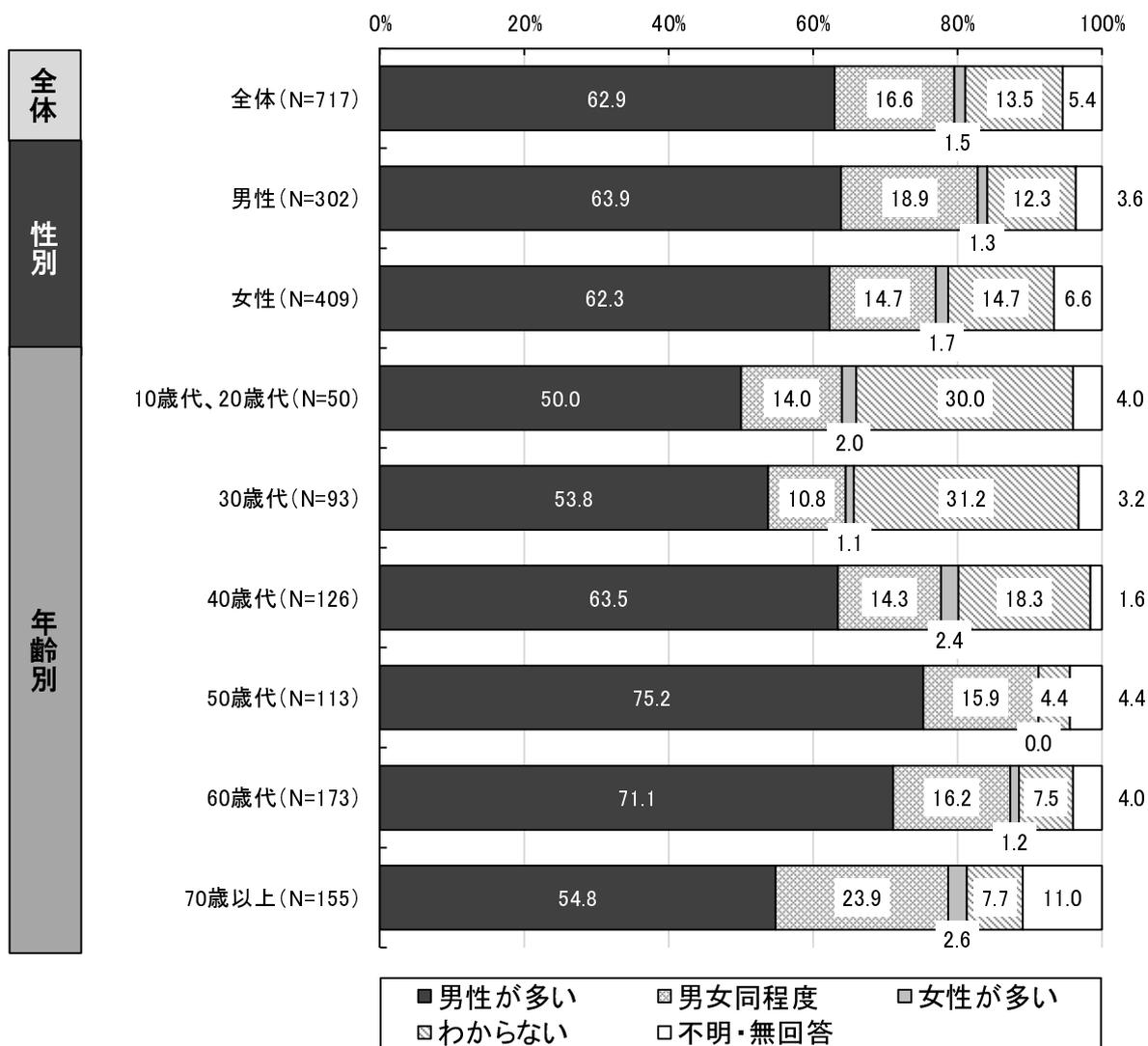
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ④ 方針決定の場での発言

全体の結果を見ると、「男性が多い」の割合が62.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男性が多い」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男性が多い」の割合が最も高くなっています。



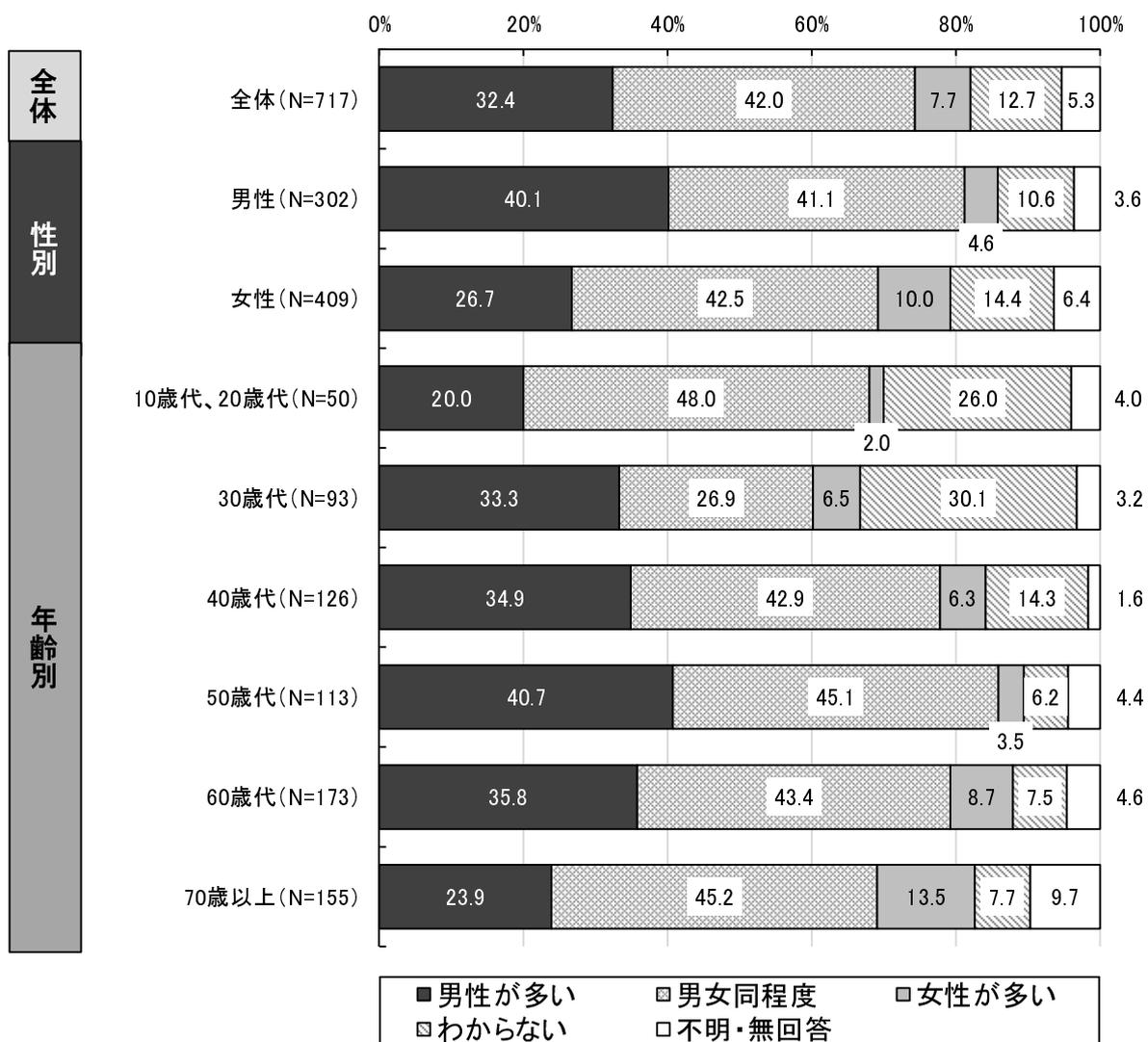
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

A. 現在の状況 ⑤ 活動への参加

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が42.0%と最も高くなっています。

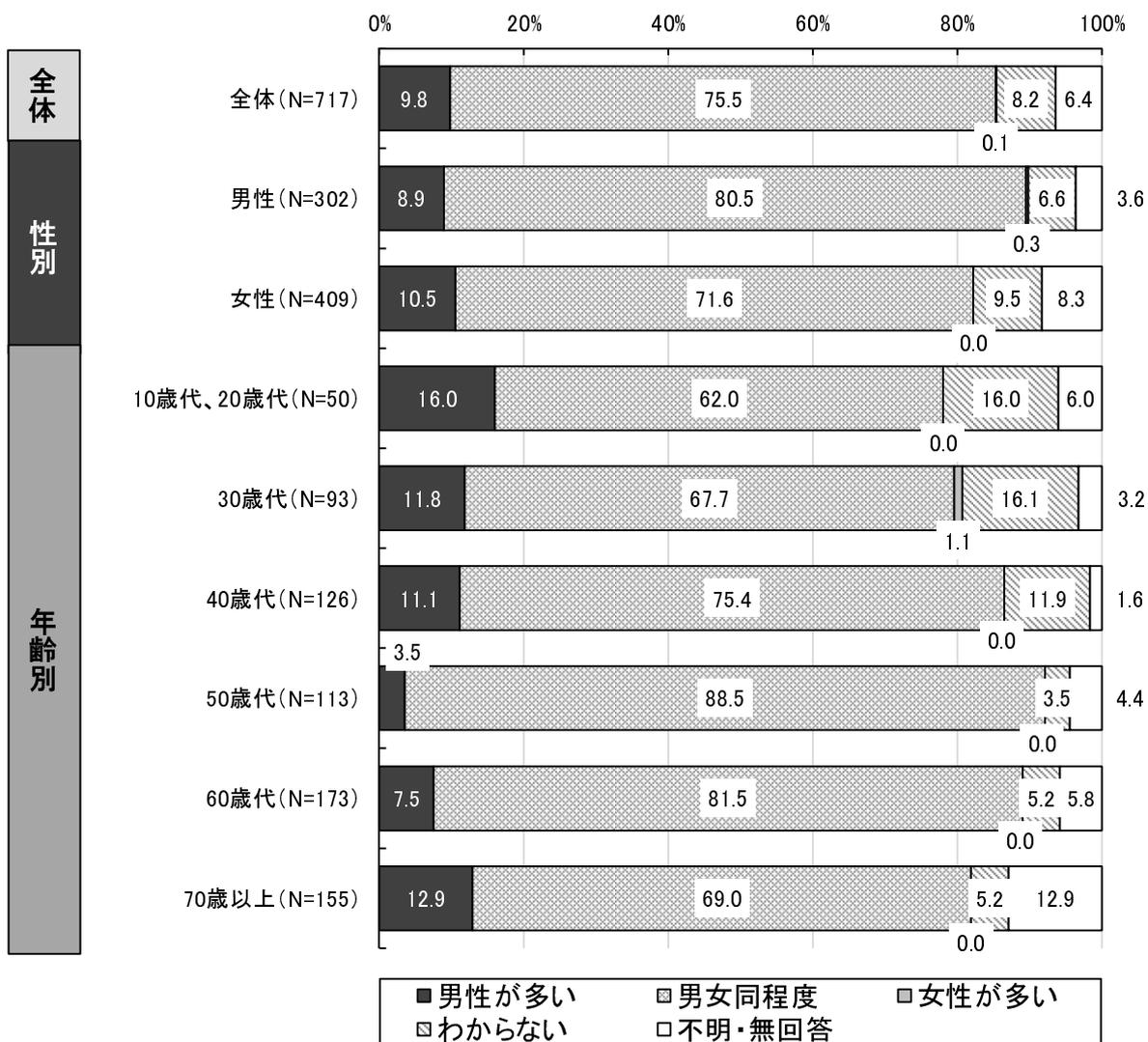
性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、30歳代を除いた年代において「男女同程度」の割合が最も高くなっています。



問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)  
**B. 理想の役割分担 ① 方針や企画などの決定**

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が75.5%と最も高くなっています。  
 性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女同程度」の割合が最も高くなっています。  
 年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男女同程度」の割合が最も高くなっています。



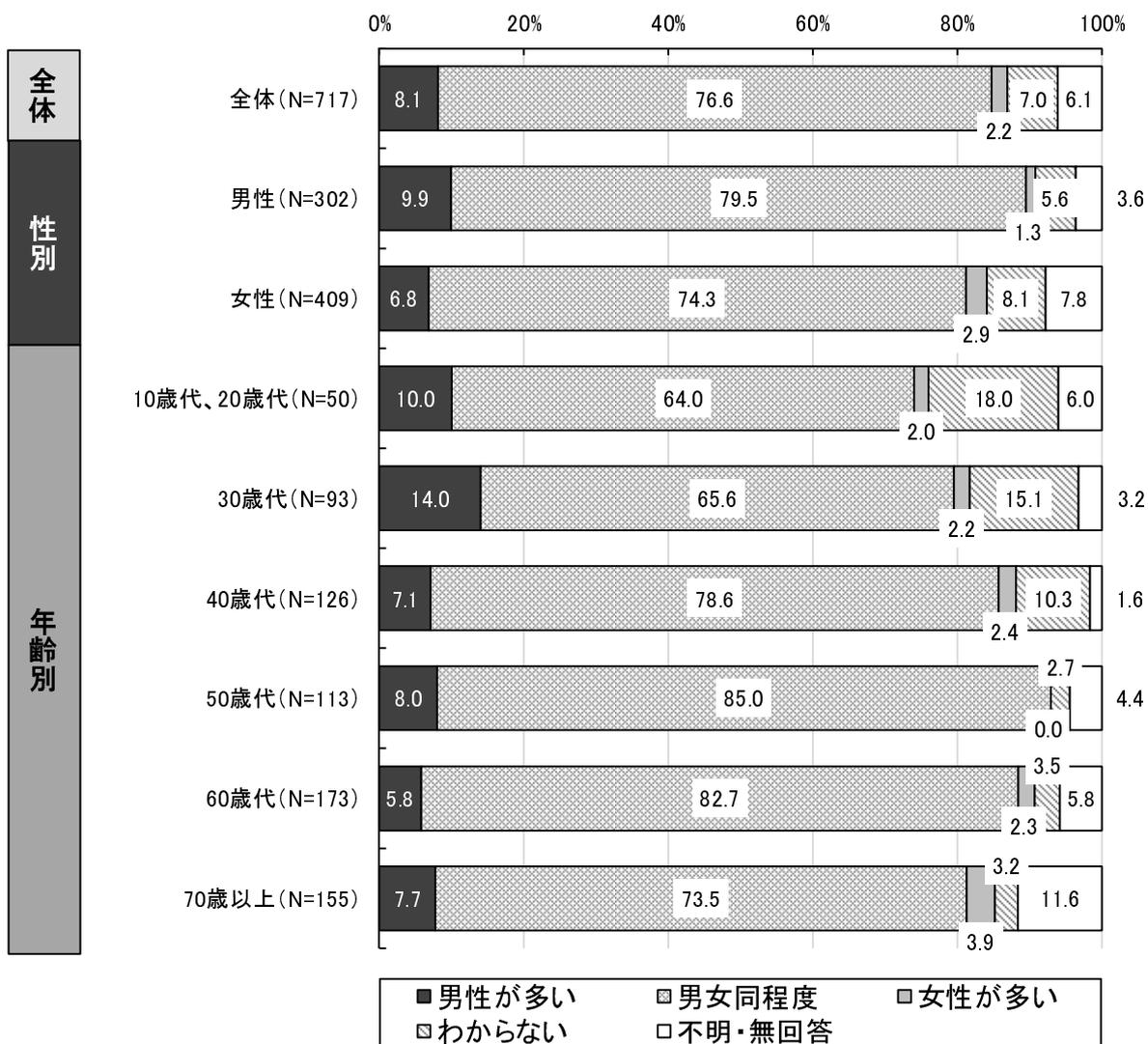
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ② 準備や片付け

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が76.6%と最も高くなっています。

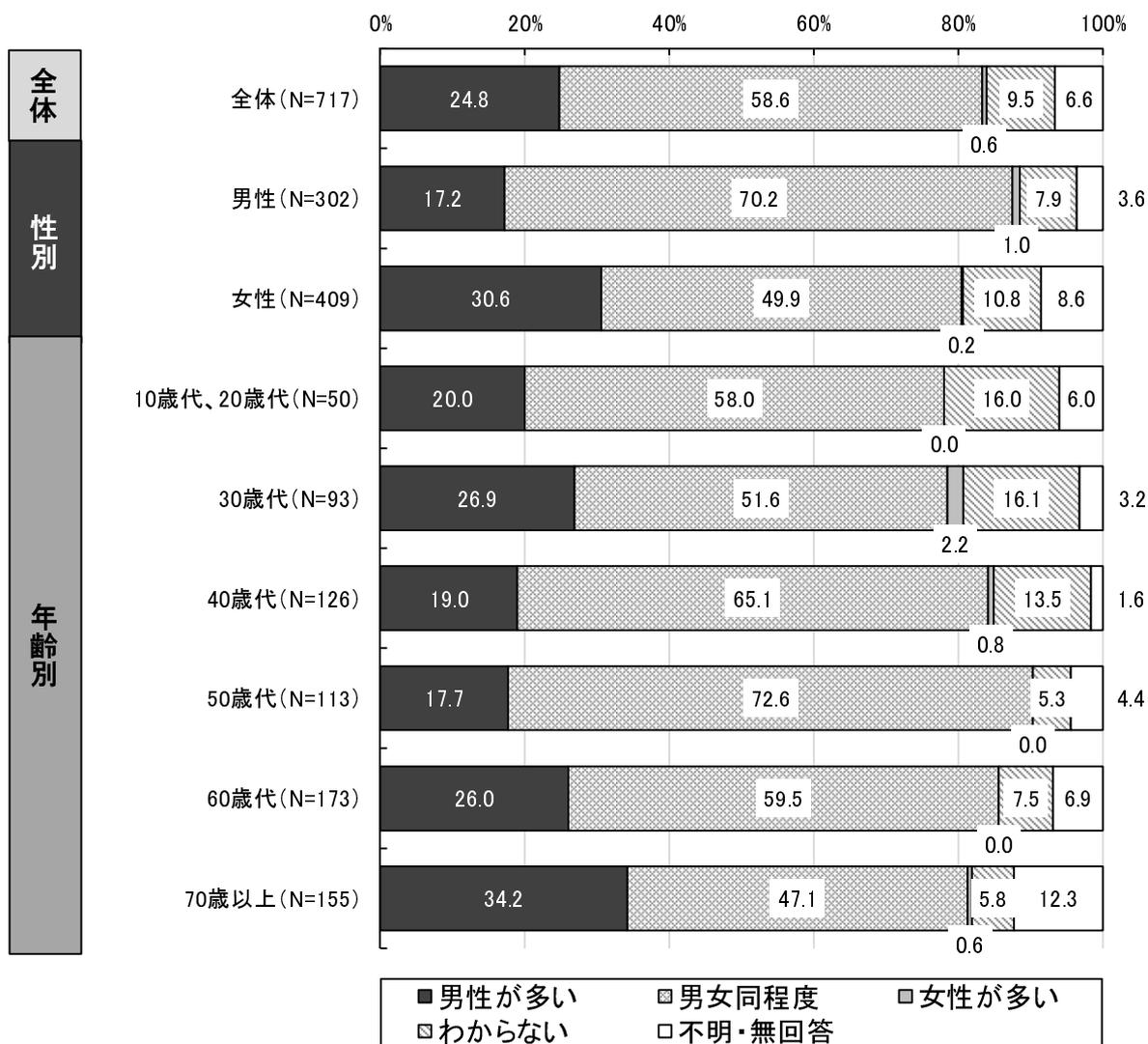
性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男女同程度」の割合が最も高くなっています。



問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)  
**B. 理想の役割分担 ③ 団体の長への就任**

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が58.6%と最も高くなっています。  
 性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女同程度」の割合が最も高くなっています。  
 年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男女同程度」の割合が最も高くなっています。



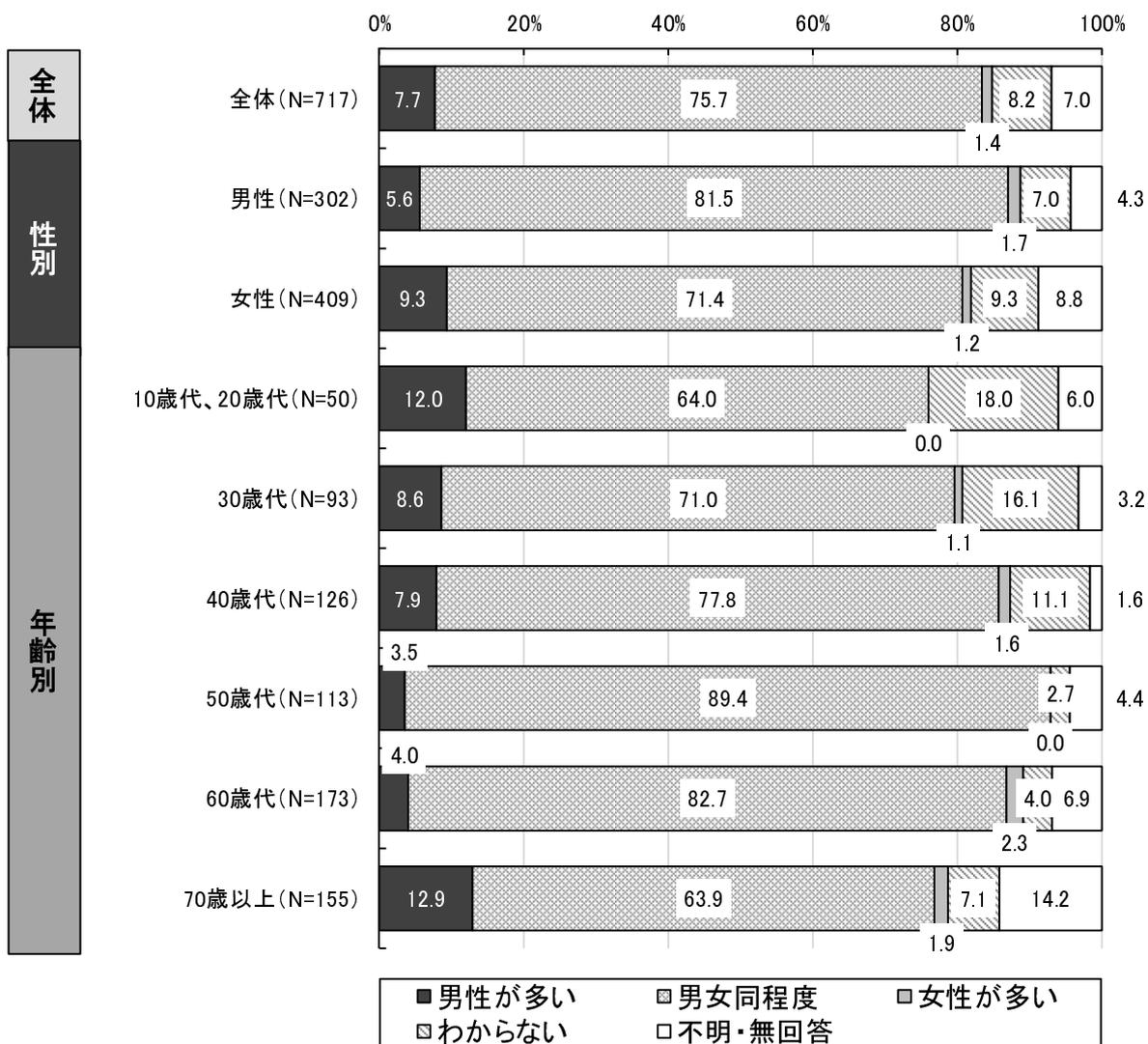
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ④ 方針決定の場での発言

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が75.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女同程度」の割合が最も高くなっています。

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男女同程度」の割合が最も高くなっています。



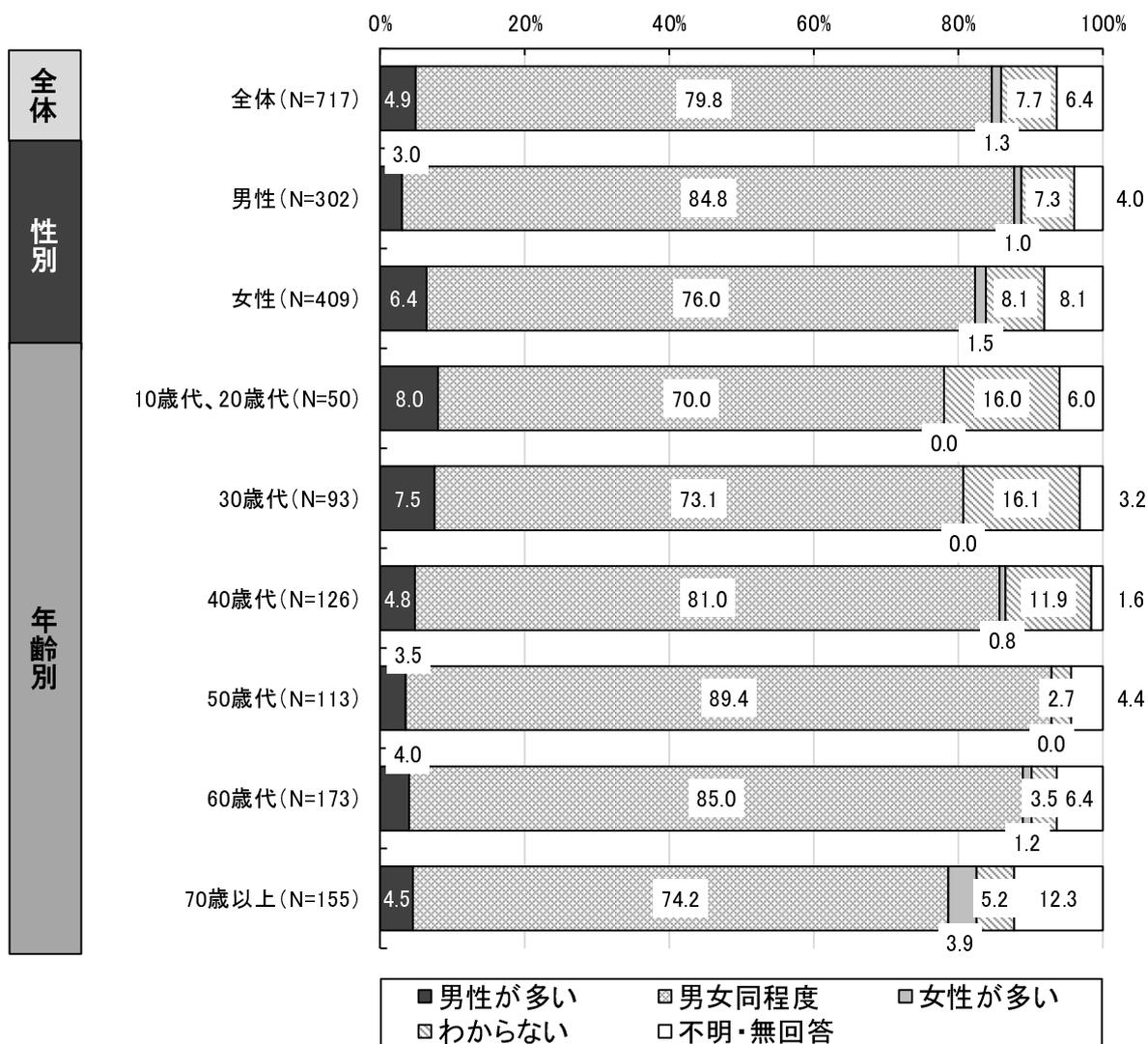
問 15 自治会やボランティアなどの地域活動の役割分担について、次にあげる①～⑤の項目の「A. 現在の状況」と「B. 理想の役割分担」をお答えください。(SA)

B. 理想の役割分担 ⑤ 活動への参加

全体の結果を見ると、「男女同程度」の割合が79.8%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女同程度」の割合が最も高くなっています。

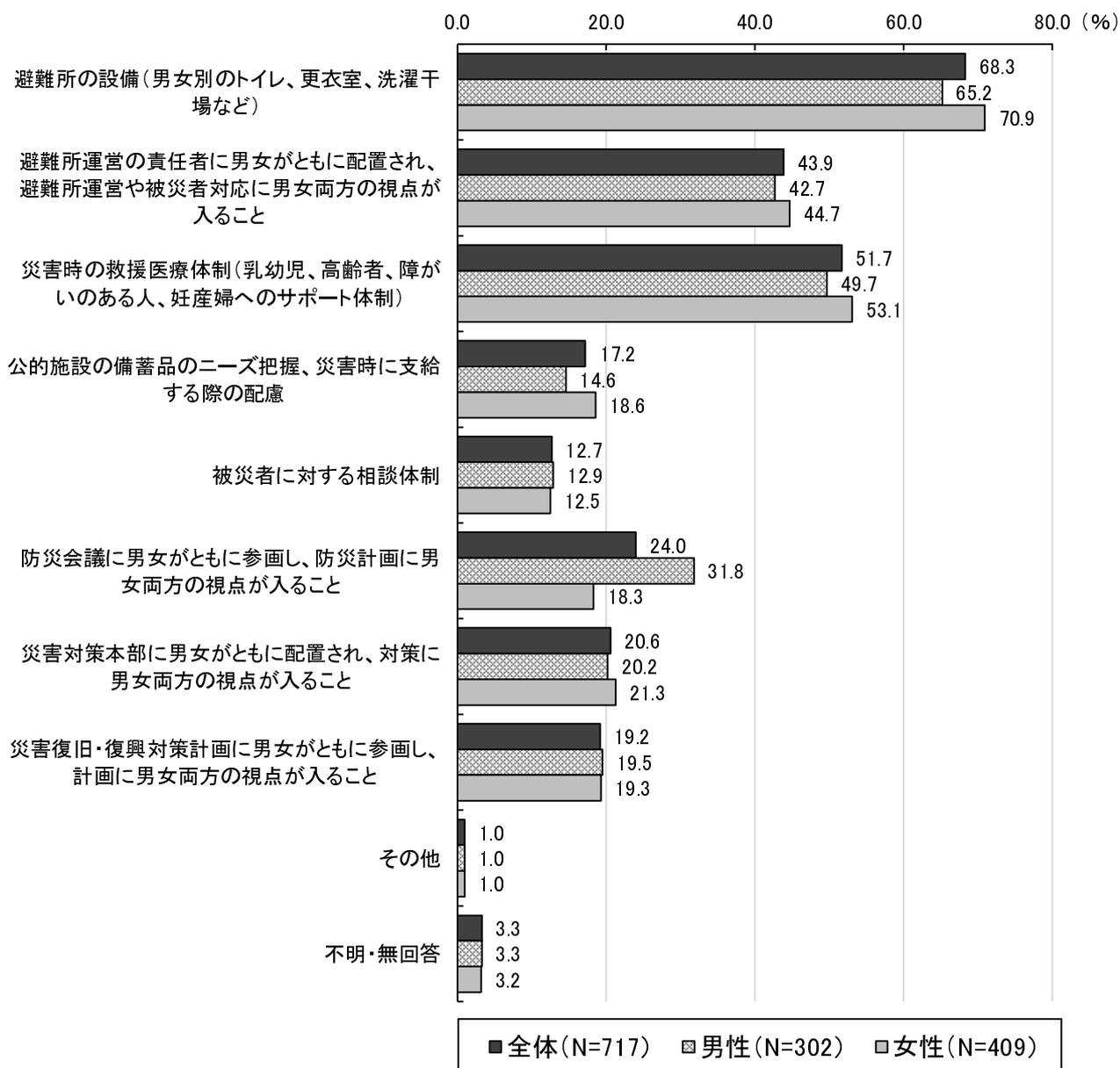
年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男女同程度」の割合が最も高くなっています。



## 問 16 防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。(MA)

全体の結果を見ると、「避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干場など）」の割合が68.3%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干場など）」の割合が最も高くなっています。



## 問 16 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干場など）」の割合が最も高くなっています。また、40歳以上において「防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること」の割合他の年代に比べて高くなっています。

単位：%

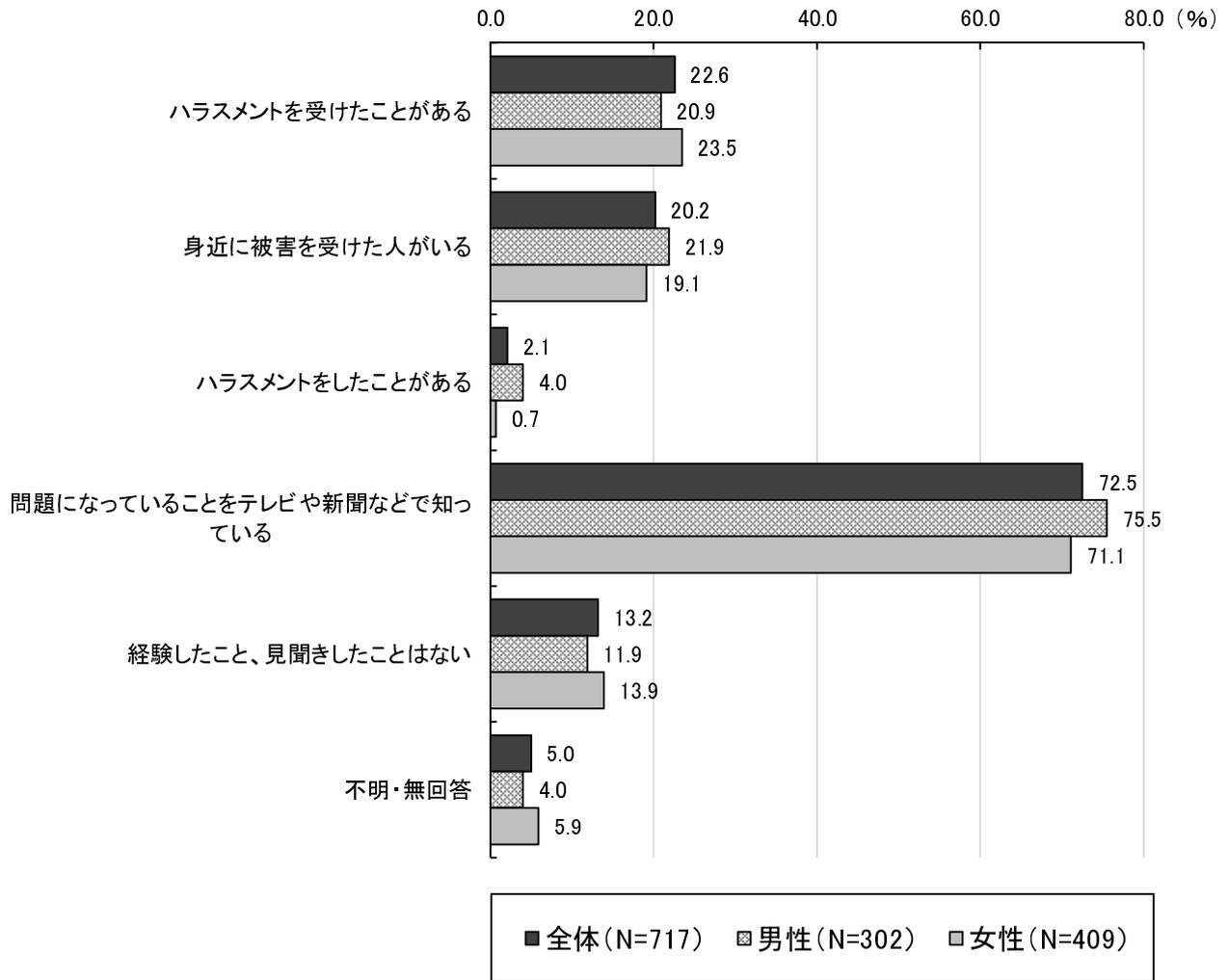
	避難所の設備 (男女別の トイレ、更衣 室、洗濯干 場など)	避難所運営 の責任者に 男女がともに 配置され、避 難所運営や 被災者対応 に男女両方 の視点が入 ること	災害時の救 援医療体制 (乳幼児、高 齢者、障がい のある人、妊 産婦へのサ ポート体制)	公的施設の 備蓄品の ニーズ把握、 災害時に支 給する際の 配慮	被災者に対 する相談体 制
10歳代、20歳代(N=50)	78.0	40.0	60.0	20.0	18.0
30歳代(N=93)	77.4	49.5	55.9	14.0	8.6
40歳代(N=126)	77.0	38.9	50.8	15.9	17.5
50歳代(N=113)	61.9	51.3	48.7	15.0	11.5
60歳代(N=173)	64.7	41.6	53.8	19.1	13.3
70歳以上(N=155)	62.6	43.9	47.7	17.4	9.7
	防災会議に 男女がともに 参画し、防災 計画に男女 両方の視点 が入ること	災害対策本 部に男女が ともに配置さ れ、対策に男 女両方の視 点が入ること	災害復旧・復 興対策計画 に男女がとも に参画し、計 画に男女両 方の視点が入 ること	その他	不明・無回答
10歳代、20歳代(N=50)	12.0	22.0	8.0	0.0	0.0
30歳代(N=93)	12.9	24.7	14.0	1.1	2.2
40歳代(N=126)	21.4	16.7	19.0	0.8	1.6
50歳代(N=113)	22.1	21.2	20.4	2.7	3.5
60歳代(N=173)	30.1	19.1	19.7	0.0	2.9
70歳以上(N=155)	32.3	23.2	25.8	1.3	5.2

## 7. 人権について

### 問 17 ハラスメントを経験したり、見聞きしたことがありますか。(MA)

全体の結果を見ると、「問題になっていることをテレビや新聞などで知っている」の割合が72.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「問題になっていることをテレビや新聞などで知っている」の割合が最も高くなっています。



## 問 17 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「問題になっていることをテレビや新聞などで知っている」の割合が最も高くなっています。また、30歳代において「ハラスメントを受けたことがある」「身近に被害を受けた人がいる」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

単位：%

	ハラスメントを受けたことがある	身近に被害を受けた人がいる	ハラスメントをしたことがある
10歳代、20歳代(N=50)	16.0	12.0	0.0
30歳代(N=93)	44.1	34.4	1.1
40歳代(N=126)	28.6	23.8	3.2
50歳代(N=113)	25.7	26.5	6.2
60歳代(N=173)	17.3	16.2	1.2
70歳以上(N=155)	10.3	11.6	0.6
	問題になっていることをテレビや新聞などで知っている	経験したこと、見聞きしたことはない	不明・無回答
10歳代、20歳代(N=50)	76.0	18.0	2.0
30歳代(N=93)	62.4	5.4	1.1
40歳代(N=126)	72.2	7.9	0.8
50歳代(N=113)	76.1	11.5	6.2
60歳代(N=173)	78.6	12.1	4.0
70歳以上(N=155)	71.0	21.9	11.6

### 問 17 前回比較（※前回はセクシュアル・ハラスメントのみに限定）

前回と比較すると、前回はセクシュアル・ハラスメントに限定されていたため、「ハラスメントを受けたことがある」「身近に被害を受けた当事者がいる」については、大幅に増加しています。しかし、それ以外の項目については、多少の増減はありますが、概ね同じくらいの割合となっています。

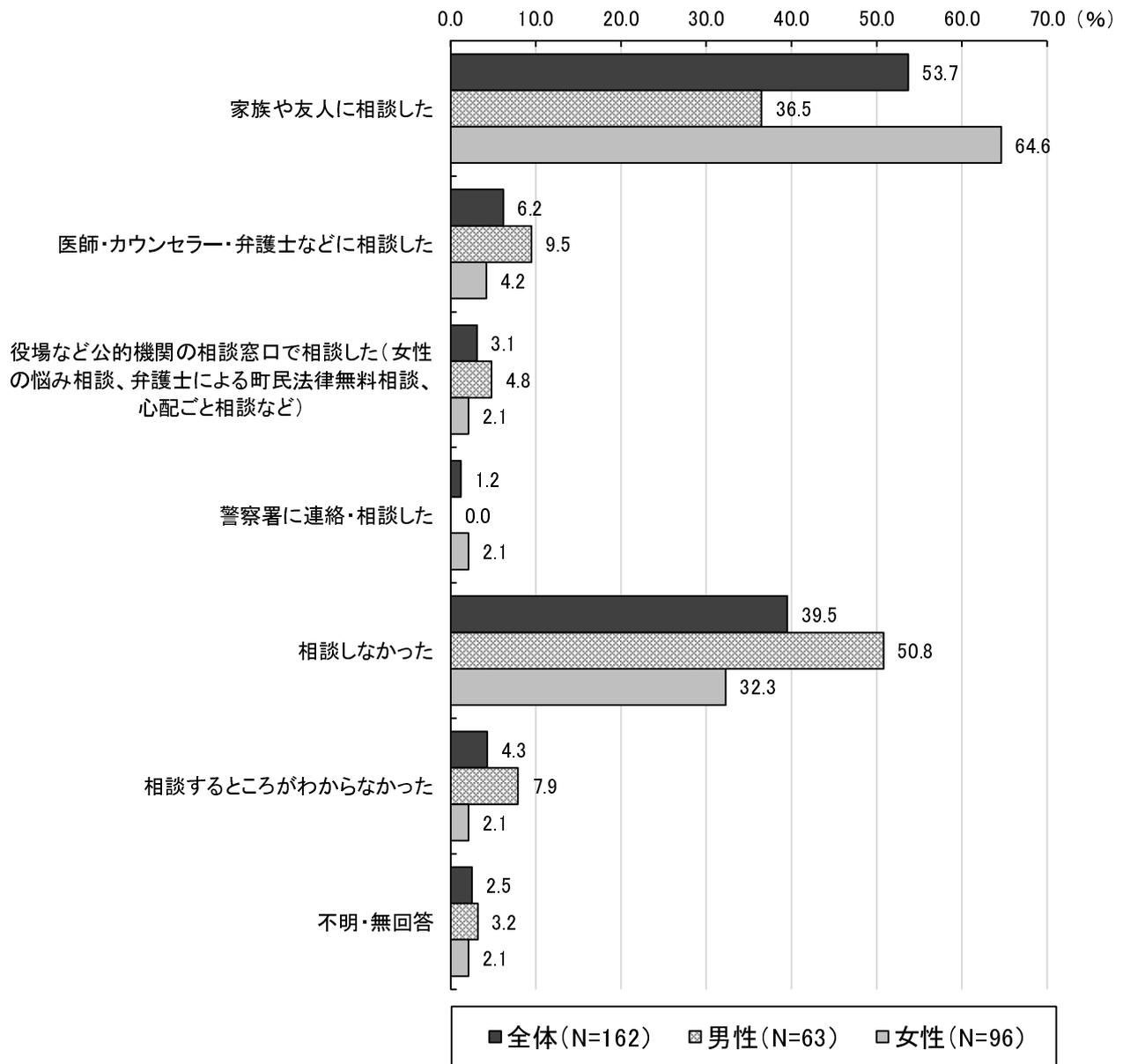
		男性	女性
ハラスメントを受けたことがある	今回	20.9%	23.5%
	前回	0.8%	9.4%
身近に被害を受けた当事者がいる	今回	21.9%	19.1%
	前回	5.9%	6.5%
ハラスメントをしたことがある	今回	4.0%	0.7%
	前回	2.1%	0.4%
問題になっていることをテレビや新聞などで知っている	今回	75.5%	71.1%
	前回	76.6%	72.4%
経験したこと、見聞きしたことはない	今回	11.9%	13.9%
	前回	14.4%	13.1%

問 18 <問 17 で「1. ハラスメントを受けたことがある」と答えた人におたずねします。  
>

**ハラスメントを経験したり、見聞きしたことがありますか。(MA)**

全体の結果を見ると、「家族や友人に相談した」の割合が53.7%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、男性は「相談しなかった」の割合が最も高くなっているのに対し、女性では「家族や友人に相談した」の割合が最も高くなっています。



## 問 18 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、10 歳代～60 歳代では「家族や友人に相談した」の割合が最も高くなっています。70 歳以上では「相談しなかった」の割合が最も高くなっています。

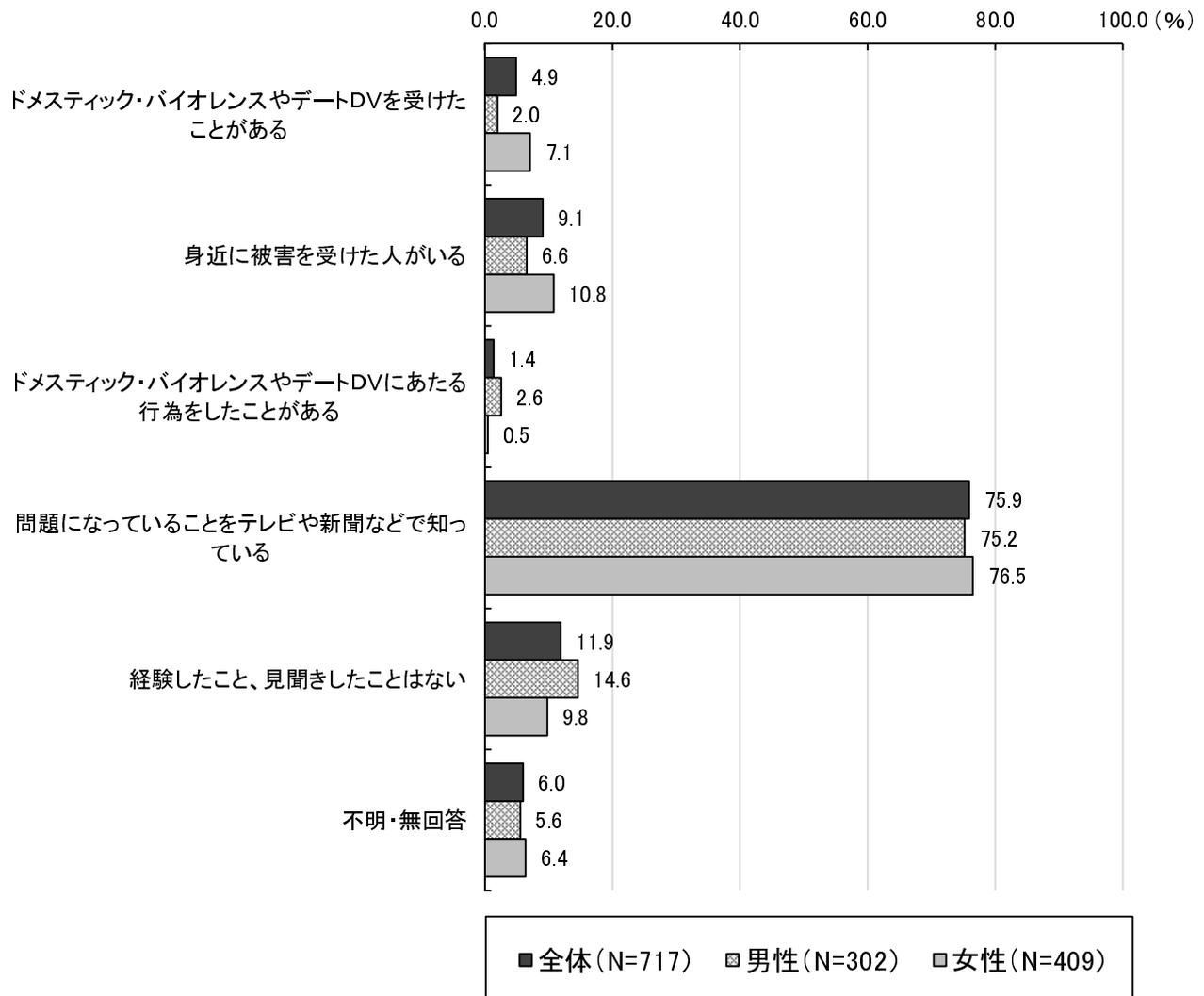
単位：%

	家族や友人に相談した	医師・カウンセラー・弁護士などに相談した	役場など公的機関の相談窓口で相談した(女性の悩み相談、弁護士に)	警察署に連絡・相談した
10歳代、20歳代(N=8)	75.0	0.0	12.5	0.0
30歳代(N=41)	56.1	4.9	0.0	0.0
40歳代(N=36)	58.3	5.6	5.6	0.0
50歳代(N=29)	48.3	10.3	3.4	3.4
60歳代(N=30)	50.0	10.0	3.3	3.3
70歳以上(N=16)	43.8	0.0	0.0	0.0
	相談しなかった	相談するところがわからなかった	不明・無回答	
10歳代、20歳代(N=8)	25.0	0.0	0.0	
30歳代(N=41)	41.5	2.4	0.0	
40歳代(N=36)	38.9	0.0	5.6	
50歳代(N=29)	37.9	6.9	0.0	
60歳代(N=30)	36.7	3.3	6.7	
70歳以上(N=16)	50.0	18.8	0.0	

**問 19 ドメスティック・バイオレンスやデートDVを経験したり、見聞きしたことがありますか。(MA)**

全体の結果を見ると、「問題になっていることをテレビや新聞などで知っている」の割合が75.9%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「問題になっていることをテレビや新聞などで知っている」の割合が最も高くなっています。



## 問 19 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「問題になっていることをテレビや新聞などで知っている」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	ドメスティック・バイオレンスやデートDVを受けたことがある	身近に被害を受けた人がいる	ドメスティック・バイオレンスやデートDVにあたる行為をしたことがある
10歳代、20歳代(N=50)	0.0	14.0	0.0
30歳代(N=93)	12.9	12.9	2.2
40歳代(N=126)	4.8	11.9	3.2
50歳代(N=113)	8.8	10.6	2.7
60歳代(N=173)	1.7	6.9	0.6
70歳以上(N=155)	2.6	3.9	0.0
	問題になっていることをテレビや新聞などで知っている	経験したこと、見聞きしたことはない	不明・無回答
10歳代、20歳代(N=50)	78.0	18.0	2.0
30歳代(N=93)	75.3	9.7	1.1
40歳代(N=126)	79.4	11.1	1.6
50歳代(N=113)	75.2	10.6	7.1
60歳代(N=173)	83.2	8.7	5.2
70歳以上(N=155)	65.8	15.5	14.2

## 問 19 前回比較

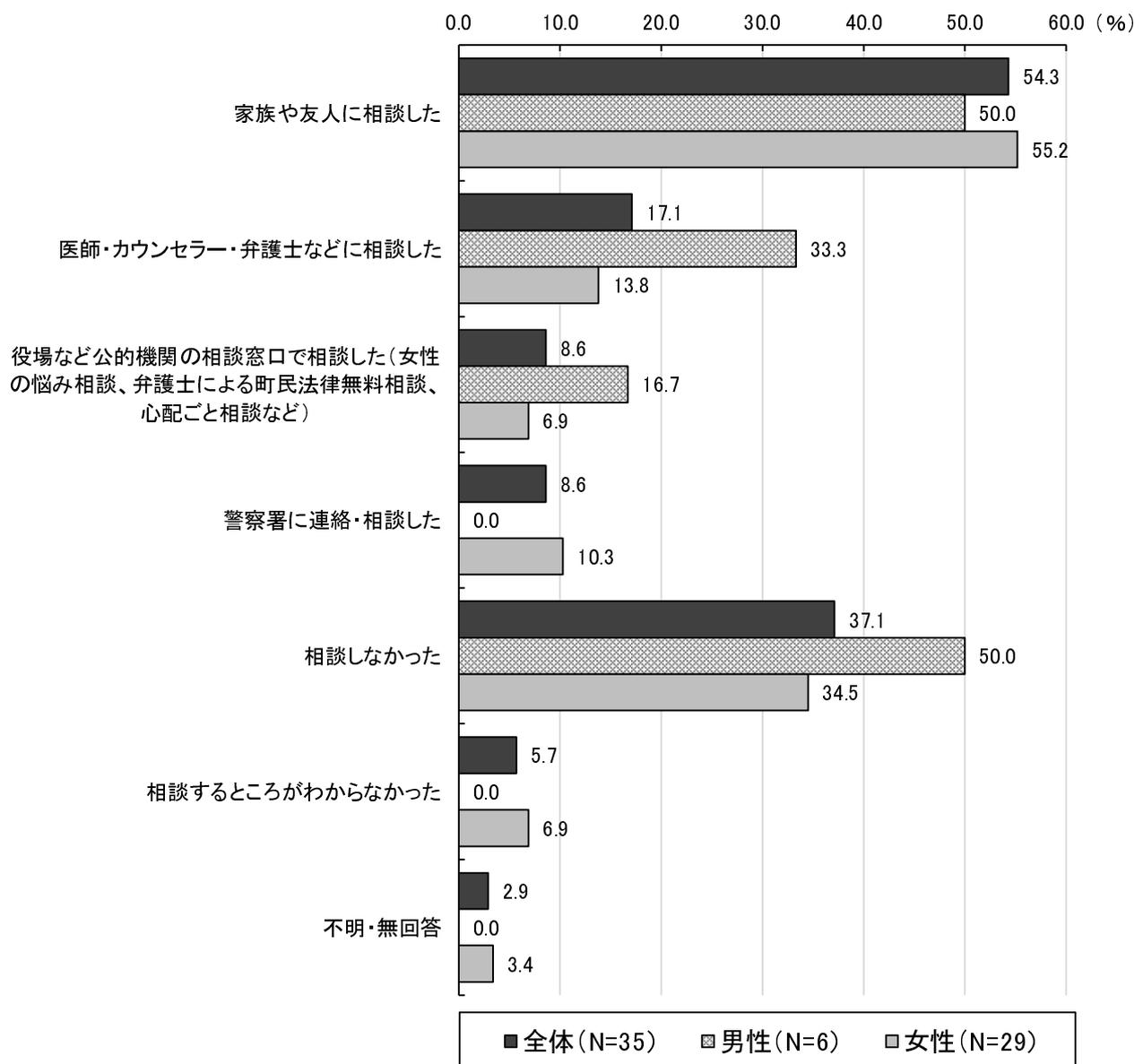
前回と比較すると、すべての項目で、多少の増減はありますが、概ね同じくらいの割合となっています。

		男性	女性
ドメスティック・バイオレンスやデートDVを受けたことがある	今回	2.0%	7.1%
	前回	2.3%	8.7%
身近に被害を受けた当事者がいる	今回	6.6%	10.8%
	前回	6.2%	11.6%
ドメスティック・バイオレンスやデートDVにあたる行為をしたことがある	今回	2.6%	0.5%
	前回	1.3%	0.5%
問題になっていることをテレビや新聞などで知っている	今回	75.2%	76.5%
	前回	73.3%	69.1%
経験したこと、見聞きしたことはない	今回	14.6%	9.8%
	前回	16.2%	11.4%

**問 20 <問 19 で「1. ドメスティック・バイオレンスやデートDVを受けたことがある」と答えた人におたずねします。>  
ドメスティック・バイオレンスやデートDVについて、あなたはだれかに打ち明けたり相談したりしましたか。(MA)**

全体の結果を見ると、「家族や友人に相談した」の割合が54.3%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「家族や友人に相談した」の割合が最も高くなっています。ただし、男性においては「相談しなかった」の割合も同率となっています。



## 問 20 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、30 歳代～60 歳代では「家族や友人に相談した」の割合が最も高くなっています。70 歳以上では「相談しなかった」の割合が 75.0%と最も高くなっています。

単位：%

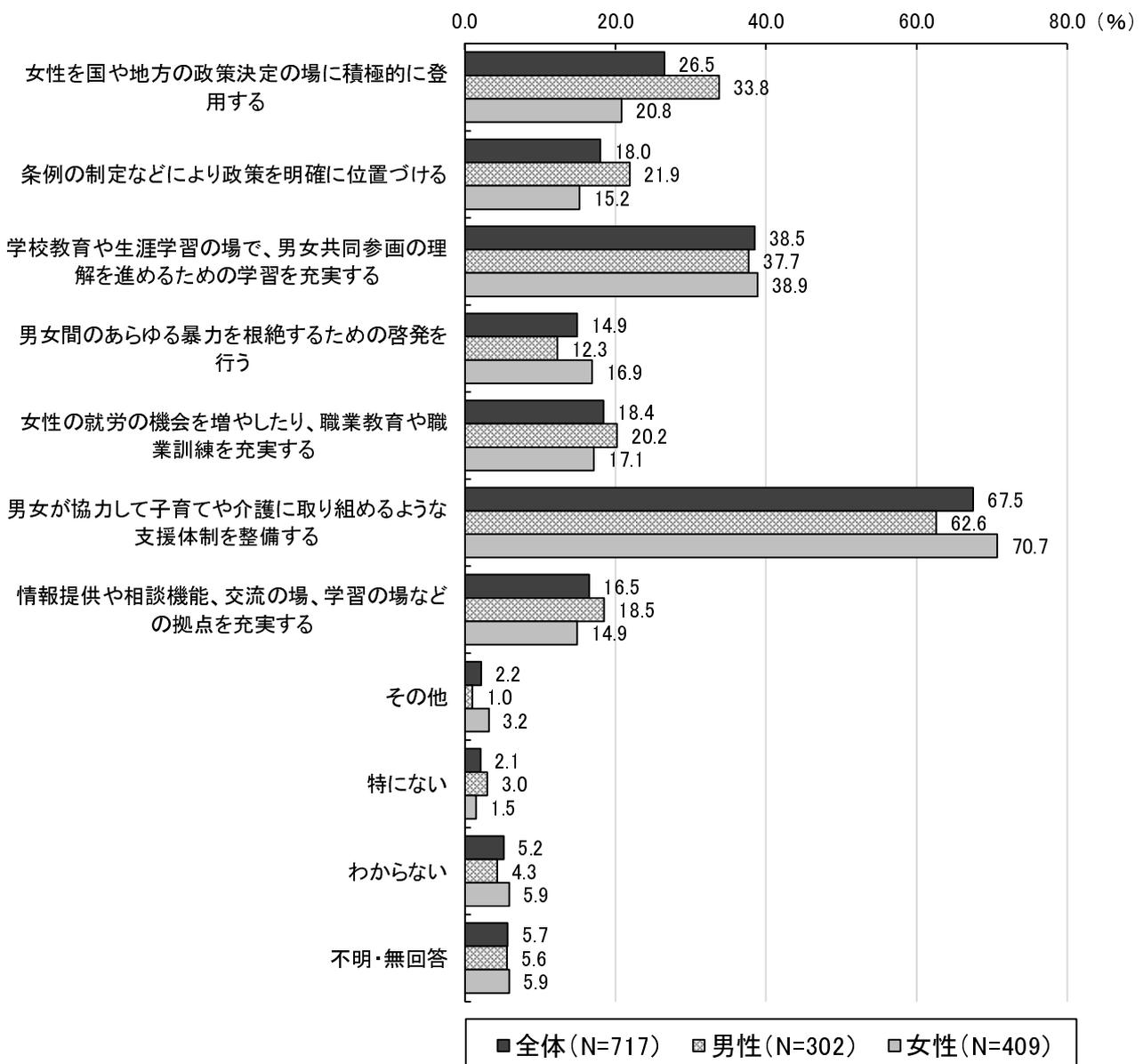
	家族や友人に相談した	医師・カウンセラー・弁護士などに相談した	役場など公的機関の相談窓口で相談した(女性の悩み相談、弁護士に)	警察署に連絡・相談した
10歳代、20歳代(N=0)	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代(N=12)	41.7	33.3	16.7	16.7
40歳代(N=6)	83.3	16.7	0.0	0.0
50歳代(N=10)	50.0	10.0	0.0	10.0
60歳代(N=3)	100.0	0.0	33.3	0.0
70歳以上(N=4)	25.0	0.0	0.0	0.0
	相談しなかった	相談するところがわからなかった	不明・無回答	
10歳代、20歳代(N=0)	0.0	0.0	0.0	
30歳代(N=12)	33.3	8.3	8.3	
40歳代(N=6)	33.3	0.0	0.0	
50歳代(N=10)	40.0	10.0	0.0	
60歳代(N=3)	0.0	0.0	0.0	
70歳以上(N=4)	75.0	0.0	0.0	

## 8. 男女共同参画社会について

問 21 男女共同参画社会の実現に向けて、あなたは、今後どのような施策に重点をおくべきだと思いますか。(MA)

全体の結果を見ると、「男女が協力して子育てや介護に取り組めるような支援体制を整備する」の割合が67.5%と最も高くなっています。

性別の結果を見ると、どちらの性別においても「男女が協力して子育てや介護に取り組めるような支援体制を整備する」の割合が最も高くなっています。



## 問 21 年齢別クロス

年齢別の結果を見ると、すべての年代において「男女が協力して子育てや介護に取り組めるような支援体制を整備する」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	女性を国や地方の政策決定の場に積極的に登用する	条例の制定などにより政策を明確に位置づける	学校教育や生涯学習の場で、男女共同参画の理解を進めるための学習を充実する	男女間のあらゆる暴力を根絶するための啓発を行う	女性の就労の機会を増やしたり、職業教育や職業訓練を充実する	男女が協力して子育てや介護に取り組めるような支援体制を整備する
10歳代、20歳代(N=50)	20.0	28.0	28.0	14.0	18.0	82.0
30歳代(N=93)	20.4	19.4	40.9	17.2	31.2	69.9
40歳代(N=126)	20.6	16.7	31.7	13.5	26.2	70.6
50歳代(N=113)	36.3	16.8	45.1	9.7	15.0	68.1
60歳代(N=173)	25.4	20.2	44.5	16.2	11.6	65.9
70歳以上(N=155)	30.3	13.5	34.8	16.8	14.2	59.4
	情報提供や相談機能、交流の場、学習の場などの拠点を充実する	その他	特になし	わからない	不明・無回答	
10歳代、20歳代(N=50)	22.0	0.0	0.0	6.0	0.0	
30歳代(N=93)	10.8	1.1	3.2	5.4	2.2	
40歳代(N=126)	16.7	5.6	0.8	4.8	2.4	
50歳代(N=113)	12.4	3.5	0.0	4.4	4.4	
60歳代(N=173)	17.3	0.0	4.0	3.5	5.8	
70歳以上(N=155)	20.0	2.6	2.6	7.7	13.5	

## 問 21 前回比較

前回と比較すると、「条例の制定などにより政策を明確に位置づける」で男女共に少し高くなっています。それ以外の項目については、多少の増減はありますが、概ね同じくらいの割合となっています。

		男性	女性
女性を国や地方の政策決定の場に積極的に登用する	今回	33.8%	20.8%
	前回	30.6%	20.3%
条例の制定などにより政策を明確に位置づける	今回	21.9%	15.2%
	前回	15.7%	10.3%
学校教育や生涯学習の場で、男女共同参画の理解を進めるための学習を充実する	今回	37.7%	38.9%
	前回	45.2%	35.2%
男女間のあらゆる暴力を根絶するための啓発を行う	今回	12.3%	16.9%
	前回	13.6%	10.9%
女性の就労の機会を増やしたり、職業教育や職業訓練を充実する	今回	20.2%	17.1%
	前回	16.7%	21.4%
男女が協力して子育てや介護に取り組めるような支援体制を整備する	今回	62.6%	70.7%
	前回	58.1%	68.6%
情報提供や相談機能、交流の場、学習の場などの拠点を充実する	今回	18.5%	14.9%
	前回	21.1%	16.7%
その他	今回	1.0%	3.2%
	前回	2.6%	1.6%
特にない	今回	3.0%	1.5%
	前回	5.1%	4.9%
わからない	今回	4.3%	5.9%
	前回	5.9%	9.1%